

PCT/JP99/04918  
09/787614  
30.09.99

日本国特許庁

IKU

PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

SP99/4918

REC'D 22 NOV 1999

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて  
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed  
with this Office.

出願年月日

Date of Application:

1998年 9月21日

出願番号

Application Number:

平成10年特許願第266993号

出願人

Applicant(s):

大日本インキ化学工業株式会社

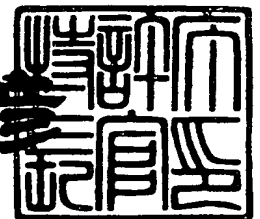
**PRIORITY  
DOCUMENT**

SUBMITTED OR TRANSMITTED IN  
COMPLIANCE WITH RULE 17.1(a) OR (b)

1999年11月 5日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

近藤 隆彦



出証番号 出証特平11-307

【書類名】 特許願

【整理番号】 30IM98042

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 C09K 19/42  
G02F 1/13

【発明の名称】 ネマチック液晶組成物及びこれを用いた液晶表示装置

【請求項の数】 18

【発明者】

    【住所又は居所】 東京都板橋区高島平 1 - 6 7 - 1 2

    【氏名】 竹内 清文

【発明者】

    【住所又は居所】 埼玉県北足立郡伊奈町寿 3 - 7 8 加藤ハイツ 2 0 8

    【氏名】 柳原 弘和

【発明者】

    【住所又は居所】 東京都東大和市仲原 3 - 6 - 2 7

    【氏名】 高津 晴義

【特許出願人】

    【識別番号】 000002886

    【氏名又は名称】 大日本インキ化学工業株式会社

【代理人】

    【識別番号】 100088764

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 高橋 勝利

    【電話番号】 03(5203)7754

【手数料の表示】

    【予納台帳番号】 008257

    【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

    【物件名】 明細書 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9700878

【プルーフの要否】 要

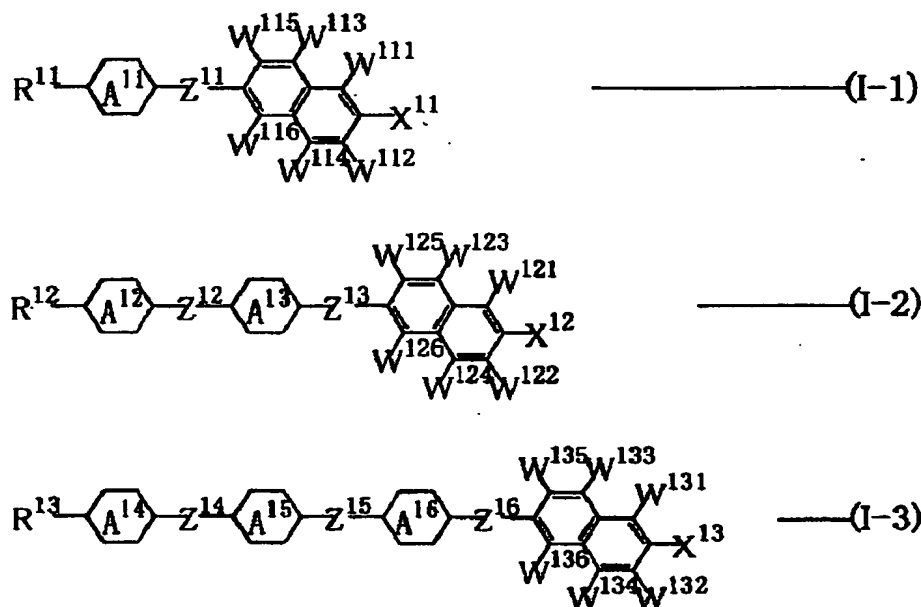
【書類名】 明細書

【発明の名称】 ネマチック液晶組成物及びこれを用いた液晶表示装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 液晶組成物が、一般式 (I-1) ~ (I-3)

【化 1】



(式中、 $R^{11} \sim R^{13}$ は各々独立的に炭素原子数 1 ~ 10 のアルキル基又は炭素原子数 2 ~ 10 のアルケニル基を表し、該アルキル基又は該アルケニル基は、非置換、あるいは置換基として 1 個の F、 $CH_3$ 又は $CF_3$ を有していてもよく、あるいは該アルキル基又は該アルケニル基に存在する 1 個又は 2 個以上の $CH_2$ 基は各々独立的に、O 原子が相互に直接結合しないものとして、 $-O-$ 、 $-CO-$ 又は $-COO-$ で置換されていてもよく、 $X^{11} \sim X^{13}$ は各々独立的に F、Cl、 $CF_3$ 、 $OCF_3$ 、 $OCF_2H$ 、NCS 又は CN を表し、 $W^{111} \sim W^{136}$ は各々独立的に H、F、Cl、 $CF_3$ 、 $OCF_3$ 又は CN を表し、 $Z^{11} \sim Z^{16}$ は各々独立的に単結合、 $-COO-$ 、 $-OCO-$ 、 $-CH_2O-$ 、 $-OCH_2-$ 、 $-CH=CH-$ 、 $-CF=CF-$ 、 $-C \equiv C-$ 、 $-(CH_2)_2-$ 、 $-(CH_2)_4-$ 、 $-CH=CH-(CH_2)_2-$ 、 $-(CH_2)_2-CH=CH-$ 、 $-CH=N-$ 、 $-CH=N-N=CH-$ 又は $-N(O)=N-$ を表し、環  $A^{11} \sim A$

<sup>16</sup>は各々独立的に1, 4-フェニレン、2又は3-フルオロ-1, 4-フェニレン、2, 3-ジフルオロ-1, 4-フェニレン、3, 5-ジフルオロ-1, 4-フェニレン、ピリミジン-2, 5-ジイル、トランス-1, 4-シクロヘキシレン、トランス-1, 4-シクロヘキセニレン又はトランス-1, 4-ジオキサ-2, 5-ジイルを表し、トランス-1, 4-シクロヘキシレンである場合、該環の水素原子は重水素原子により置換されていても良い。)で表される1種又は2種以上の化合物からなる液晶成分Aを含有し、前記一般式(I-1)～(I-3)の化合物以外の液晶成分として、+2以上の誘電率異方性を有する化合物からなる液晶成分Bを0～99.9重量%含有し、-10～+2の誘電率異方性を有する化合物からなる液晶成分Cを0～85重量%含有し、該液晶成分B及び該液晶成分Cの総和が0～99.9重量%であることを特徴とするネマチック液晶組成物。

【請求項2】 前記液晶成分Aが、前記一般式(I-1)又は前記一般式(I-2)で表される化合物から選ばれる化合物を1種又は2種以上含有し、該化合物の含有量が、液晶成分A中で5～100重量%であることを特徴とする請求項1記載のネマチック液晶組成物。

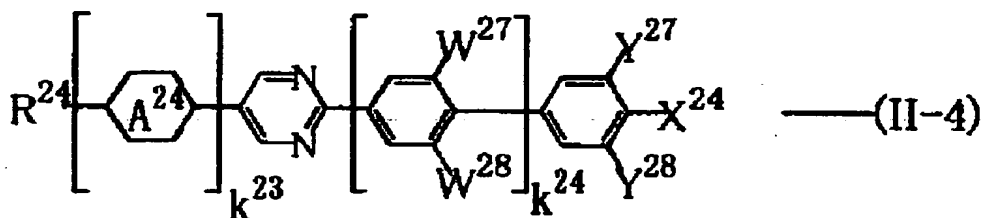
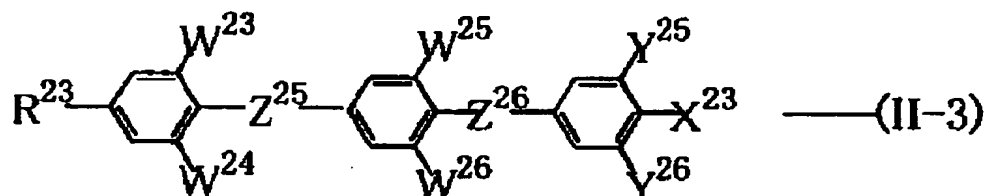
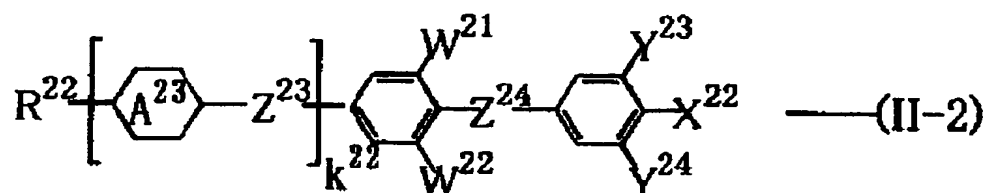
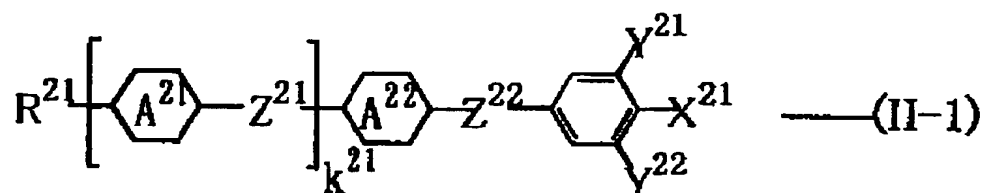
【請求項3】 前記液晶成分Aが、前記一般式(I-1)及び前記一般式(I-2)で表される化合物から選ばれる化合物を1種又は2種以上含有し、該化合物の含有量が、液晶成分A中で5～100重量%であることを特徴とする請求項1記載のネマチック液晶組成物。

【請求項4】 前記液晶成分Aが、前記一般式(I-1)～(I-3)において、R<sup>11</sup>～R<sup>13</sup>が各々独立的に炭素原子数2～7のアルキル基又はアルケニル基で表される化合物、X<sup>11</sup>～X<sup>13</sup>が各々独立的にF、Cl、CF<sub>3</sub>、OCF<sub>3</sub>、OCF<sub>2</sub>H又はCNで表される化合物、W<sup>111</sup>～W<sup>113</sup>、W<sup>121</sup>～W<sup>123</sup>、W<sup>131</sup>～W<sup>133</sup>のうち少なくとも1個以上がFで置換された化合物、Z<sup>11</sup>、Z<sup>13</sup>、Z<sup>16</sup>が各々独立的に単結合、-(CH<sub>2</sub>)<sub>2</sub>、-COO-又は-C≡C-で表される化合物、環A<sup>11</sup>、A<sup>13</sup>、A<sup>16</sup>が各々独立的にトランス-1, 4-シクロヘキシレン、1, 4-フェニレン、3-フルオロ-1, 4-フェニレン又は3, 5-ジフルオロ-1, 4-フェニレンで表される化合物、から選ばれる1種又は2種以上の化合物を含有すること

を特徴とする請求項 1、2 又は 3 記載のネマチック液晶組成物。

【請求項 5】 前記液晶成分 B が、一般式 (II-1) ~ (II-4)

【化 2】



(式中、 $R^{21} \sim R^{24}$  は各々独立的に炭素原子数 1 ~ 10 のアルキル基又は炭素原子数 2 ~ 10 のアルケニル基を表し、該アルキル基又は該アルケニル基は、非置換、あるいは置換基として 1 個の F、 $\text{CH}_3$  又は  $\text{CF}_3$  を有していてもよく、あるいは該アルキル基又は該アルケニル基に存在する 1 個又は 2 個以上の  $\text{CH}_2$  基は各々独立的に、O 原子が相互に直接結合しないものとして、 $-\text{O}-$ 、 $-\text{CO}-$  又は  $-\text{COO}-$  で置換されていてもよく、 $\text{X}^{21} \sim \text{X}^{24}$  は各々独立的に F、Cl、 $\text{CF}_3$ 、 $\text{OCF}_3$ 、 $\text{OCF}_2\text{H}$ 、NCS 又は CN を表し、 $\text{Y}^{21} \sim \text{Y}^{28}$  は各々独立的に H、F

、C1又は $\text{OCF}_3$ を表し、 $W^{21} \sim W^{28}$ は各々独立的にH、F又はC1を表し、 $Z^{21} \sim Z^{26}$ は各々独立的に単結合、 $-\text{COO}-$ 、 $-\text{OCO}-$ 、 $-\text{CH}_2\text{O}-$ 、 $-\text{OCH}_2-$ 、 $-(\text{CH}_2)_2-$ 、 $-(\text{CH}_2)_4-$ 、 $-\text{CH}=\text{CH}-(\text{CH}_2)_2-$ 、 $-(\text{CH}_2)_2-\text{CH}=\text{CH}-$ 、 $-\text{CH}=\text{N}-$ 、 $-\text{CH}=\text{N}-\text{N}=\text{CH}-$ 又は $-\text{N}(\text{O})=\text{N}-$ を表し、 $Z^{21}$ 、 $Z^{24}$ 、 $Z^{25}$ 及び $Z^{26}$ はまた $-\text{CH}=\text{CH}-$ 、 $-\text{CF}=\text{CF}-$ 又は $-\text{C}\equiv\text{C}-$ であってもよく、環 $A^{21} \sim A^{24}$ は各々独立的にトランス-1, 4-シクロヘキシレン、トランス-1, 4-シクロヘキセニレン又はトランス-1, 4-ジオキサン-2, 5-ジイルを表し、環 $A^{24}$ はまた1, 4-フェニレン、2又は3-フルオロ-1, 4-フェニレン、3, 5-ジフルオロ-1, 4-フェニレンであってもよく、トランス-1, 4-シクロヘキシレンである場合、該環の水素原子は重水素原子により置換されていても良い。 $k^{21} \sim k^{24}$ は各々独立的に0又は1を表し、 $k^{23} + k^{24}$ は0又は1である。)で表される1種又は2種以上の化合物からなることを特徴とする請求項1、2、3又は4記載のネマチック液晶組成物。

【請求項6】 前記液晶成分Bが、前記一般式(II-1)～(II-4)において、 $R^{21} \sim R^{24}$ が各々独立的に炭素原子数2～5のアルケニル基で表される化合物、 $X^{21} \sim X^{24}$ が各々独立的にF、C1又は $-\text{OCF}_3$ で表される化合物、前記一般式(II-1)において、 $Z^{22}$ が $-(\text{CH}_2)_2-$ 又は $-(\text{CH}_2)_4-$ で表される化合物、 $k^{21}$ が1である化合物、前記一般式(II-2)の化合物において、 $Y^{23}$ 、 $Y^{24}$ 、 $W^{21}$ 、 $W^{22}$ の少なくとも1個がFで表される化合物、 $k^{22}$ が1であり、 $Z^{24}$ が $-\text{C}\equiv\text{C}-$ である化合物、 $Z^{23}$ が単結合又は $-(\text{CH}_2)_2-$ を表し、 $Z^{24}$ が $-\text{COO}-$ である化合物、前記一般式(II-3)の化合物において、 $Y^{25}$ 、 $Y^{26}$ 、 $W^{23} \sim W^{26}$ の少なくとも1個がFで表される化合物、 $Z^{26}$ が $-\text{C}\equiv\text{C}-$ である化合物、 $Z^{25}$ が単結合又は $-\text{C}\equiv\text{C}-$ を表し、 $Z^{26}$ が $-\text{COO}-$ である化合物、前記一般式(II-4)で表される化合物、前記一般式(II-1)、(II-2)の化合物において、環 $A^{21} \sim A^{23}$ がトランス-1, 4-シクロヘキシレンであり、該環の水素原子が重水素原子で置換された化合物、から選ばれる1種又は2種以上の化合物を含有することを特徴とする請求項5記載のネマチック液晶組成物。

【請求項7】 前記液晶成分Bが、前記一般式(II-1)において、 $R^{21}$ が炭素原子数2～5のアルキル基又はアルケニル基を表し、 $k^{21}$ が0であり、 $X^{21}$ が

-CNである化合物、 $k^{21}$ が1であり、 $X^{21}$ がF又は-CNを表し、 $Y^{21}$ 、 $Y^{22}$ がH又はFで表される化合物、前記一般式(II-2)において、 $R^{22}$ が炭素原子数2～5のアルキル基又はアルケニル基を表し、 $k^{22}$ が0であり、 $X^{22}$ が-CNであり、 $Y^{23}$ 、 $Y^{24}$ 、 $W^{21}$ 、 $W^{22}$ が各々独立的にH又はFで表される化合物、 $k^{22}$ が1であり、 $Z^{23}$ が単結合、 $-(CH_2)_2-$ 又は $-COO-$ を表し、 $Z^{24}$ が単結合、 $-COO-$ 又は $-C\equiv C-$ を表し、 $X^{22}$ がF又は-CNを表し、 $Y^{23}$ 、 $Y^{24}$ 、 $W^{21}$ 、 $W^{22}$ が各々独立的にH又はFで表される化合物、前記一般式(II-3)において、 $R^{23}$ が炭素原子数2～5のアルキル基又はアルケニル基を表し、 $Z^{25}$ 及び $Z^{26}$ の一方が単結合であり他方が単結合、 $-COO-$ 又は $-C\equiv C-$ で表される化合物、 $Y^{25}$ 、 $Y^{26}$ 、 $W^{23}\sim W^{26}$ が各々独立的にH又はFで表される化合物、前記一般式(II-4)において、 $R^{24}$ が炭素原子数2～7のアルキル基又はアルケニル基を表し、 $k^{23}+k^{24}$ が0である化合物、前記一般式(II-1)、(II-2)の化合物において、環 $A^{21}\sim A^{23}$ がトランス-1,4-シクロヘキシレンであり、該環の水素原子が重水素原子で置換された化合物、から選ばれる1種又は2種以上の化合物を含有し、該化合物の含有量が液晶成分B中で10～100重量%であることを特徴とする請求項5記載のネマチック液晶組成物。

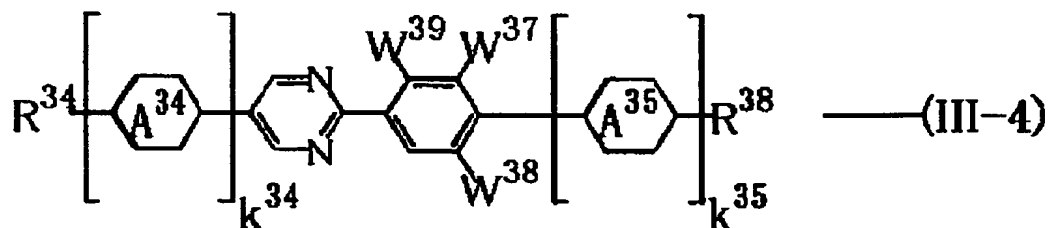
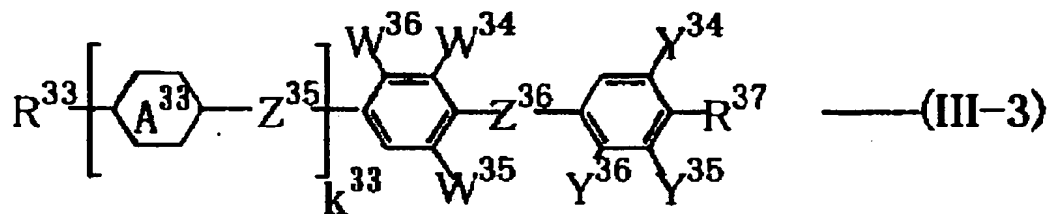
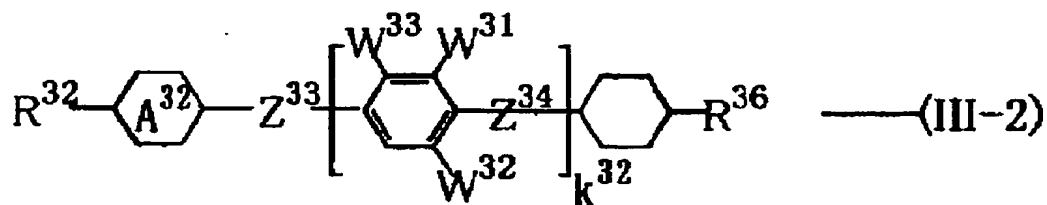
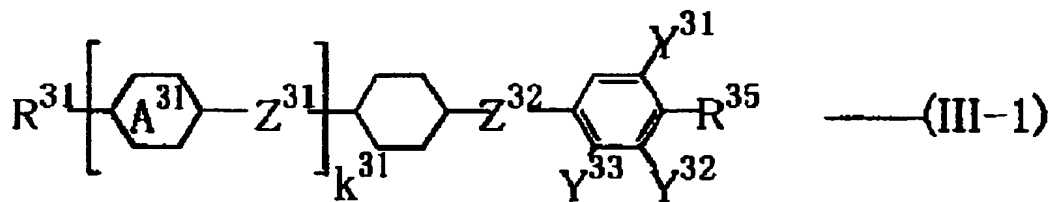
【請求項8】 前記液晶成分Bが、前記一般式(II-1)において、 $R^{21}$ が炭素原子数2～5のアルキル基又はアルケニル基を表し、 $k^{21}$ が1を表し、 $Z^{21}$ 及び $Z^{22}$ の一方が単結合であり他方が単結合、 $-COO-$ 、 $-(CH_2)_2-$ 、又は $-(CH_2)_4$ を表し、 $X^{21}$ がF、Cl、 $CF_3$ 、 $OCF_3$ 又は $OCF_2H$ を表し、 $Y^{21}$ 、 $Y^{22}$ の1個又は2個がFで表される化合物、前記一般式(II-2)において、 $R^{22}$ が炭素原子数2～5のアルキル基又はアルケニル基を表し、 $k^{22}$ が1であり、 $Z^{23}$ が単結合、 $-(CH_2)_2-$ 又は $-COO-$ を表し、 $Z^{24}$ が単結合、 $-COO-$ 又は $-C\equiv C-$ を表し、 $X^{22}$ がF、Cl、 $CF_3$ 、 $OCF_3$ 又は $OCF_2H$ を表し、 $Y^{23}$ 、 $Y^{24}$ の1個又は2個がFであり、 $W^{21}$ 、 $W^{22}$ がH又はFである化合物、前記一般式(II-3)において、 $R^{23}$ が炭素原子数2～5のアルキル基又はアルケニル基を表し、 $Z^{25}$ 及び $Z^{26}$ の一方が単結合であり他方が単結合、 $-COO-$ 又は $-C\equiv C-$ を表し、 $X^{23}$ がFであり、 $Y^{25}$ 、 $Y^{26}$ の1個又は2個がFであり、 $W^{23}\sim W^{26}$ が各々独立的にH又は1個以上がFで表される化合物、前記一般式(II-1)、(II-2)の化



合物において、環  $A^{21} \sim A^{23}$  がトランス-1, 4-シクロヘキシレンであり、該環の水素原子が重水素原子で置換された化合物、から選ばれる 1 種又は 2 種以上の化合物を含有し、該化合物の含有量が液晶成分 B 中で 10 ~ 100 重量%であることを特徴とする請求項 5 記載のネマチック液晶組成物。

【請求項 9】 前記液晶成分 C が、一般式 (III-1) ~ (III-4)

【化 3】



(式中、 $R^{31} \sim R^{38}$  は各々独立的に炭素原子数 1 ~ 7 のアルキル基あるいはアルコキシ基、又は炭素原子数 2 ~ 7 のアルケニル基あるいはアルケニルオキシ基を表し、該アルキル基、該アルコキシ基、該アルケニル基又は該アルケニルオキシ

基は、非置換、あるいは置換基として1個のF、 $\text{CH}_3$ 又は $\text{CF}_3$ を有していてもよく、あるいは該アルキル基又は該アルケニル基に存在する1個又は2個以上の $\text{CH}_2$ 基は各々独立的に、O原子が相互に直接結合しないものとして、 $-\text{O}-$ 、 $-\text{CO}-$ 又は $-\text{COO}-$ で置換されていてもよく、 $\text{Y}^{31} \sim \text{Y}^{36}$ は各々独立的にH又はFを表し、 $\text{Y}^{33}$ 、 $\text{Y}^{36}$ はまた $-\text{CH}_3$ であってもよく、 $\text{W}^{31} \sim \text{W}^{39}$ は各々独立的にH、F又はClを表し、 $\text{Z}^{31} \sim \text{Z}^{36}$ は各々独立的に単結合、 $-\text{COO}-$ 、 $-\text{OCO}-$ 、 $-\text{CH}_2\text{O}-$ 、 $-\text{OCH}_2-$ 、 $-(\text{CH}_2)_2-$ 、 $-(\text{CH}_2)_4-$ 、 $-\text{CH}=\text{CH}-(\text{CH}_2)_2-$ 、 $-(\text{CH}_2)_2-\text{CH}=\text{CH}-$ 、 $-\text{CH}=\text{N}-$ 、 $-\text{CH}=\text{N}-\text{N}=\text{CH}-$ 又は $-\text{N}(\text{O})=\text{N}-$ を表し、 $\text{Z}^{31}$ 、 $\text{Z}^{34} \sim \text{Z}^{36}$ はまた $-\text{CH}=\text{CH}-$ 、 $-\text{CF}=\text{CF}-$ 又は $-\text{C}\equiv\text{C}-$ であってもよく、環 $\text{A}^{31} \sim \text{A}^{35}$ は各々独立的にトランス-1,4-シクロヘキシレン、トランス-1,4-シクロヘキセニレン又はトランス-1,4-ジオキサン-2,5-ジイルを表し、環 $\text{A}^{31}$ 、 $\text{A}^{33} \sim \text{A}^{35}$ はまた1,4-フェニレン、2又は3-フルオロ-1,4-フェニレン、2,3-ジフルオロ-1,4-フェニレン、3,5-ジフルオロ-1,4-フェニレンであってもよく、トランス-1,4-シクロヘキシレンである場合、該環の水素原子は重水素原子により置換されていても良い。 $k^{31} \sim k^{35}$ は各々独立的に0又は1を表し、 $k^{34} + k^{35}$ は0又は1である。)で表される1種又は2種以上の化合物からなることを特徴とする請求項1乃至8記載のネマチック液晶組成物。

【請求項10】 前記液晶成分Cが、前記一般式(III-1)で表される化合物、前記一般式(III-2)で表される化合物又は前記一般式(III-3)で表される化合物、から選ばれる1種又は2種以上の化合物を含有し、該化合物の含有量が液晶成分C中で10～100重量%であることを特徴とする請求項9記載のネマチック液晶組成物。

【請求項11】 前記液晶成分Cが、前記一般式(III-1)～(III-4)において、 $\text{R}^{31} \sim \text{R}^{34}$ が炭素原子数2～5のアルケニル基で表される化合物、 $\text{R}^{35} \sim \text{R}^{38}$ が炭素原子数2～7の直鎖状アルケニル基又はアルケニルオキシ基で表される化合物、前記一般式(III-1)の化合物において、 $k^{31}$ が0であり、 $\text{Z}^{32}$ が単結合又は $-(\text{CH}_2)_2-$ で表される化合物、 $k^{31}$ が1で表される化合物、前記一般式(III-2)で表される化合物、前記一般式(III-3)の化合物において、 $\text{Y}^{34}$ 、 $\text{Y}$

35、 $W^{34} \sim W^{36}$ の少なくとも1個がFであり、 $Y^{36}$ がF又は $-CH_3$ で表される化合物、 $k^{33}$ が0であり、 $Z^{36}$ が単結合である化合物、 $k^{33}$ が1であり、 $Z^{35}$ が単結合、 $-OCO-$ 、 $-CH_2O-$ 、 $-OCH_2-$ 、 $-(CH_2)_2-$ 、 $-(CH_2)_4-$ 、 $-CH=CH-(CH_2)_2-$ 、 $-(CH_2)_2-CH=CH-$ 、 $-CH=N-$ 、 $-CH=N-N=CH-$ 、 $-N(O)=N-$ 、 $-CH=CH-$ 又は $-CF=CF-$ で表される化合物、 $Z^{35}$ が $-COO-$ 又は $-C \equiv C-$ であり、 $Z^{36}$ が $-OCO-$ 、 $-CH_2O-$ 、 $-OCH_2-$ 、 $-(CH_2)_2-$ 、 $-(CH_2)_4-$ 、 $-CH=CH-(CH_2)_2-$ 、 $-(CH_2)_2-CH=CH-$ 、 $-CH=N-$ 、 $-CH=N-N=CH-$ 、 $-N(O)=N-$ 、 $-CH=CH-$ 、 $-CF=CF-$ 又は $-C \equiv C-$ で表される化合物、前記一般式(III-4)で表される化合物、前記一般式(III-1)～(III-4)の化合物において、環 $A^{31} \sim A^{35}$ がトランス-1, 4-シクロヘキシレンであり、該環の水素原子が重水素原子で置換された化合物、から選ばれる1種又は2種以上の化合物を含有することを特徴とする請求項9記載のネマチック液晶組成物。

【請求項12】 前記液晶成分Cが、前記一般式(III-1)において、 $R^{31}$ が炭素原子数1～5のアルキル基又は炭素原子数2～5のアルケニル基を表し、 $R^{35}$ が炭素原子数1～5のアルキル基あるいはアルコキシ基、又は炭素原子数2～5のアルケニル基あるいはアルケニルオキシ基を表し、 $k^{31}$ が0であり、 $Z^{32}$ が単結合、 $-COO-$ 又は $-(CH_2)_2-$ で表される化合物、 $k^{31}$ が1であり、環 $A^{31}$ がトランス-1, 4-シクロヘキシレンであり、 $Z^{31}$ 及び $Z^{32}$ の一方が単結合であり他方が単結合、 $-COO-$ 又は $-(CH_2)_2-$ で表される化合物、前記一般式(III-2)において、 $R^{32}$ が炭素原子数1～5のアルキル基又は炭素原子数2～5のアルケニル基を表し、 $R^{36}$ が炭素原子数1～5のアルキル基あるいはアルコキシ基、又は炭素原子数2～5のアルケニル基あるいはアルケニルオキシ基を表し、環 $A^{32}$ がトランス-1, 4-シクロヘキシレン又はトランス-1, 4-シクロヘキセニレンを表し、 $k^{32}$ が0であり、 $Z^{33}$ が単結合、 $-COO-$ 又は $-(CH_2)_2-$ で表される化合物、 $k^{32}$ が1であり、 $Z^{33}$ 及び $Z^{34}$ の一方が単結合で表される化合物、前記一般式(III-3)において、 $R^{33}$ が炭素原子数1～5のアルキル基又は炭素原子数2～5のアルケニル基を表し、 $R^{37}$ が炭素原子数1～5のアルキル基あるいはアルコキシ基、又は炭素原子数2～5のアルケニル基あるいはアルケニ

ルオキシ基を表し、 $k^{33}$ が0であり、 $Z^{36}$ が単結合、 $-C\equiv C-$ 又は $-CH=N-N=CH-$ で表される化合物、 $k^{33}$ が1であり、 $Z^{35}$ が単結合、 $-(CH_2)_2-$ 、 $-COO-$ 又は $-C\equiv C-$ であり、 $Z^{36}$ が単結合、 $-COO-$ 又は $-C\equiv C-$ で表される化合物、 $Z^{35}$ 及び $Z^{36}$ の一方が単結合であり他方が単結合又は $-C\equiv C-$ を表し、 $W^{34}$ 及び $W^{35}$ の少なくとも1個がFで表される化合物、 $Y^{35}$ 、 $Y^{36}$ いずれかがF、 $CH_3$ で置換された化合物、前記一般式(III-4)において、 $R^{34}$ が炭素原子数1～5のアルキル基又は炭素原子数2～5のアルケニル基を表し、 $R^{38}$ が炭素原子数1～5のアルキル基あるいはアルコキシ基、又は炭素原子数2～5のアルケニル基あるいはアルケニルオキシ基を表し、 $k^{34}+k^{35}$ が0である化合物、から選ばれる1種又は2種以上の化合物を含有し、該化合物の含有量が液晶成分C中で10～100重量%であることを特徴とする請求項9記載のネマチック液晶組成物。

【請求項13】 前記液晶組成物が、4個の六員環を有したコア構造の化合物であって、該化合物の液晶相－等方性液体相転移温度が100℃以上である化合物を1種又は2種以上含有することを特徴とする請求項1乃至12記載のネマチック液晶組成物。

【請求項14】 前記液晶組成物が、4～30の誘電率異方性であり、0.08～0.35の複屈折率であり、50℃～180℃のネマチック相－等方性液体相転移温度であり、－200℃～0℃の結晶相、スメクチック相又はガラス相－ネマチック相転移温度であることを特徴とする請求項1乃至13記載のネマチック液晶組成物。

【請求項15】 前記液晶組成物に、誘起螺旋ピッチが0.5～1000  $\mu m$ となる光学活性基を有する化合物を含有することを特徴とする請求項1乃至14記載のネマチック液晶組成物。

【請求項16】 請求項15記載のネマチック液晶組成物を用いたアクティブ・マトリクス、ツイステッド・ネマチック又はスーパー・ツイステッド・ネマチック液晶表示装置。

【請求項17】 請求項1乃至15記載の液晶組成物及び透明性固体物質を含有した調光層を有する光散乱形液晶表示装置。

【請求項 18】 前記調光層において、前記液晶組成物が連続層をなし、該連続層中に前記透明性固体物質が均一な三次元網目状構造を形成したことを特徴とする請求項 17 記載の光散乱形液晶表示装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、電気光学的表示材料として有用なネマチック液晶組成物及びこれを用いた液晶表示装置に関する。

【0002】

【従来の技術】

液晶表示素子の代表的なものにTN-LCD（ツイステッド・ネマチック液晶表示素子）があり、時計、電卓、電子手帳、ポケットコンピュータ、ワードプロセッサ、パーソナルコンピュータなどに使用されている。一方、OA機器の処理情報の増加に伴い、シェファード（Scheffer）等 [SID '85 Digest, p.120 1985年]、衣川等 [SID '86 Digest, p.122 1986年] によって、STN（スーパー・ツイステッド・ネマチック）-LCDが開発され、携帯端末、電子手帳、ポケットコンピュータ、ワードプロセッサ、パーソナルコンピュータ、あるいはモニター表示などの高情報処理用の表示に広く普及しはじめている。

【0003】

最近、STN-LCDの応答特性改善を目的にアクティブアドレッシング駆動方式 [Proc. 12th IDRC p.503 1992年] やマルチラインアドレッシング駆動方式 [SID'92 Digest, p.232 1992年] が提案されている。また、より明るい表示やより高いコントラスト比を達成する目的で、カラーフィルター層の代わりに、液晶と位相差板の複屈折性を利用した新規反射型カラー液晶表示方式 [テレビジョン学会技術報告 vol.14 No10.p.51 1990年] や基板電極側に小さな放物面を施した反射面有した液晶表示装置が提案されている。

【0004】

特に、表示面積の大型化の用途では、バックライトの温度分布に対する表示の均一性や高コントラストが求められており、より安定な配向性やより温度依存性

の小さい液晶材料が、あるいはセル厚のばらつきを押さえるために所定の値に対応した複屈折率が求められている。また、画素数の増加により高いデューティ駆動が行われているため、これに対応した応答性、階調性等も重視されている。一方、中小型の携帯用表示では、使用環境温度に対する表示の安定性が重要なポイントとなっており、応答性や消費電力を低減できるより低い駆動電圧の液晶材料、あるいは $-30\sim 0^{\circ}\text{C}$ や $40\sim 80^{\circ}\text{C}$ の温度域での駆動電圧、急峻性や所望のデューティ駆動の周波数依存性等がより小さいこと等が求められている。更に、液晶の電氣的抵抗（比抵抗）は、消費電力を少なくするために低すぎることは避ける必要があるものの、焼き付き現象を無くすために高くなり過ぎないように所定の値にすることが求められている。この様に現在も、より詳細に差別化され少しでも改良された液晶材料が要望されている。

## 【0005】

これに適した液晶材料として、複屈折率、弾性定数、誘電率異方性、より低い粘性、より広いネマチック温度、化学的な安定性、電氣的な安定性（所望の比抵抗）等の物性特性や、配向性に関わる所定のチルト角、より広い $d/p$ マージン等の個々の特性を総合的に最適化したものが必要とされており、現在も新しい液晶化合物あるいは液晶組成物の提案が要求されている。

## 【0006】

更に、その表示品質が優れていることから、アクティブ・マトリクス形液晶表示装置が携帯端末、液晶テレビ、プロジェクター、コンピューター等の市場に出されている。アクティブ・マトリクス表示方式は、画素毎にTFT（薄膜トランジスタ）あるいはMIM（メタル・インシュレータ・メタル）等が使われており、この方式には高電圧保持率であることが重要視されている。また、更に広い視角特性を得るためにIPSモードと組み合わせたスーパーTFT [Asia Display '95 Digest, p.707 1995年] が近藤等によって提案されている。（以下、これらアクティブ・マトリクス表示方式の液晶表示素子を総称してTFT-LCDと呼称する）このような表示素子に対応するために、現在も新しい液晶化合物あるいは液晶組成物、例えば特開平2-233626号公報、特公表4-501575号公報等の提案がなされている。

【0007】

最近注目されているポリシリコンの技術を用いたTFT-LCDに対応すべき液晶材料として、電圧保持率ではより高い特性以外に汚れに強い液晶材料、より低い駆動電圧でもより速い応答性を示すことが要求されている。また、歩留まりの向上を目的として表示欠陥の発生がより少ない液晶材料、より高いチルト角を安定して示すことができる液晶材料等、求められている要求は更に差別化が進んでいる。

【0008】

偏光板や配向処理を要さず、明るくコントラストの良い液晶デバイスとして、ポリマー中に液晶滴を分散させた液晶表示素子が特表昭58-501631号公報、米国特許第4435047号明細書、特表昭61-502128号公報、特開昭62-2231号公報等において知られている。（以下、これらの液晶表示素子を総称してPDLCと呼称する）これらは、液晶材料の個々の屈折率とポリマーの屈折率を最適化することや、十分な透明性を得るのに高い電圧を必要とする問題を有していた。一方、低電圧駆動性、高コントラスト、時分割駆動性を可能にする技術として、米国特許第5,304,323号、特開平1-198725号公報があり、液晶材料が連続層を形成し、この連続層中に、高分子物質が三次元網目状に分布した構造を有する液晶表示素子が開示されている。（以下、この液晶表示素子をPN-LCDと呼称する）

この目的に係わる液晶材料として、欧州特許第359,146号公報には液晶材料の複屈折率や誘電率異方性を最適化する方法、特開平6-222320号公報には液晶材料の弾性定数を特定する技術等、特開平5-339573号公報にはフルオロ系化合物を用いることが開示されている。しかし、抵抗値が高く電圧保持率が優れていること、駆動電圧が低いこと、光散乱が強くコントラスト比が大きいこと、応答速度が速いこと、温度特性が良いこと等に問題を有しており、現在も新しい提案がなされている。

【0009】

以上詳述してきたように、液晶表示素子に対する要求は、より精細で高密度の表示容量、駆動電圧や環境温度に対してより速い応答速度、化学的電氣的に高い

安定性を有したより低い駆動電圧、より高い階調性、使用環境温度や視野角に対しより高いコントラスト等が揚げられる。このために、広い温度範囲でネマチック性を有し、低温保存で長期間ネマチック相を維持し、応答性を改善できるより低い粘性で、所望の駆動電圧、特により低い駆動電圧が達成可能な液晶材料の開発研究が現在も行われている。また、複屈折率、誘電率異方性、弾性定数の設計及びこれらの温度依存性、複屈折率の光波長依存性やデューティー数に対応した誘電率異方性の周波数依存性等も改良手段として注目されている。

## 【0010】

本発明の一般式 (I-1) ~ (I-3) に関連する化合物として、下記一般式 (a-1) ~ (a-8) の化合物の記載が、例えば一般式 (a-1) では *Helvetica Chimica Acta* vol.68 p.1406(1985)、*Mol.Cryst.Liq.Cryst.* vol.206 p.187(1991)、*Liq.Cryst.* vol.15 p.123(1993)、一般式 (a-2) では特表平4-504571(1992)、米国特許第5252253(1993)、一般式 (a-3) では *Mol.Cryst.Liq.Cryst.* vol.1206 p.187(1991)、*Liq.Cryst.* vol.15 p.123(1993)、特開平1-160924(1989)、独国特許第3837208A(1998)、米国特許第5084204(1992)、一般式 (a-4) では *Mol.Cryst.Liq.Cryst.* vol.37 p.249(1976)、米国特許第3925237(1975)、一般式 (a-5) では *Mol.Cryst.Liq.Cryst.* vol.53 p.147(1979)、特開昭53-22882(1978)、一般式 (a-6) では特開昭54-157541(1979)、米国特許第4261651(1981)、英国特許第2023136B(1979)、一般式 (a-7) では *Mol.Cryst.Liq.Cryst.* vol.37 p.249(1976)、一般式 (a-8) では英国特許第2271771A(1994)等に認められる。

## 【0011】

しかしながら、例えば特開平1-160924(1989)、独国特許第3837208A(1998)、英国特許第2271771A(1994)の特許は不成立になっているなど、一般式 (a-1) ~ (a-8) の化合物に関わる技術はほとんど知られていない。詳述すると、化合物においては一般式 (a-1) ~ (a-5)、(a-7) の化合物の相転移温度、この中の一部の化合物の複屈折率、誘電率異方性又は転移エンタルピーが報告されているが、弾性定数や粘性については知られていない。更に、組成物においては、一般式 (a-1) ~ (a-9) の化合物に対し一般的な化合物の組み

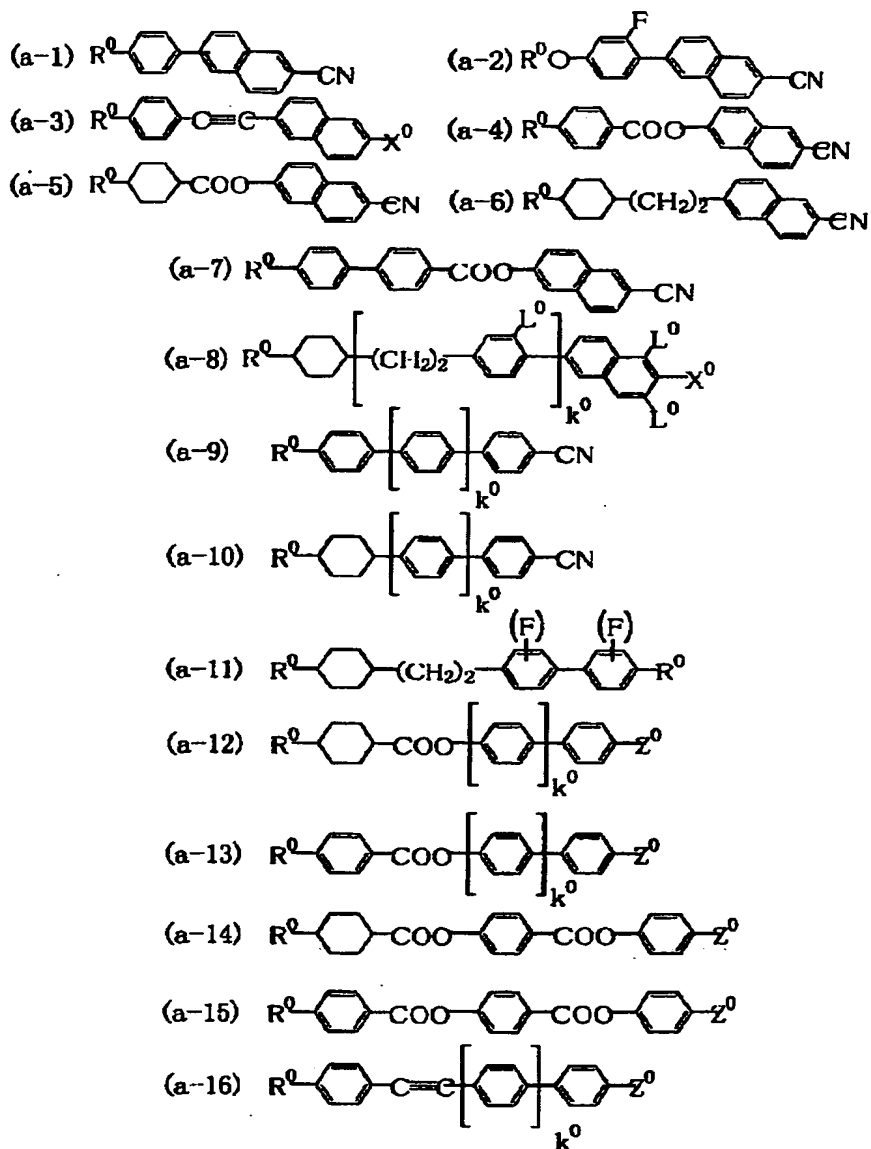


合わせの記述、あるいは一般式 (a-9) ~ (a-11) との組み合わせ又は一般式 (a-9) ~ (a-16) との組み合わせの記述がみられるが、その具体的な実施例はほとんど見いだされない。従って、更にまた、液晶組成物を用いた応用例、例えば液晶表示素子や装置に関する具体例もほとんど見いだされない。

特平10-266993

【0012】

【化 4】



(式中、R<sup>0</sup>はアルキル基、アルコキシ基、アルカノイルオキシ基、X<sup>0</sup>はCN、F等、Z<sup>0</sup>はR<sup>0</sup>、CN、k<sup>0</sup>は1、2を表す。)

【0013】

【発明が解決しようとする課題】

本発明は、一般式 (I-1) ~ (I-3) で表される化合物を少なくとも1種以上含有したネマチック液晶組成物、より詳しくは、一般式 (I-1) ~ (I-3) の化合物を1種又は2種以上以上含有する、あるいはW<sup>111</sup>~W<sup>136</sup>のいずれかが置換され

た化合物を含有する新規なネマチック液晶組成物により、更にまた一般式 (I-1) ~ (I-3) 以外の化合物と組み合わせることにより、上述のような液晶材料に対する要望を解決あるいは少しでも改善しようとするものであり、これにより上述のような液晶表示素子の特性を改善することにある。

#### 【0014】

詳しくは、相溶性の改善、低温保存の向上等により液晶表示特性の動作温度範囲を拡大し、駆動電圧の低減及びその温度変化を改善し、所定の駆動電圧に対し比較的速い応答性を達成するあるいは改善することにある。また、所望の複屈折率を有する液晶材料によりMIMあるいはTFT-LCDやSTN-LCDの種々の表示特性を改良し、比較的大きな複屈折率を有する液晶材料によりPN-CLDやPDLCの表示特性を改善することにある。

#### 【0015】

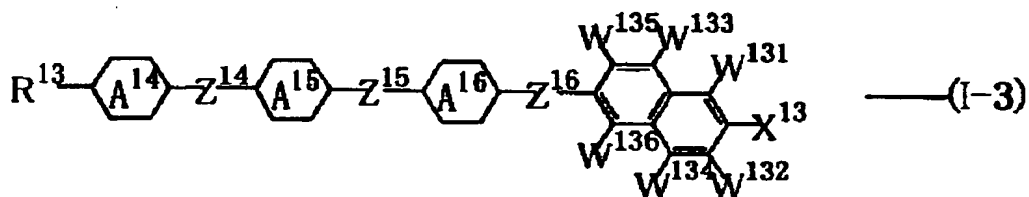
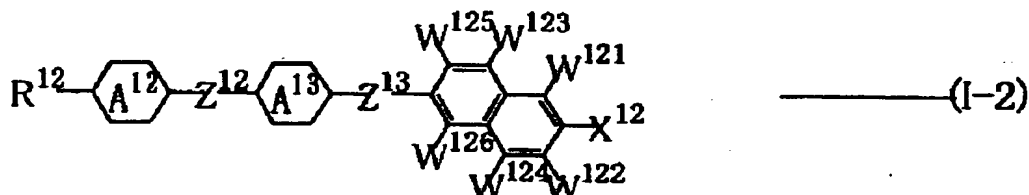
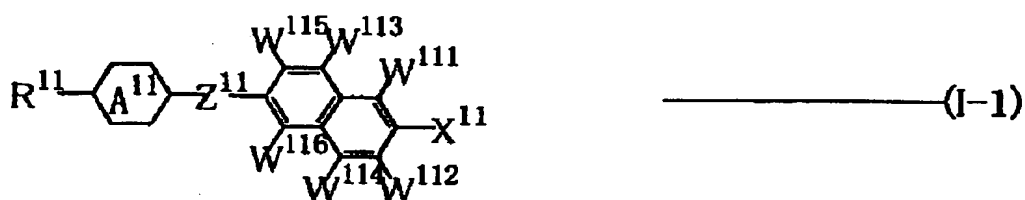
##### 【課題を解決するための手段】

本発明は上記課題を解決するために、

1. 液晶組成物が、一般式 (I-1) ~ (I-3)

#### 【0016】

##### 【化5】



(式中、 $R^{11} \sim R^{13}$ は各々独立的に炭素原子数1～10のアルキル基又は炭素原子数2～10のアルケニル基を表し、該アルキル基又は該アルケニル基は、非置換、あるいは置換基として1個のF、 $CH_3$ 又は $CF_3$ を有していてもよく、あるいは該アルキル基又は該アルケニル基に存在する1個又は2個以上の $CH_2$ 基は各々独立的に、O原子が相互に直接結合しないものとして、 $-O-$ 、 $-CO-$ 又は $-COO-$ で置換されていてもよく、 $X^{11} \sim X^{13}$ は各々独立的にF、Cl、 $CF_3$ 、 $OCF_3$ 、 $OCF_2H$ 、NCS又はCNを表し、 $W^{111} \sim W^{136}$ は各々独立的にH、F、Cl、 $CF_3$ 、 $OCF_3$ 又はCNを表し、 $Z^{11} \sim Z^{16}$ は各々独立的に単結合、 $-COO-$ 、 $-OCO-$ 、 $-CH_2O-$ 、 $-OCH_2-$ 、 $-CH=CH-$ 、 $-CF=CF-$ 、 $-C \equiv C-$ 、 $-(CH_2)_2-$ 、 $-(CH_2)_4-$ 、 $-CH=CH-(CH_2)_2-$ 、 $-(CH_2)_2-CH=CH-$ 、 $-CH=N-$ 、 $-CH=N-N=CH-$ 又は $-N(O)=N-$ を表し、環 $A^{11} \sim A^{16}$ は各々独立的に1,4-フェニレン、2又は3-フルオロ-1,4-フェニレン、2,3-ジフルオロ-1,4-フェニレン、3,5-ジフルオロ-1,4-フェニレン、ピリミジン-2,5-ジイル、トランス-1,4-シクロヘキシレン、トランス-1,4-シクロヘキセニレン又はトランス-1,4-ジオキサ-2,5-ジイルを表し、トランス-1,4-シクロヘキシレンである場合、該

環の水素原子は重水素原子により置換されていても良い。) で表される 1 種又は 2 種以上の化合物からなる液晶成分 A を含有し、前記一般式 (I-1) ~ (I-3) の化合物以外の液晶成分として、+2 以上の誘電率異方性を有する化合物からなる液晶成分 B を 0 ~ 99.9 重量%含有し、-10 ~ +2 の誘電率異方性を有する化合物からなる液晶成分 C を 0 ~ 85 重量%含有し、該液晶成分 B 及び該液晶成分 C の総和が 0 ~ 99.9 重量%であることを特徴とするネマチック液晶組成物。

2. 前記液晶成分 A が、前記一般式 (I-1) 又は前記一般式 (I-2) で表される化合物から選ばれる化合物を 1 種又は 2 種以上含有し、該化合物の含有量が、液晶成分 A 中で 5 ~ 100 重量%であることを特徴とする上記 1 記載のネマチック液晶組成物。

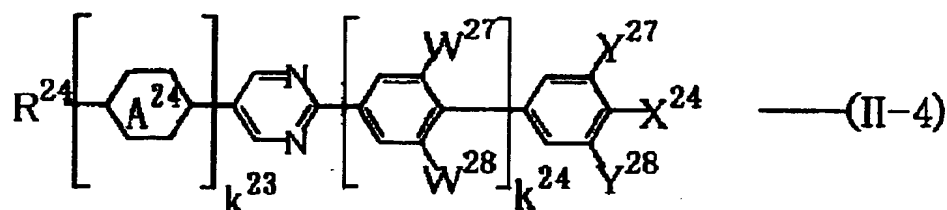
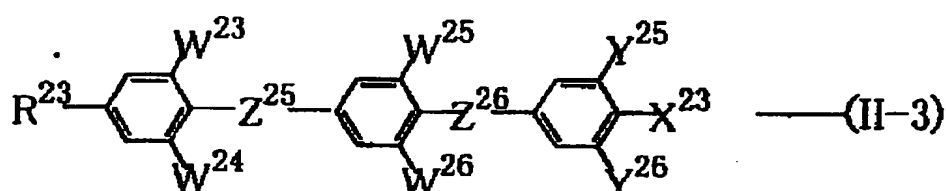
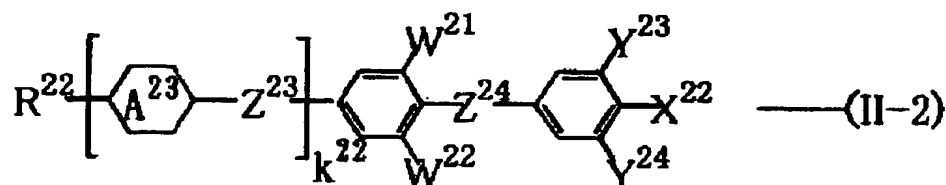
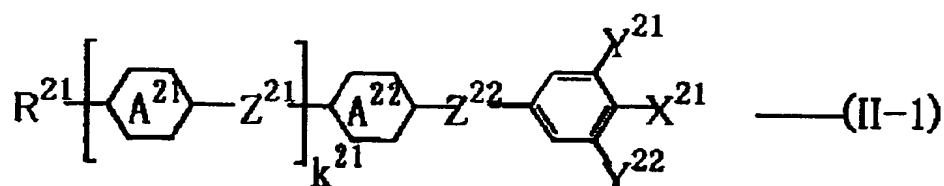
3. 前記液晶成分 A が、前記一般式 (I-1) 及び前記一般式 (I-2) で表される化合物から選ばれる化合物を 1 種又は 2 種以上含有し、該化合物の含有量が、液晶成分 A 中で 5 ~ 100 重量%であることを特徴とする上記 1 記載のネマチック液晶組成物。

4. 前記液晶成分 A が、前記一般式 (I-1) ~ (I-3) において、 $R^{11} \sim R^{13}$  が各々独立的に炭素原子数 2 ~ 7 のアルキル基又はアルケニル基で表される化合物、 $X^{11} \sim X^{13}$  が各々独立的に F、Cl、 $CF_3$ 、 $OCF_3$ 、 $OCF_2H$  又は CN で表される化合物、 $W^{111} \sim W^{113}$ 、 $W^{121} \sim W^{123}$ 、 $W^{131} \sim W^{133}$  のうち少なくとも 1 個以上が F で置換された化合物、 $Z^{11}$ 、 $Z^{13}$ 、 $Z^{16}$  が各々独立的に単結合、 $-(CH_2)_2-$ 、 $-COO-$  又は  $-C \equiv C-$  で表される化合物、環  $A^{11}$ 、 $A^{13}$ 、 $A^{16}$  が各々独立的にトランス-1,4-シクロヘキシレン、1,4-フェニレン、3-フルオロ-1,4-フェニレン又は 3,5-ジフルオロ-1,4-フェニレンで表される化合物、から選ばれる 1 種又は 2 種以上の化合物を含有することを特徴とする上記 1、2 又は 3 記載のネマチック液晶組成物。

5. 前記液晶成分 B が、一般式 (II-1) ~ (II-4)

【0017】

【化 6】



(式中、 $R^{21} \sim R^{24}$ は各々独立的に炭素原子数1~10のアルキル基又は炭素原子数2~10のアルケニル基を表し、該アルキル基又は該アルケニル基は、非置換、あるいは置換基として1個のF、 $\text{CH}_3$ 又は $\text{CF}_3$ を有していてもよく、あるいは該アルキル基又は該アルケニル基に存在する1個又は2個以上の $\text{CH}_2$ 基は各々独立的に、O原子が相互に直接結合しないものとして、 $-\text{O}-$ 、 $-\text{CO}-$ 又は $-\text{COO}-$ で置換されていてもよく、 $\text{X}^{21} \sim \text{X}^{24}$ は各々独立的にF、Cl、 $\text{CF}_3$ 、 $\text{OCF}_3$ 、 $\text{OCF}_2\text{H}$ 、 $\text{NCS}$ 又はCNを表し、 $\text{Y}^{21} \sim \text{Y}^{28}$ は各々独立的にH、F、Cl又は $\text{OCF}_3$ を表し、 $\text{W}^{21} \sim \text{W}^{28}$ は各々独立的にH、F又はClを表し、 $\text{Z}^{21} \sim \text{Z}^{26}$ は各々独立的に単結合、 $-\text{COO}-$ 、 $-\text{OCO}-$ 、 $-\text{CH}_2\text{O}-$ 、 $-\text{OCH}_2-$ 、 $-(\text{CH}_2)_2-$ 、 $-(\text{CH}_2)_4-$ 、 $-\text{CH}=\text{CH}-(\text{CH}_2)_2-$ 、 $-(\text{CH}_2)_2-\text{CH}=\text{CH}-$ 、 $-\text{CH}=\text{N}-$ 、 $-\text{CH}=\text{N}-\text{N}=\text{CH}-$ 又は $-\text{N}(\text{O})=\text{N}-$ を表し、 $\text{Z}^{21}$ 、 $\text{Z}^{24}$ 、 $\text{Z}^{25}$

及び  $Z^{26}$  はまた  $-CH=CH-$ 、 $-CF=CF-$  又は  $-C\equiv C-$  であってもよく、環  $A^{21}\sim A^{24}$  は各々独立的に トランス-1, 4-シクロヘキシレン、トランス-1, 4-シクロヘキセニレン又は トランス-1, 4-ジオキサソ-2, 5-ジイルを表し、環  $A^{24}$  はまた 1, 4-フェニレン、2 又は 3-フルオロ-1, 4-フェニレン、3, 5-ジフルオロ-1, 4-フェニレンであってもよく、トランス-1, 4-シクロヘキシレンである場合、該環の水素原子は重水素原子により置換されていても良い。 $k^{21}\sim k^{24}$  は各々独立的に 0 又は 1 を表し、 $k^{23}+k^{24}$  は 0 又は 1 である。) で表される 1 種又は 2 種以上の化合物からなることを特徴とする上記 1、2、3 又は 4 記載のネマチック液晶組成物。

6. 前記液晶成分 B が、前記一般式 (II-1) ~ (II-4) において、 $R^{21}\sim R^{24}$  が各々独立的に炭素原子数 2~5 のアルケニル基で表される化合物、 $X^{21}\sim X^{24}$  が各々独立的に F、Cl 又は  $-OCF_3$  で表される化合物、前記一般式 (II-1) において、 $Z^{22}$  が  $-(CH_2)_2-$  又は  $-(CH_2)_4-$  で表される化合物、 $k^{21}$  が 1 である化合物、前記一般式 (II-2) の化合物において、 $Y^{23}$ 、 $Y^{24}$ 、 $W^{21}$ 、 $W^{22}$  の少なくとも 1 個が F で表される化合物、 $k^{22}$  が 1 であり、 $Z^{24}$  が  $-C\equiv C-$  である化合物、 $Z^{23}$  が単結合又は  $-(CH_2)_2-$  を表し、 $Z^{24}$  が  $-COO-$  である化合物、前記一般式 (II-3) の化合物において、 $Y^{25}$ 、 $Y^{26}$ 、 $W^{23}\sim W^{26}$  の少なくとも 1 個が F で表される化合物、 $Z^{26}$  が  $-C\equiv C-$  である化合物、 $Z^{25}$  が単結合又は  $-C\equiv C-$  を表し、 $Z^{26}$  が  $-COO-$  である化合物、前記一般式 (II-4) で表される化合物、前記一般式 (II-1)、(II-2) の化合物において、環  $A^{21}\sim A^{23}$  が トランス-1, 4-シクロヘキシレンであり、該環の水素原子が重水素原子で置換された化合物、から選ばれる 1 種又は 2 種以上の化合物を含有することを特徴とする上記 5 記載のネマチック液晶組成物。

7. 前記液晶成分 B が、前記一般式 (II-1) において、 $R^{21}$  が炭素原子数 2~5 のアルキル基又はアルケニル基を表し、 $k^{21}$  が 0 であり、 $X^{21}$  が  $-CN$  である化合物、 $k^{21}$  が 1 であり、 $X^{21}$  が F 又は  $-CN$  を表し、 $Y^{21}$ 、 $Y^{22}$  が H 又は F で表される化合物、前記一般式 (II-2) において、 $R^{22}$  が炭素原子数 2~5 のアルキル基又はアルケニル基を表し、 $k^{22}$  が 0 であり、 $X^{22}$  が  $-CN$  であり、 $Y^{23}$ 、 $Y^{24}$ 、 $W^{21}$ 、 $W^{22}$  が各々独立的に H 又は F で表される化合物、 $k^{22}$  が 1 であり、 $Z^{23}$  が



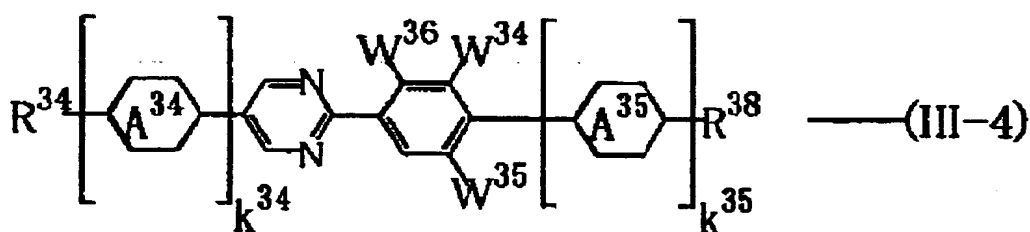
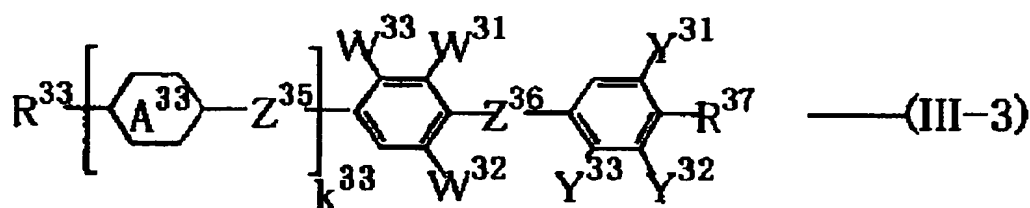
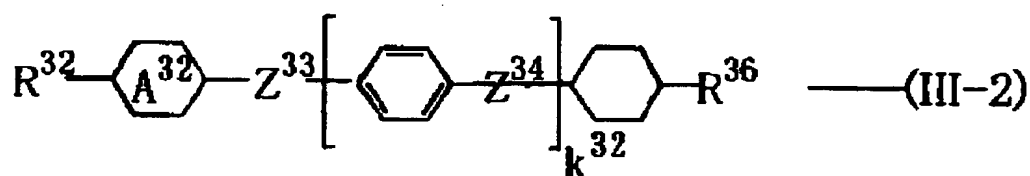
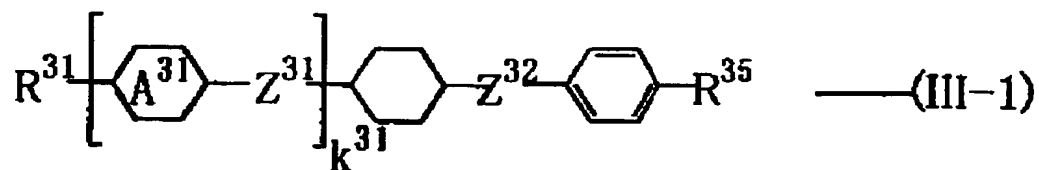
単結合、 $-(CH_2)_2-$ 又は $-COO-$ を表し、 $Z^{24}$ が単結合、 $-COO-$ 又は $-C\equiv C-$ を表し、 $X^{22}$ がF又は $-CN$ を表し、 $Y^{23}$ 、 $Y^{24}$ 、 $W^{21}$ 、 $W^{22}$ が各々独立的にH又はFで表される化合物、前記一般式(II-3)において、 $R^{23}$ が炭素原子数2~5のアルキル基又はアルケニル基を表し、 $Z^{25}$ 及び $Z^{26}$ の一方が単結合であり他方が単結合、 $-COO-$ 又は $-C\equiv C-$ で表される化合物、 $Y^{25}$ 、 $Y^{26}$ 、 $W^{23}\sim W^{26}$ が各々独立的にH又はFで表される化合物、前記一般式(II-4)において、 $R^{24}$ が炭素原子数2~7のアルキル基又はアルケニル基を表し、 $k^{23}+k^{24}$ が0である化合物、前記一般式(II-1)、(II-2)の化合物において、環 $A^{21}\sim A^{23}$ がトランス-1, 4-シクロヘキシレンであり、該環の水素原子が重水素原子で置換された化合物、から選ばれる1種又は2種以上の化合物を含有し、該化合物の含有量が液晶成分B中で10~100重量%であることを特徴とする上記5記載のネマチック液晶組成物。

8. 前記液晶成分Bが、前記一般式(II-1)において、 $R^{21}$ が炭素原子数2~5のアルキル基又はアルケニル基を表し、 $k^{21}$ が1を表し、 $Z^{21}$ 及び $Z^{22}$ の一方が単結合であり他方が単結合、 $-COO-$ 、 $-(CH_2)_2-$ 、又は $-(CH_2)_4-$ を表し、 $X^{21}$ がF、Cl、 $CF_3$ 、 $OCF_3$ 又は $OCF_2H$ を表し、 $Y^{21}$ 、 $Y^{22}$ の1個又は2個がFで表される化合物、前記一般式(II-2)において、 $R^{22}$ が炭素原子数2~5のアルキル基又はアルケニル基を表し、 $k^{22}$ が1であり、 $Z^{23}$ が単結合、 $-(CH_2)_2-$ 又は $-COO-$ を表し、 $Z^{24}$ が単結合、 $-COO-$ 又は $-C\equiv C-$ を表し、 $X^{22}$ がF、Cl、 $CF_3$ 、 $OCF_3$ 又は $OCF_2H$ を表し、 $Y^{23}$ 、 $Y^{24}$ の1個又は2個がFであり、 $W^{21}$ 、 $W^{22}$ がH又はFである化合物、前記一般式(II-3)において、 $R^{23}$ が炭素原子数2~5のアルキル基又はアルケニル基を表し、 $Z^{25}$ 及び $Z^{26}$ の一方が単結合であり他方が単結合、 $-COO-$ 又は $-C\equiv C-$ を表し、 $X^{23}$ がFであり、 $Y^{25}$ 、 $Y^{26}$ の1個又は2個がFであり、 $W^{23}\sim W^{26}$ が各々独立的にH又は1個以上がFで表される化合物、前記一般式(II-1)、(II-2)の化合物において、環 $A^{21}\sim A^{23}$ がトランス-1, 4-シクロヘキシレンであり、該環の水素原子が重水素原子で置換された化合物、から選ばれる1種又は2種以上の化合物を含有し、該化合物の含有量が液晶成分B中で10~100重量%であることを特徴とする上記5記載のネマチック液晶組成物。

9. 前記液晶成分Cが、一般式 (III-1) ~ (III-4)

【0018】

【化7】



(式中、 $R^{31} \sim R^{38}$ は各々独立的に炭素原子数1~7のアルキル基あるいはアルコキシ基、又は炭素原子数2~7のアルケニル基あるいはアルケニルオキシ基を表し、該アルキル基、該アルコキシ基、該アルケニル基又は該アルケニルオキシ基は、非置換、あるいは置換基として1個のF、 $\text{CH}_3$ 又は $\text{CF}_3$ を有していてもよく、あるいは該アルキル基又は該アルケニル基に存在する1個又は2個以上の $\text{CH}_2$ 基は各々独立的に、O原子が相互に直接結合しないものとして、 $-\text{O}-$ 、 $-\text{CO}-$ 又は $-\text{COO}-$ で置換されていてもよく、 $\text{Y}^{31} \sim \text{Y}^{36}$ は各々独立的にH又はF

を表し、 $Y^{33}$ 、 $Y^{36}$ はまた $-CH_3$ であってもよく、 $W^{31} \sim W^{39}$ は各々独立的にH、F又はClを表し、 $Z^{31} \sim Z^{36}$ は各々独立的に単結合、 $-COO-$ 、 $-OCO-$ 、 $-CH_2O-$ 、 $-OCH_2-$ 、 $-(CH_2)_2-$ 、 $-(CH_2)_4-$ 、 $-CH=CH-(CH_2)_2-$ 、 $-(CH_2)_2-CH=CH-$ 、 $-CH=N-$ 、 $-CH=N-N=CH-$ 又は $-N(O)=N-$ を表し、 $Z^{31}$ 、 $Z^{34} \sim Z^{36}$ はまた $-CH=CH-$ 、 $-CF=CF-$ 又は $-C \equiv C-$ であってもよく、環 $A^{31} \sim A^{35}$ は各々独立的にトランス-1, 4-シクロヘキシレン、トランス-1, 4-シクロヘキセニレン又はトランス-1, 4-ジオキサン-2, 5-ジイルを表し、環 $A^{31}$ 、 $A^{33} \sim A^{35}$ はまた1, 4-フェニレン、2又は3-フルオロ-1, 4-フェニレン、2, 3-ジフルオロ-1, 4-フェニレン、3, 5-ジフルオロ-1, 4-フェニレンであってもよく、トランス-1, 4-シクロヘキシレンである場合、該環の水素原子は重水素原子により置換されていても良い。 $k^{31} \sim k^{35}$ は各々独立的に0又は1を表し、 $k^{34} + k^{35}$ は0又は1である。)で表される1種又は2種以上の化合物からなることを特徴とする上記1乃至8記載のネマチック液晶組成物。

10. 前記液晶成分Cが、前記一般式(III-1)で表される化合物、前記一般式(III-2)で表される化合物又は前記一般式(III-3)で表される化合物、から選ばれる1種又は2種以上の化合物を含有し、該化合物の含有量が液晶成分C中で10～100重量%であることを特徴とする上記9記載のネマチック液晶組成物。

11. 前記液晶成分Cが、前記一般式(III-1)～(III-4)において、 $R^{31} \sim R^{34}$ が炭素原子数2～5のアルケニル基で表される化合物、 $R^{35} \sim R^{38}$ が炭素原子数2～7の直鎖状アルケニル基又はアルケニルオキシ基で表される化合物、前記一般式(III-1)の化合物において、 $k^{31}$ が0であり、 $Z^{32}$ が単結合又は $-(CH_2)_2-$ で表される化合物、 $k^{31}$ が1で表される化合物、前記一般式(III-2)で表される化合物、前記一般式(III-3)の化合物において、 $Y^{34}$ 、 $Y^{35}$ 、 $W^{34} \sim W^{36}$ の少なくとも1個がFであり、 $Y^{36}$ がF又は $-CH_3$ で表される化合物、 $k^{33}$ が0であり、 $Z^{36}$ が単結合である化合物、 $k^{33}$ が1であり、 $Z^{35}$ が単結合、 $-OCO-$ 、 $-CH_2O-$ 、 $-OCH_2-$ 、 $-(CH_2)_2-$ 、 $-(CH_2)_4-$ 、 $-CH=CH-(CH_2)_2-$ 、 $-(CH_2)_2-CH=CH-$ 、 $-CH=N-$ 、 $-CH=N-N=CH-$ 、 $-N(O)=N-$ 、 $-CH=CH-$ 又は $-CF=CF-$ で表される化合物、 $Z^{35}$ が $-COO-$ 又は $-C \equiv C-$ で

あり、 $Z^{36}$ が $-\text{OCO}-$ 、 $-\text{CH}_2\text{O}-$ 、 $-\text{OCH}_2-$ 、 $-(\text{CH}_2)_2-$ 、 $-(\text{CH}_2)_4-$ 、 $-\text{CH}=\text{CH}-(\text{CH}_2)_2-$ 、 $-(\text{CH}_2)_2-\text{CH}=\text{CH}-$ 、 $-\text{CH}=\text{N}-$ 、 $-\text{CH}=\text{N}-\text{N}=\text{CH}-$ 、 $-\text{N}(\text{O})=\text{N}-$ 、 $-\text{CH}=\text{CH}-$ 、 $-\text{CF}=\text{CF}-$ 又は $-\text{C}\equiv\text{C}-$ で表される化合物、前記一般式(III-4)で表される化合物、前記一般式(III-1)～(III-4)の化合物において、環 $A^{31}\sim A^{35}$ がトランス-1,4-シクロヘキシレンであり、該環の水素原子が重水素原子で置換された化合物、から選ばれる1種又は2種以上の化合物を含有することを特徴とする上記9記載のネマチック液晶組成物。

12. 前記液晶成分Cが、前記一般式(III-1)において、 $R^{31}$ が炭素原子数1～5のアルキル基又は炭素原子数2～5のアルケニル基を表し、 $R^{35}$ が炭素原子数1～5のアルキル基あるいはアルコキシ基、又は炭素原子数2～5のアルケニル基あるいはアルケニルオキシ基を表し、 $k^{31}$ が0であり、 $Z^{32}$ が単結合、 $-\text{COO}-$ 又は $-(\text{CH}_2)_2-$ で表される化合物、 $k^{31}$ が1であり、環 $A^{31}$ がトランス-1,4-シクロヘキシレンであり、 $Z^{31}$ 及び $Z^{32}$ の一方が単結合であり他方が単結合、 $-\text{COO}-$ 又は $-(\text{CH}_2)_2-$ で表される化合物、前記一般式(III-2)において、 $R^{32}$ が炭素原子数1～5のアルキル基又は炭素原子数2～5のアルケニル基を表し、 $R^{36}$ が炭素原子数1～5のアルキル基あるいはアルコキシ基、又は炭素原子数2～5のアルケニル基あるいはアルケニルオキシ基を表し、環 $A^{32}$ がトランス-1,4-シクロヘキシレン又はトランス-1,4-シクロヘキセニレンを表し、 $k^{32}$ が0であり、 $Z^{33}$ が単結合、 $-\text{COO}-$ 又は $-(\text{CH}_2)_2-$ で表される化合物、 $k^{32}$ が1であり、 $Z^{33}$ 及び $Z^{34}$ の一方が単結合で表される化合物、前記一般式(III-3)において、 $R^{33}$ が炭素原子数1～5のアルキル基又は炭素原子数2～5のアルケニル基を表し、 $R^{37}$ が炭素原子数1～5のアルキル基あるいはアルコキシ基、又は炭素原子数2～5のアルケニル基あるいはアルケニルオキシ基を表し、 $k^{33}$ が0であり、 $Z^{36}$ が単結合、 $-\text{C}\equiv\text{C}-$ 又は $-\text{CH}=\text{N}-\text{N}=\text{CH}-$ で表される化合物、 $k^{33}$ が1であり、 $Z^{35}$ が単結合、 $-(\text{CH}_2)_2-$ 、 $-\text{COO}-$ 又は $-\text{C}\equiv\text{C}-$ であり、 $Z^{36}$ が単結合、 $-\text{COO}-$ 又は $-\text{C}\equiv\text{C}-$ で表される化合物、 $Z^{35}$ 及び $Z^{36}$ の一方が単結合であり他方が単結合又は $-\text{C}\equiv\text{C}-$ を表し、 $W^{34}$ 及び $W^{35}$ の少なくとも1個がFで表される化合物、 $Y^{35}$ 、 $Y^{36}$ いずれかがF、 $\text{CH}_3$ で置換された化合物、前記一般式(III-4)において、 $R^{34}$ が炭素原子数1～5のアル

キル基又は炭素原子数 2～5 のアルケニル基を表し、 $R^{38}$  が炭素原子数 1～5 のアルキル基あるいはアルコキシ基、又は炭素原子数 2～5 のアルケニル基あるいはアルケニルオキシ基を表し、 $k^{34} + k^{35}$  が 0 である化合物、から選ばれる 1 種又は 2 種以上の化合物を含有し、該化合物の含有量が液晶成分 C 中で 10～100 重量%であることを特徴とする上記 9 記載のネマチック液晶組成物。

13. 前記液晶組成物が、4 個の六員環を有したコア構造の化合物であって、該化合物の液晶相－等方性液体相転移温度が 100℃以上である化合物を 1 種又は 2 種以上含有することを特徴とする上記 1 乃至 12 記載のネマチック液晶組成物。

14. 前記液晶組成物が、4～30 の誘電率異方性であり、0.08～0.35 の複屈折率であり、50℃～180℃のネマチック相－等方性液体相転移温度であり、-200℃～0℃の結晶相、スメクチック相又はガラス相－ネマチック相転移温度であることを特徴とする上記 1 乃至 13 記載のネマチック液晶組成物。

15. 前記液晶組成物に、誘起螺旋ピッチが 0.5～1000  $\mu m$  となる光学活性基を有する化合物を含有することを特徴とする上記 1 乃至 14 記載のネマチック液晶組成物。

16. 上記 15 記載のネマチック液晶組成物を用いたアクティブ・マトリクス、ツイステッド・ネマチック又はスーパー・ツイステッド・ネマチック液晶表示装置。

17. 上記 1 乃至 15 記載の液晶組成物及び透明性固体物質を含有した調光層を有する光散乱形液晶表示装置。

18. 前記調光層において、前記液晶組成物が連続層をなし、該連続層中に前記透明性固体物質が均一な三次元網目状構造を形成したことを特徴とする上記 17 記載の光散乱形液晶表示装置。

を前記課題を解決するための手段として見いだした。

【0019】

【発明の実施の形態】

以下に本発明の一例について説明する。尚、以下で示される式中の定義は、特にことわりのない限り、上記の場合と同様である。

## 【 0 0 2 0 】

本発明の液晶組成物は、一般式 (I-1) ~ (I-3) で表される化合物からなる液晶成分 A を必須成分として含有する。一般式 (I-1) ~ (I-3) で表される化合物は、極性基を有するナフタレン-2, 6 ジイルを部分構造とする分子構造を特徴としている。この特徴を有する液晶成分 A は、液晶組成物に混合すると、ネマチック相-等方性液体相転移温度が比較的良好で応答性を維持あるいは悪化させることなく、駆動電圧を低下させる効果を有しており、従来の駆動電圧低減の液晶化合物にない優れた特性を有している。本発明の液晶組成物は、一般式 (I-1) ~ (I-3) の化合物からなる液晶成分 A を含有し、+2 以上の誘電率異方性を有する化合物からなる液晶成分 B を 0 ~ 99.9 重量% 含有し、-10 ~ +2 の誘電率異方性を有する化合物からなる液晶成分 C を 0 ~ 85 重量% 含有し、該液晶成分 B と該液晶成分 C の総和が 0 ~ 99.9 重量% 含有させることで、この効果を有することを見いだした。また、液晶成分 A は、上記の液晶成分 B と液晶成分 C の液晶材料に対して混合したとき、固体相又はスメクチック相-ネマチック相転移温度を低下させたりあるいは低温での保存時間を長くする等、表示温度範囲をより広くさせることができる。

## 【 0 0 2 1 】

本発明は、液晶成分 A が一般式 (I-1) あるいは一般式 (I-2) で表される化合物から選ばれる化合物を 1 種又は 2 種以上含有し、又は一般式 (I-1) 及び一般式 (I-2) で表される化合物を併用して含有し、該化合物の含有量が 5 ~ 100 重量% であることが上記の効果を得的のにより好ましいことを見いだした。

## 【 0 0 2 2 】

また、本発明において、液晶成分 B 及び液晶成分 C を含まない場合で、且つ、液晶成分 A のみからなるネマチック液晶組成物の場合は、液晶成分 A は、一般式 (I-1) ~ (I-3) で表される化合物から選ばれる少なくとも 2 種以上の化合物を含有するが、好ましくは 5 種以上含有するものである。

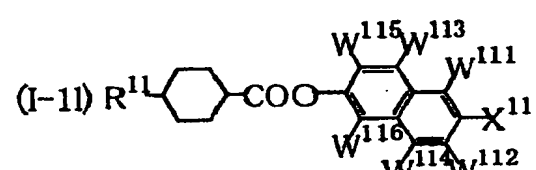
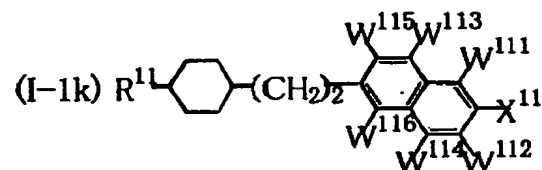
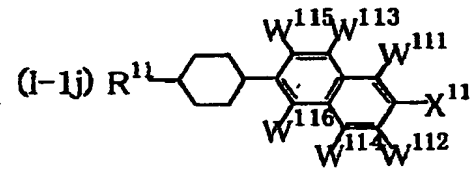
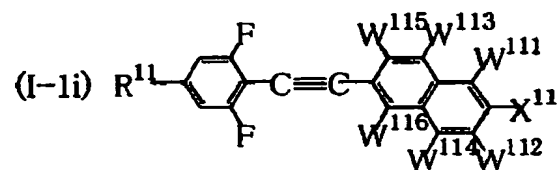
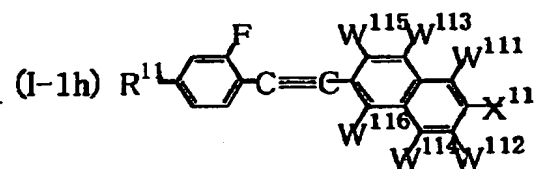
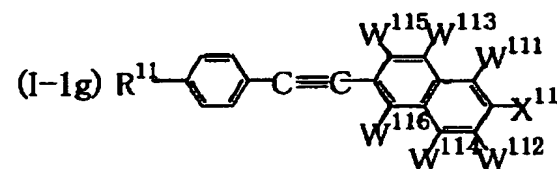
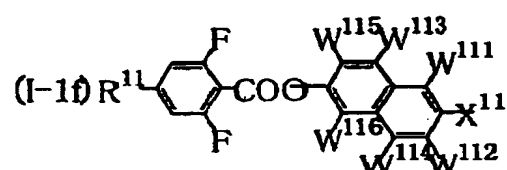
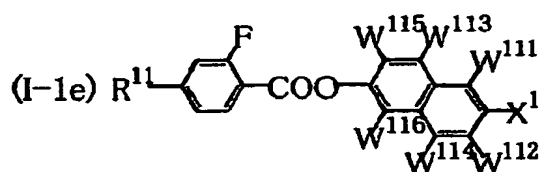
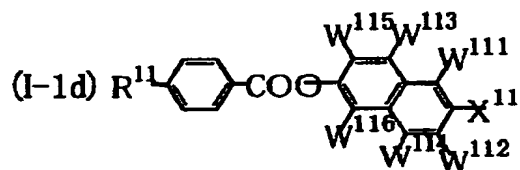
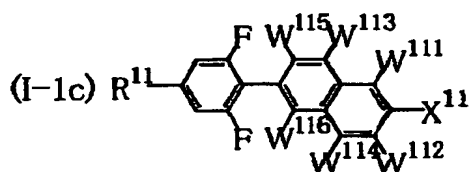
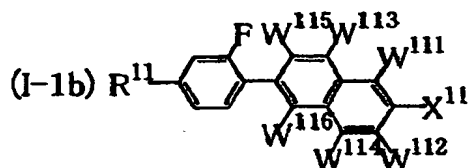
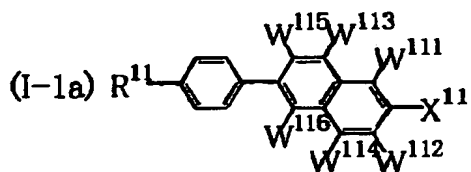
## 【 0 0 2 3 】

この様な視点から、一般式 (I-1) ~ (I-3) で表される化合物におけるより好ましい基本構造の形態は、下記に示す一般式 (I-1a) ~ (I-3ab) で表される化

合物である。

【0024】

【化 8】



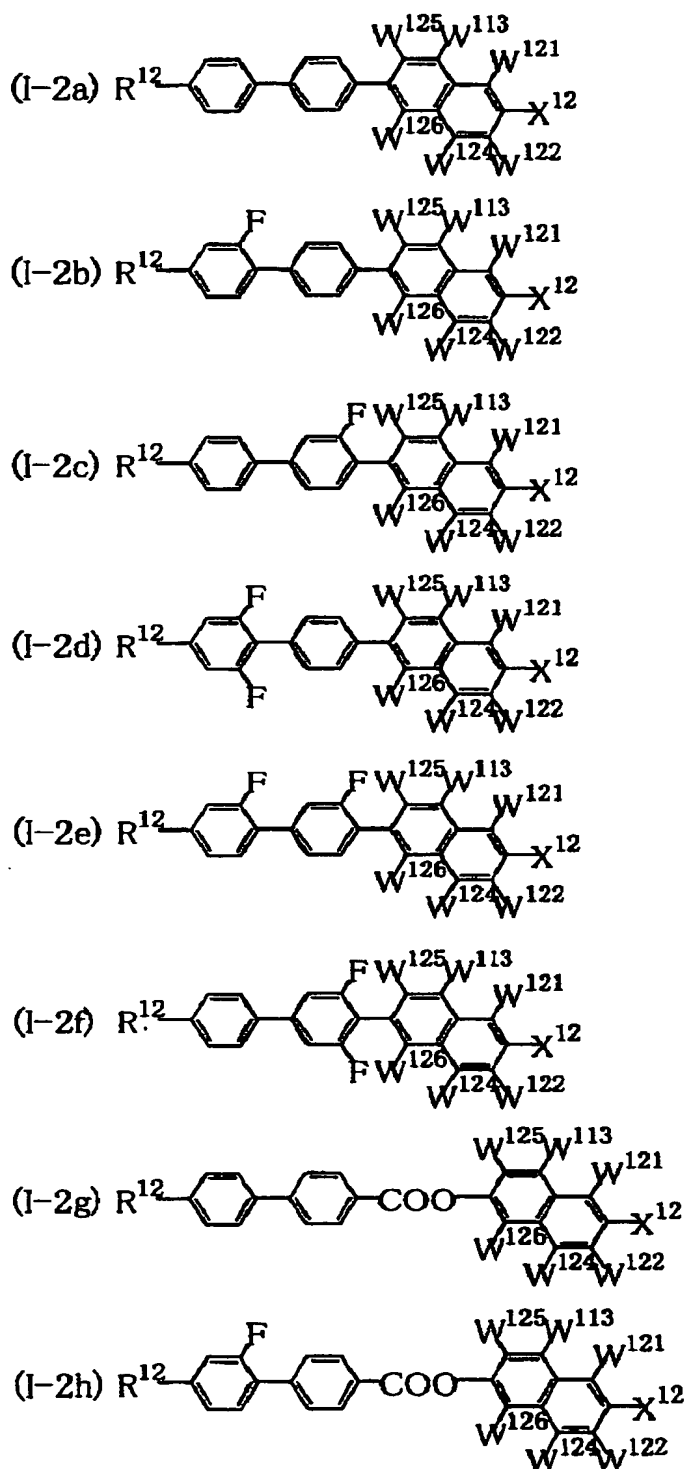
【0025】

特平 10-266993

【化9】



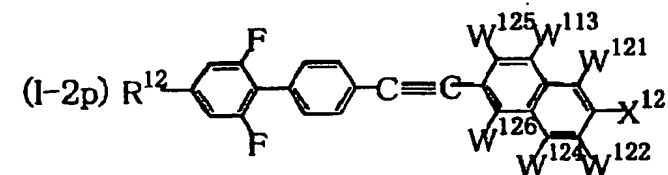
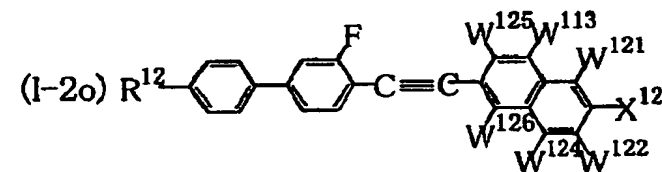
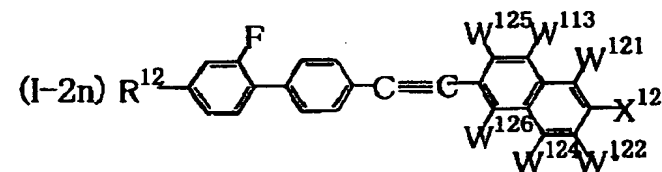
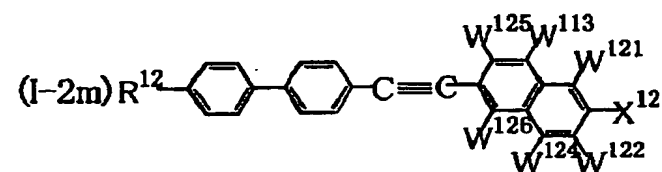
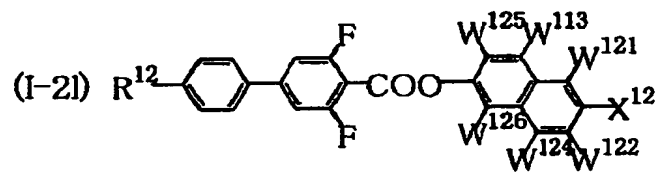
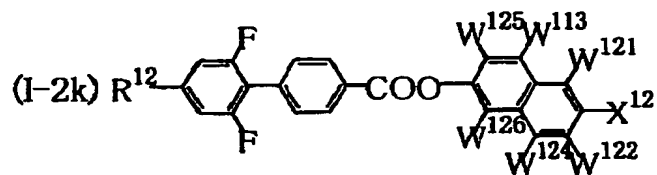
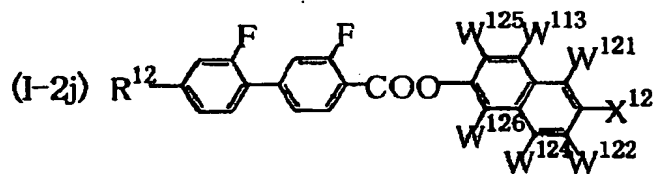
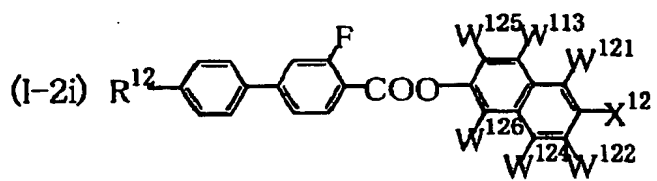
特平 10-266993



【0026】

【化10】

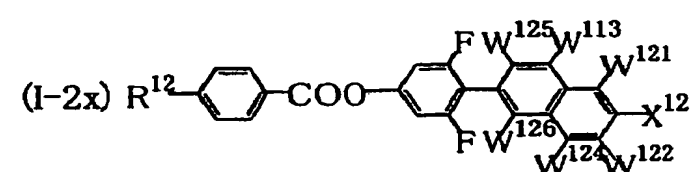
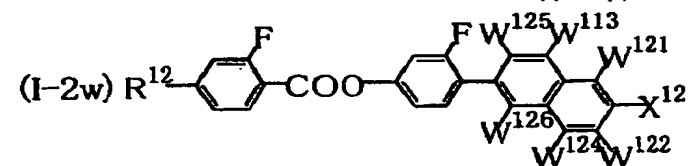
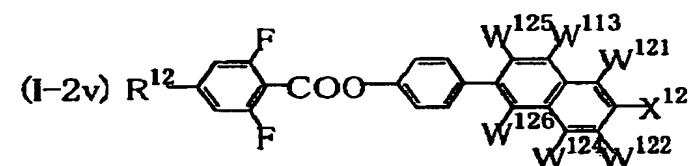
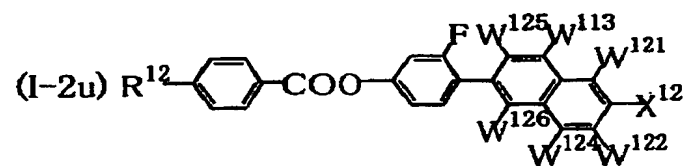
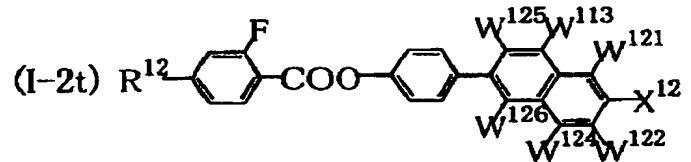
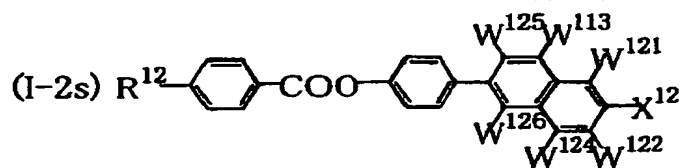
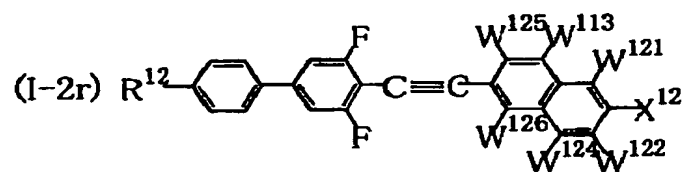
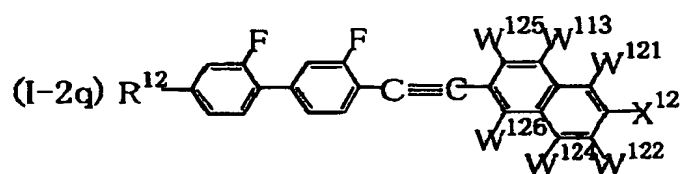
“ “  
特平 1 0 — 2 6 6 9 9 3 ,



【0027】

【化11】

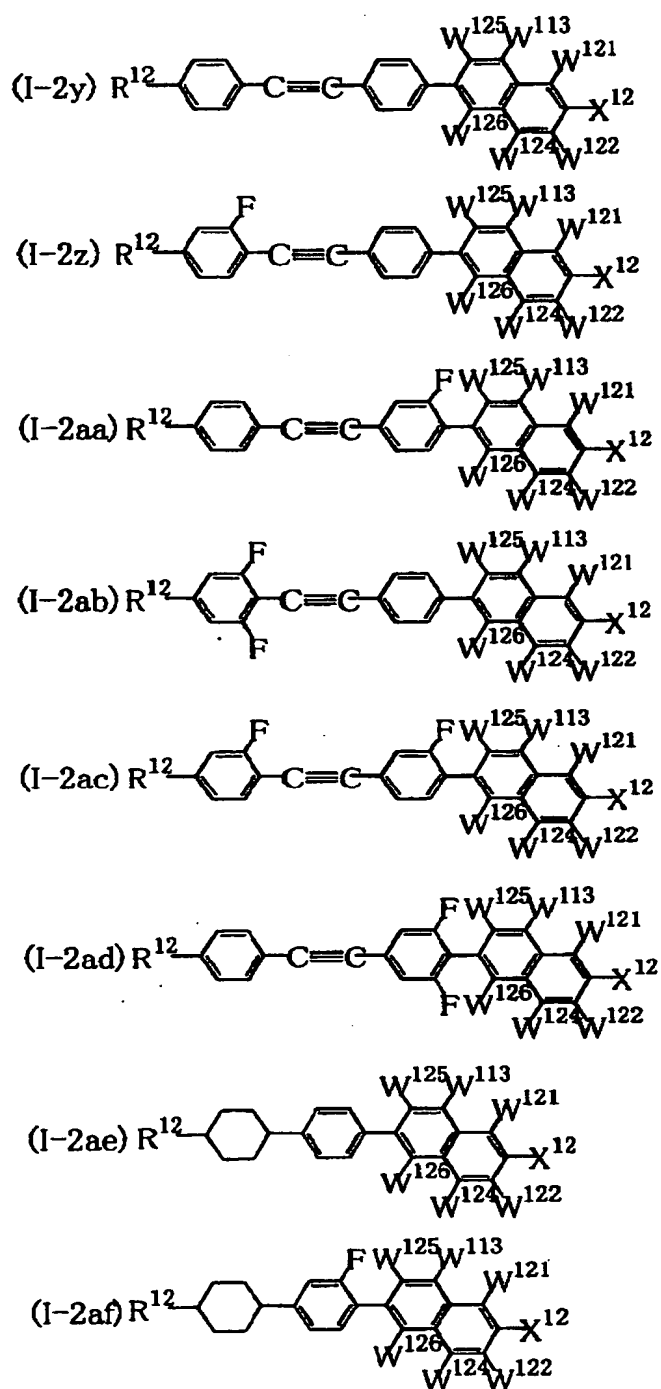
特平 10-266993



【 0 0 2 8 】

【 化 1 2 】

特平 10-266993

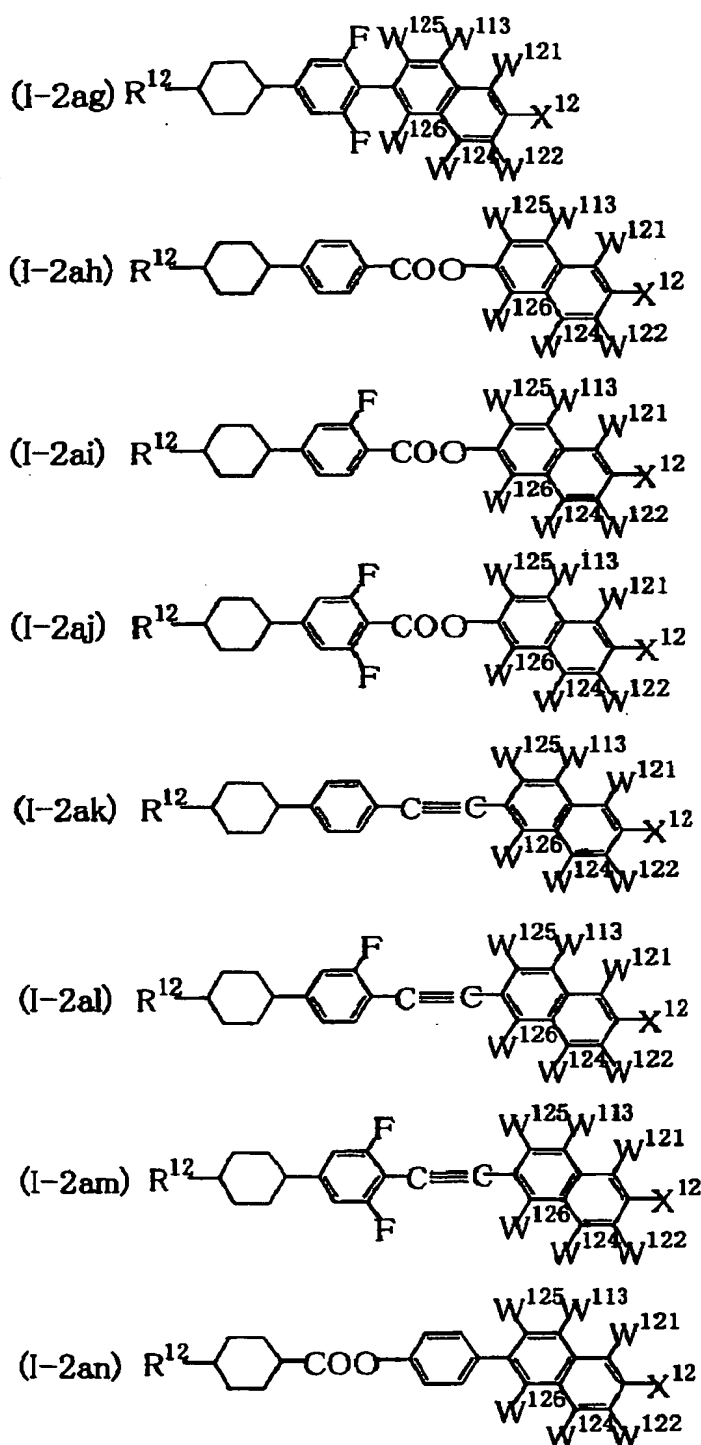


【0029】

【化13】

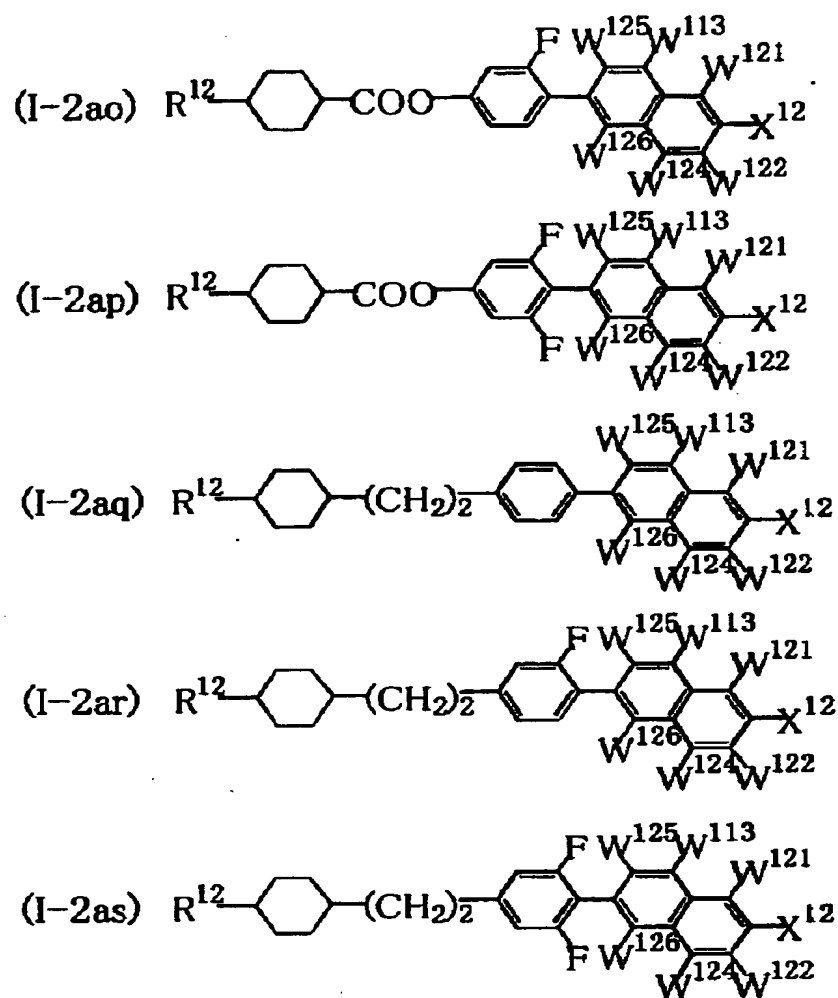


特平 10-266993



[0030]

【化14】

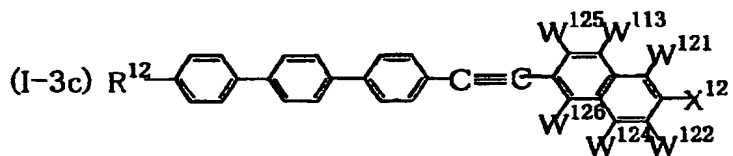
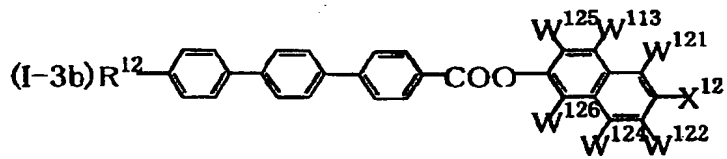
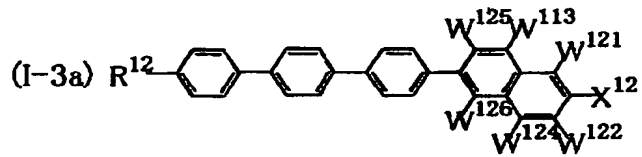
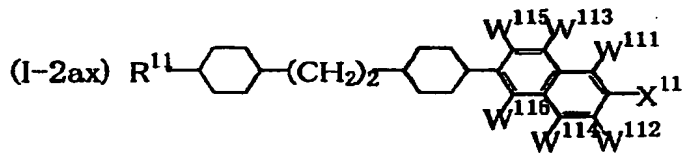
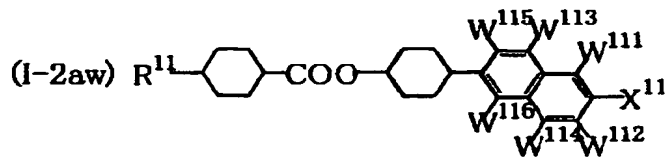
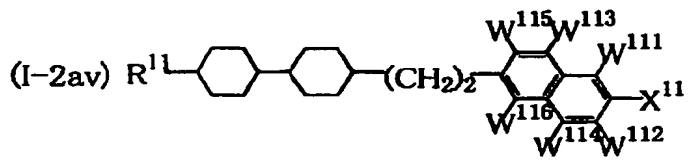
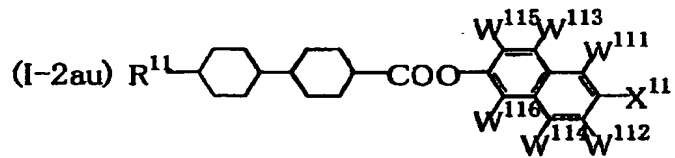
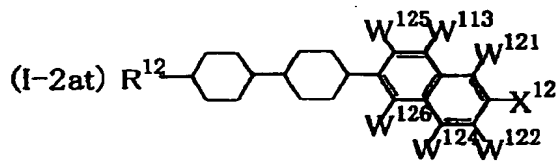


【0031】

特平 1 0 — 2 6 6 9 9 3

【化 1 5】

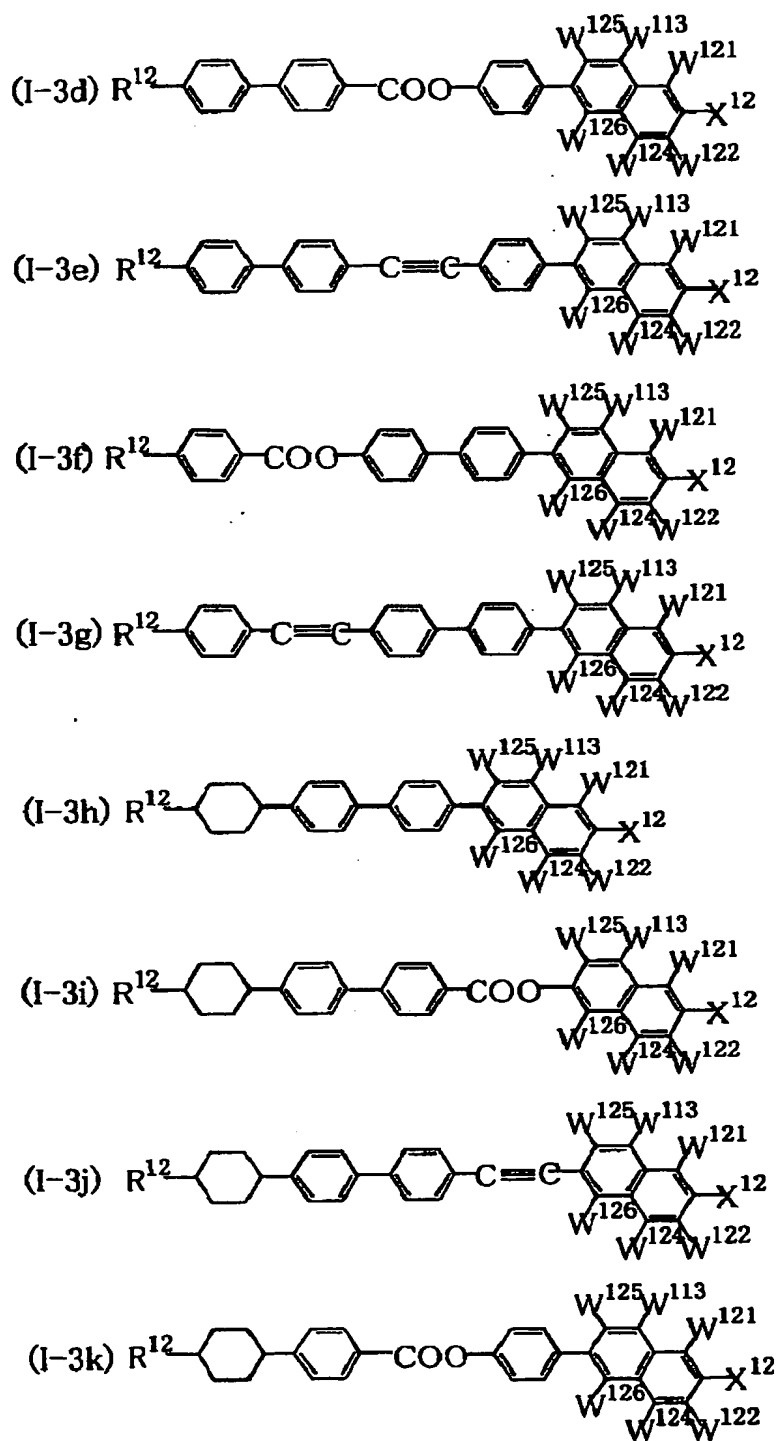
特平 10-266993



[0032]

【化16】

特平 1 0 - 2 6 6 9 9 3

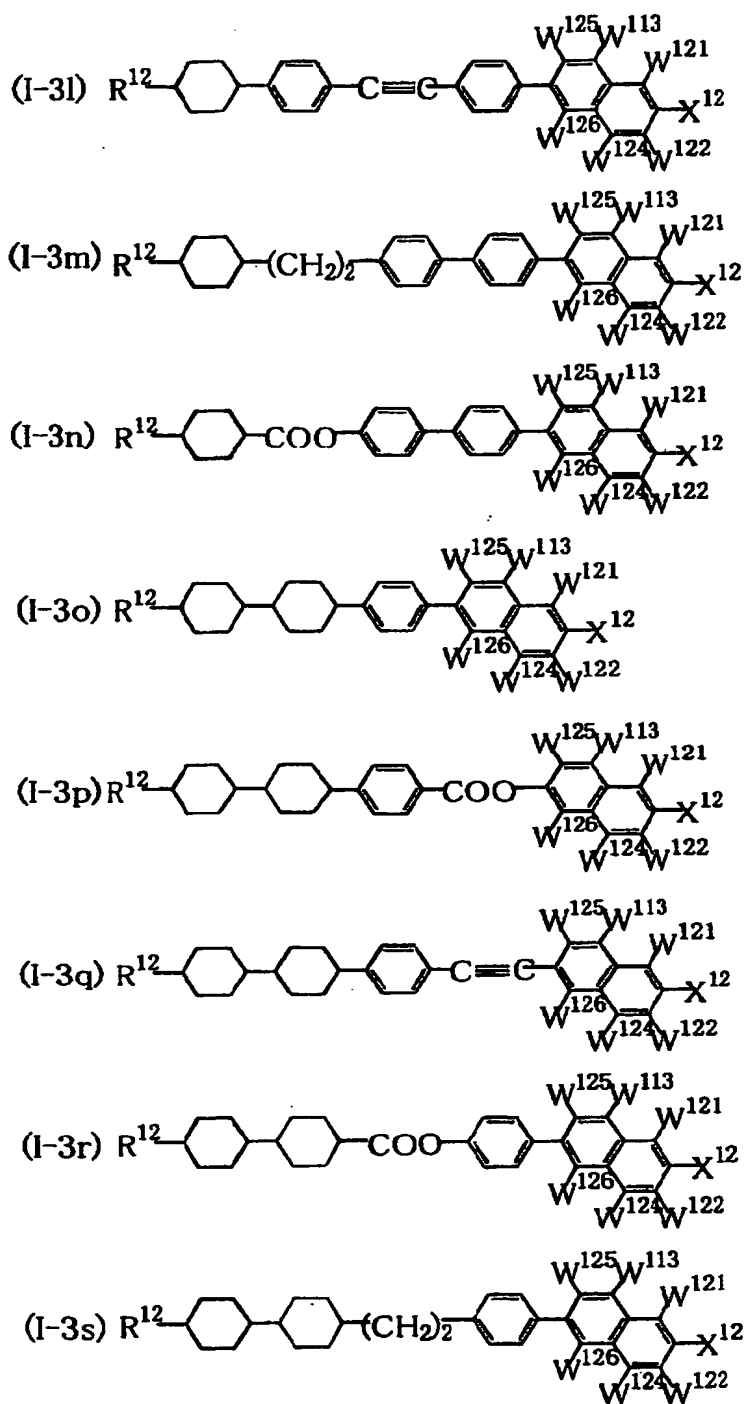


【0033】

【化17】



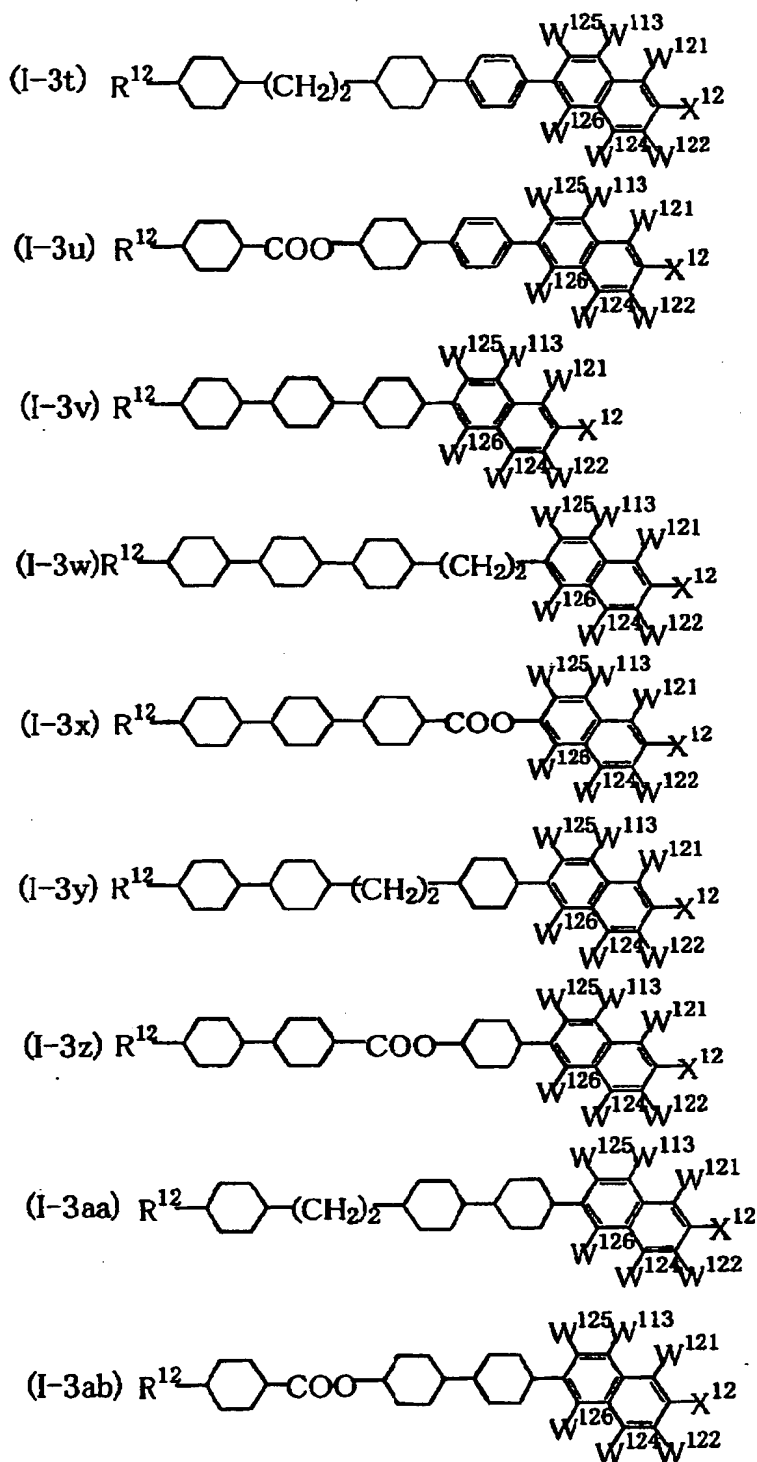
特平 10-266993



【0034】

【化18】

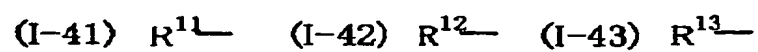
特平 10-266993



また、側鎖基  $R^{11} \sim R^{13}$  における式 (I-41) ~ (I-43)

【0035】

【化 19】



のより好ましい形態は、下記に示す一般式 (I-4a) ~ (I-4bc) で表される化合物である。

【0036】

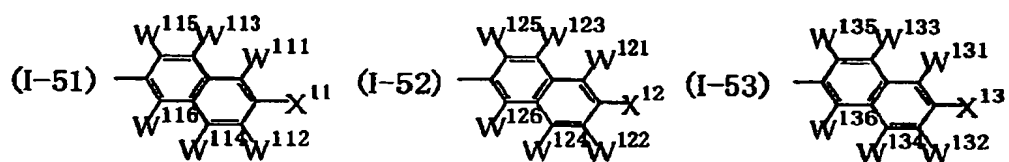
【化 20】

(I-4a) $C_2H_5-$	(I-4g) $C_2H_5O-$	(I-4m) $C_2H_5COO-$
(I-4b) $C_3H_7-$	(I-4h) $C_3H_7O-$	(I-4n) $C_3H_7COO-$
(I-4c) $C_4H_9-$	(I-4i) $C_4H_9O-$	(I-4o) $C_4H_9COO-$
(I-4d) $C_5H_{11}-$	(I-4j) $C_5H_{11}O-$	(I-4p) $C_5H_{11}COO-$
(I-4e) $C_6H_{13}-$	(I-4k) $C_6H_{13}O-$	(I-4q) $C_6H_{13}COO-$
(I-4f) $C_7H_{15}-$	(I-4l) $C_7H_{15}O-$	(I-4r) $C_7H_{15}COO-$
(I-4s) $CH_3OCH_2-$	(I-4x) $C_2H_5OCH_2-$	(I-4ac) $C_3H_7OCH_2-$
(I-4t) $CH_3OC_2H_4-$	(I-4y) $C_2H_5OC_2H_4-$	(I-4ad) $C_3H_7OC_2H_4-$
(I-4u) $CH_3OC_3H_6-$	(I-4z) $C_2H_5OC_3H_6-$	(I-4ae) $C_3H_7OC_3H_6-$
(I-4v) $CH_3OC_4H_8-$	(I-4aa) $C_2H_5OC_4H_8-$	(I-4af) $C_3H_7OC_4H_8-$
(I-4w) $CH_3OC_5H_{10}-$	(I-4ab) $C_2H_5OC_5H_{10}-$	(I-4ag) $C_3H_7OC_5H_{10}-$
(I-4ah) $CH_2=CH-$	(I-4ao) $CH_2=CHO-$	
(I-4ai) $CH_3CH=CH-$	(I-4ap) $CH_3CH=CHO-$	
(I-4aj) $C_2H_5CH=CH-$	(I-4aq) $C_2H_5CH=CHO-$	
(I-4ak) $C_3H_7CH=CH-$	(I-4ar) $C_3H_7CH=CHO-$	
(I-4al) $CH_2=CHC_2H_4-$	(I-4as) $CH_2=CHC_2H_4O-$	
(I-4am) $CH_3CH_2=CHC_2H_4-$	(I-4at) $CH_3CH_2=CHC_2H_4O-$	
(I-4an) $CH_2=CHC_2H_5CH=CH-$	(I-4au) $CH_2=CHC_2H_5CH=CHO-$	
(I-4av) $CHF=CH-$	(I-4az) $CHF=CHC_2H_4-$	
(I-4aw) $CH_2=CF-$	(I-4ba) $CH_2=CFC_2H_4-$	
(I-4ax) $CF_2=CH-$	(I-4bb) $CF_2=CHC_2H_4-$	
(I-4ay) $CHF=CF-$	(I-4bc) $CHF=CFC_2H_4-$	

更にまた、極性基を有するナフタレン-2, 6ジールの部分構造式 (I-51) ~ (I-53)

【0037】

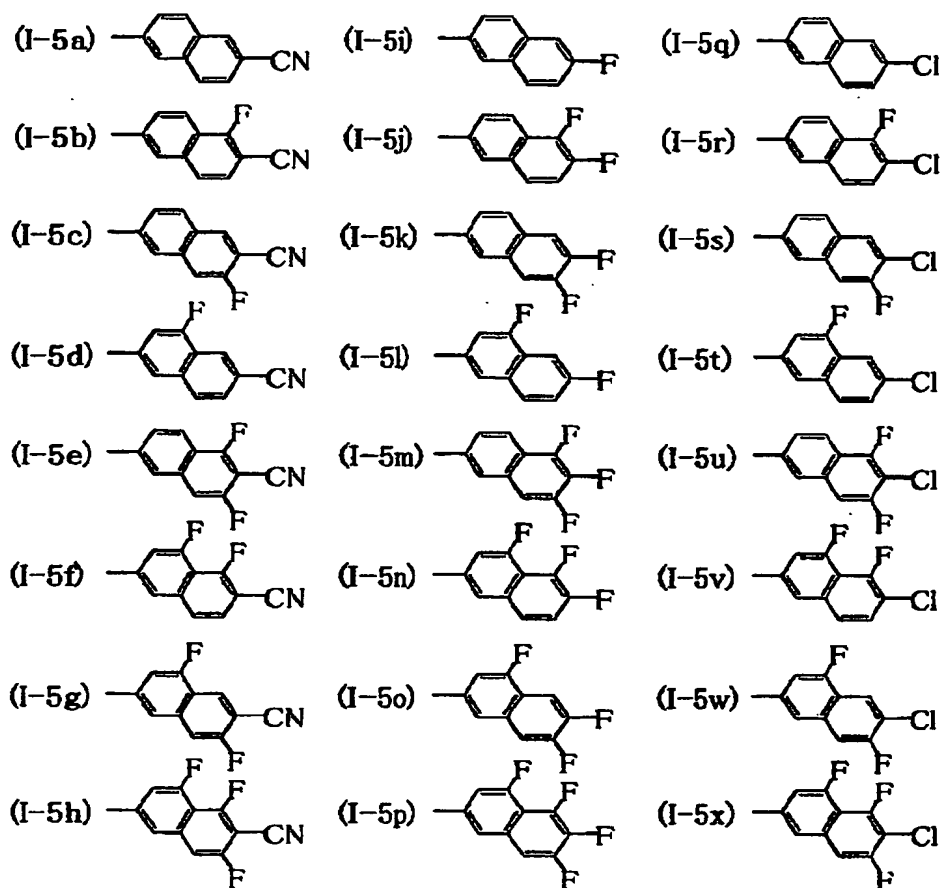
【化21】



のより好ましい形態は、下記に示す一般式 (I-5a) ~ (I-5av) で表される化合物である。

【0038】

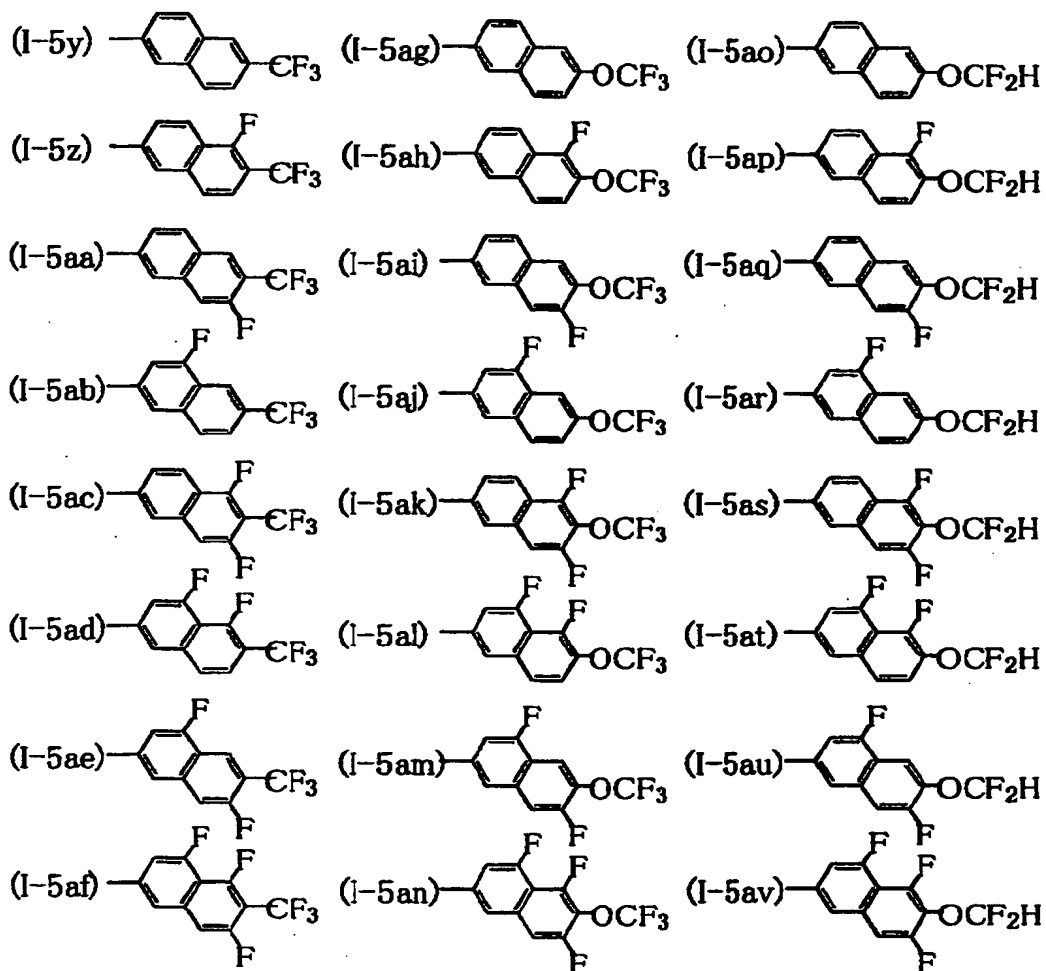
【化22】



【0039】

【化23】





尚、以下で用いている各化合物は、蒸留、カラム精製、再結晶等の方法を用いて不純物を除去し、充分精製したものを使用した。

【0040】

更に詳述すると、液晶成分Aは以下の化合物を用いることが好ましく、本発明の効果を達成することができる。

【0041】

前記一般式 (I-1) ~ (I-3) において、

(I-i) :  $R^{11} \sim R^{13}$  が炭素原子数 2 ~ 7 のアルキル基又はアルケニル基で表される化合物、具体的には、一般式 (I-1a) ~ (I-3ab) の基本構造であって、側鎖基が (I-4a) ~ (I-4f)、(I-4ah) ~ (I-4an)、(I-4av) ~ (I-4bc) で

あって、極性基の部分構造が (I-5a) ~ (I-5av) の化合物、より好ましくは一般式 (I-1a) ~ (I-2c)、(I-2g) ~ (I-2i)、(I-2m) ~ (I-2o)、(I-2s) ~ (I-2u)、(I-2y) ~ (I-2ax)、(I-3h)、(I-3o) ~ (I-3aa) の基本構造の化合物。これらは、液晶組成物の相溶性の改善、低温保存の向上により動作温度範囲を拡大し、弾性定数及びこれらの比  $K_{33}/K_{11}$  や  $K_{33}/K_{22}$  を調整することができ、STN-LCD、TFT-LCD、PDLC、PN-LCD等のより改善された電気光学特性を得ることができる。

## 【0042】

(I-ii) :  $X^{11} \sim X^{13}$  が F、Cl、 $CF_3$ 、 $OCF_3$ 、 $OCF_2H$ 、又は CN で表される化合物、具体的には、一般式 (I-1a) ~ (I-3ab) の基本構造であって、側鎖基が (I-4a) ~ (I-4av)、極性基の部分構造が (I-5a) ~ (I-5av) の化合物、より好ましくは一般式 (I-1a) ~ (I-2c)、(I-2g) ~ (I-2i)、(I-2m) ~ (I-2o)、(I-2s) ~ (I-2u)、(I-2y) ~ (I-2ax)、(I-3h)、(I-3o) ~ (I-3aa) の基本構造の化合物であり、更に好ましくは  $X^{11} \sim X^{13}$  が F、Cl、 $CF_3$ 、 $OCF_3$  又は  $OCF_2H$  である (I-5i) ~ (I-5av) の化合物。これらの化合物を実質的に主成分とした場合にはアクティブ用の TFT-LCD、PDLC、PN-LCD 等の駆動電圧の低減や高電圧保持率に優れており、 $X^{11} \sim X^{13}$  が F、Cl 又は CN の化合物を実質的に主成分とした場合には TN-LCD、STN-LCD、PDLC、PN-LCD 等の駆動電圧、急峻性や応答性あるいはその温度特性に優れている。

## 【0043】

(I-iii) :  $W^{111} \sim W^{113}$ 、 $W^{121} \sim W^{123}$ 、 $W^{131} \sim W^{133}$  のうち少なくとも 1 個以上が F や Cl で置換された化合物、具体的には、一般式 (I-1a) ~ (I-3ab) の基本構造であって、側鎖基が (I-4a) ~ (I-4av) の化合物、より好ましくは極性基の部分構造が (I-5b) ~ (I-5h)、(I-5j) ~ (I-5p)、(I-5r) ~ (I-5x)、(I-5z) ~ (I-5af)、(I-5ah) ~ (I-5an)、(I-5ap) ~ (I-5av) の化合物であり、更に好ましくは少なくとも  $W^{111}$ 、 $W^{121}$ 、 $W^{131}$  が極性基で置換されている化合物、特に F で置換されている化合物。これらは、液晶組成物の相溶性の改善、低温保存の向上により動作温度範囲を拡大し、駆動電圧の低減及びその温度変化を改善し、所定の駆動電圧に対し比較的速い応答性を達成するあ

るいは改善することができ、STN-LCD、TFT-LCD、PDLC、PN-LCD等のより改善された電気光学特性を得ることができる。

#### 【0044】

(I-iv) :  $Z^{11}$ 、 $Z^{13}$ 、 $Z^{16}$ が単結合、 $-(CH_2)_2-$ 、 $-COO-$ 又は $-C\equiv C-$ で表される化合物、具体的には、一般式 (I-1a) ~ (I-3ab) の基本構造であって、側鎖基が (I-5a) ~ (I-5av)、極性基の部分構造が (I-5a) ~ (I-5av) の化合物、より好ましくは一般式 (I-1a) ~ (I-2c)、(I-2g) ~ (I-2i)、(I-2m) ~ (I-2o)、(I-2s) ~ (I-2u)、(I-2y) ~ (I-2ax)、(I-3h)、(I-3o) ~ (I-3aa) (I-1a) ~ (I-11)、(I-2y) ~ (I-2ax)、(I-3h) ~ (I-3av) の基本構造の化合物。これらは、液晶組成物の相溶性の改善、低温保存の向上により動作温度範囲を拡大し、所定の複屈折率や弾性定数及びこれらの比  $K_{33}/K_{11}$  や  $K_{33}/K_{22}$  を調整することができ、駆動電圧の低減及びその温度変化を改善し、所定の駆動電圧に対し比較的速い応答性を達成するあるいは改善することができ、STN-LCD、TFT-LCD、PDLC、PN-LCD等のより改善された電気光学特性を得ることができる。

#### 【0045】

(I-v) : 環  $A^{11}$ 、 $A^{13}$ 、 $A^{16}$  がトランス-1, 4-シクロヘキシレン、1, 4-フェニレン、3-フルオロ-1, 4-フェニレン又は3, 5-ジフルオロ-1, 4-フェニレンで表される化合物、具体的には、一般式 (I-1a) ~ (I-3ab) の基本構造であって、側鎖基が (I-5a) ~ (I-5av)、極性基の部分構造が (I-5a) ~ (I-5av) の化合物、より好ましくは一般式 (I-1a) ~ (I-2c)、(I-2g) ~ (I-2i)、(I-2m) ~ (I-2o)、(I-2s) ~ (I-2u)、(I-2y) ~ (I-2ax)、(I-3h)、(I-3o) ~ (I-3aa) (I-1a) ~ (I-11)、(I-2y) ~ (I-2ax)、(I-3h) ~ (I-3av) の基本構造の化合物。

#### 【0046】

また、(I-iv) 及び (I-v) で示される化合物のうち、より好ましくは、

(I-vi) :  $Z^{11}$ 、 $Z^{13}$ 、 $Z^{16}$  が単結合で環  $A^{11}$ 、 $A^{13}$ 、 $A^{16}$  が1, 4-フェニレン、3-フルオロ-1, 4-フェニレン又は3, 5-ジフルオロ-1, 4-フェニレンで表される化合物。これらは、中位以上の高い複屈折率で比較的大きな

誘電率異方性を有している。

【0047】

(I-vii) :  $Z^{11}$ 、 $Z^{13}$ 、 $Z^{16}$ が単結合で環 $A^{11}$ 、 $A^{13}$ 、 $A^{16}$ がトランス-1, 4-シクロヘキシレンで表される化合物。これらは、ネマチック相を広げ比較的速い応答性を有している。

【0048】

(I-viii) :  $Z^{11}$ 、 $Z^{13}$ 、 $Z^{16}$ が $-(CH_2)_2-$ で環 $A^{11}$ 、 $A^{13}$ 、 $A^{16}$ がトランス-1, 4-シクロヘキシレンの化合物。これらは、良好な相溶性を有している。

【0049】

(I-ix) :  $Z^{11}$ 、 $Z^{13}$ 、 $Z^{16}$ が $-COO-$ で環 $A^{11}$ 、 $A^{13}$ 、 $A^{16}$ が1, 4-フェニレン、3-フルオロ-1, 4-フェニレン又は3, 5-ジフルオロ-1, 4-フェニレンで表される化合物。これらは、ネマチック相を広げ駆動電圧低減に優れている。

【0050】

(I-x) :  $Z^{11}$ 、 $Z^{13}$ 、 $Z^{16}$ が $-C\equiv C-$ であり環 $A^{11}$ 、 $A^{13}$ 、 $A^{16}$ が1, 4-フェニレン、3-フルオロ-1, 4-フェニレン又は3, 5-ジフルオロ-1, 4-フェニレンで表される化合物。これらは、極めて高いあるいは比較的高い複屈折率を有していることから更に好ましい。

【0051】

このように、本発明において、上記の小群(I-i)～(I-x)で示した化合物中から選ばれる1種又は2種以上の化合物を含有するネマチック液晶組成物が好ましい。

【0052】

本発明は、液晶成分Aとして一般式(I-1)～(I-3)の化合物を1種以上含有させることができるが、1種含有させても上記の効果を得ることができる。好ましくは、一般式(I-1)で表される化合物を少なくとも1種又は一般式(I-2)で表される化合物を少なくとも1種又は両者から少なくとも1種含む液晶成分Aであり、この様な極性基を有するナフタレン-2, 6ジイルの化合物で構成される液晶成分Aを含有する本発明の液晶組成物は、相溶性の改善、低温保存の向上等

により液晶表示特性の動作温度範囲を拡大し、駆動電圧の低減及びその温度変化を改善し、所定の駆動電圧に対し比較的速い応答性を達成するあるいは改善することができ、これを構成材料として用いたTN-LCD、STN-LCD、TFT-LCD、PDLC、PN-LCD等の液晶表示装置を、より改善された電気光学特性にし、特に広い低温で温度依存性をより好ましいものとさせる。

## 【0053】

本発明の液晶組成物は、上記液晶成分Aに加えて、誘電率異方性が+2以上の化合物を1種又は2種以上含む液晶成分Bを含有するものである。尚、本発明で述べる2より大きい誘電異方性を有する液晶化合物とは、以下の意義で用いる。液晶化合物の化学構造は棒状であり、中央部分が1個から4個の六員環を有したコア構造を有し、中央部分長軸方向の両端に位置する六員環が、液晶分子長軸方向に相当する位置で置換された末端基を有し、両端に存在する末端基の少なくとも一方が極性基であること、即ち、例えば-F、-Cl、-NO<sub>2</sub>、-CF<sub>3</sub>、-OCF<sub>3</sub>、-OCHF<sub>2</sub>、-CN、-OCN、-NCS、等である化合物である。これによって、液晶層の光学異方性を所定の値にすることができ、電氣的に駆動可能となり、動作温度範囲を広くさせることができる。

## 【0054】

液晶成分Bとして、誘電率異方性が+2以上の化合物は、少なくとも1種以上を用いることができ、3～15種の範囲が好ましい。また、誘電率異方性が+2～+8の化合物、+8～+13の化合物、+14～+18の化合物、+18以上の化合物から適時選んで含有させることが好ましく、所定の駆動電圧や応答特性を得ることができる。この場合、+2～+13の誘電率異方性の化合物は多くとも10種以下の範囲で混合することが好ましく、+14～+18の化合物は多くとも8種以下の範囲で混合することが好ましく、+18以上の化合物は多くとも10種以下の範囲で混合することが好ましい。液晶成分Bを上述の様に使用することは、表示特性の温度特性により好ましい効果を付与する。より具体的には、駆動電圧、急峻性に関わるコントラスト、応答性等の温度依存性をより好ましいものとする。

## 【0055】

この様な視点から、一般式 (II-1) ~ (II-4) で表される化合物におけるより好ましい基本構造の形態は、下記に示す一般式 (II-1a) ~ (II-4g) で表される化合物である。

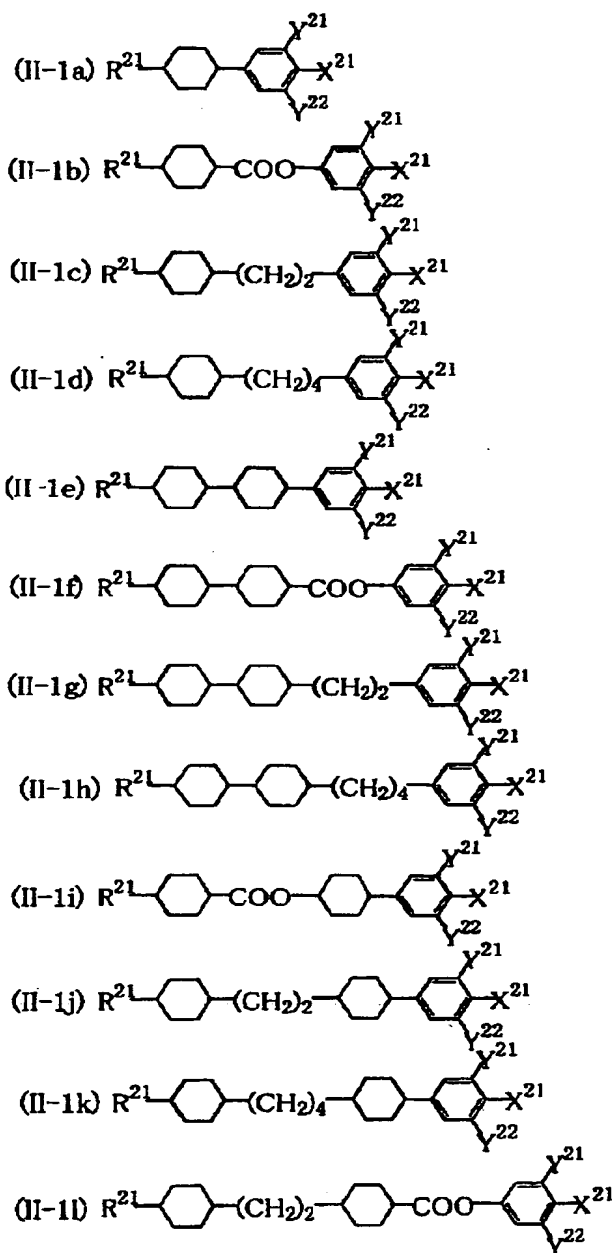
【0056】

特平 1 0 - 2 6 6 9 9 3

【化 2 4】

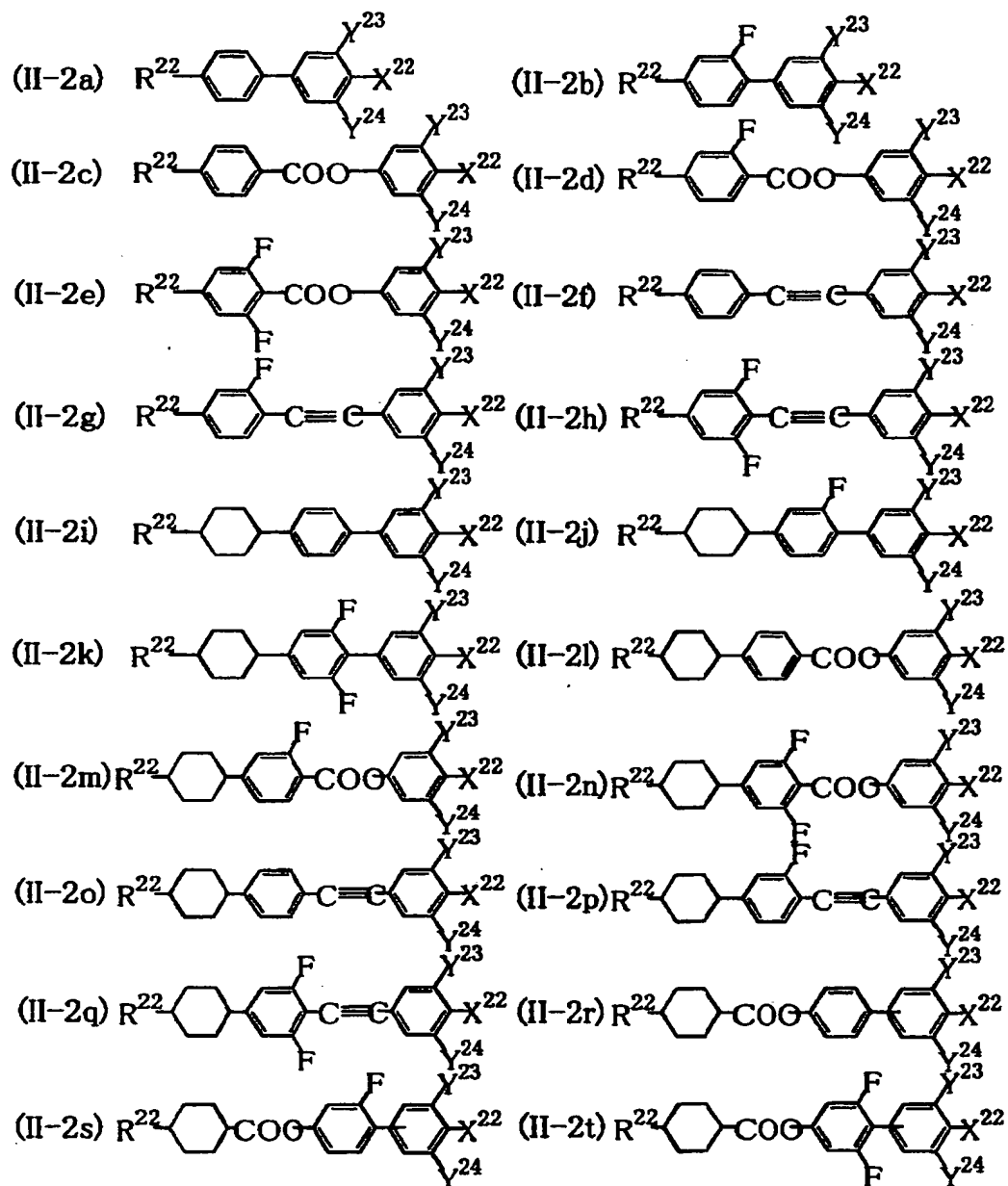
特平 1 0－2 6 6 9 9 3





【0057】

【化25】

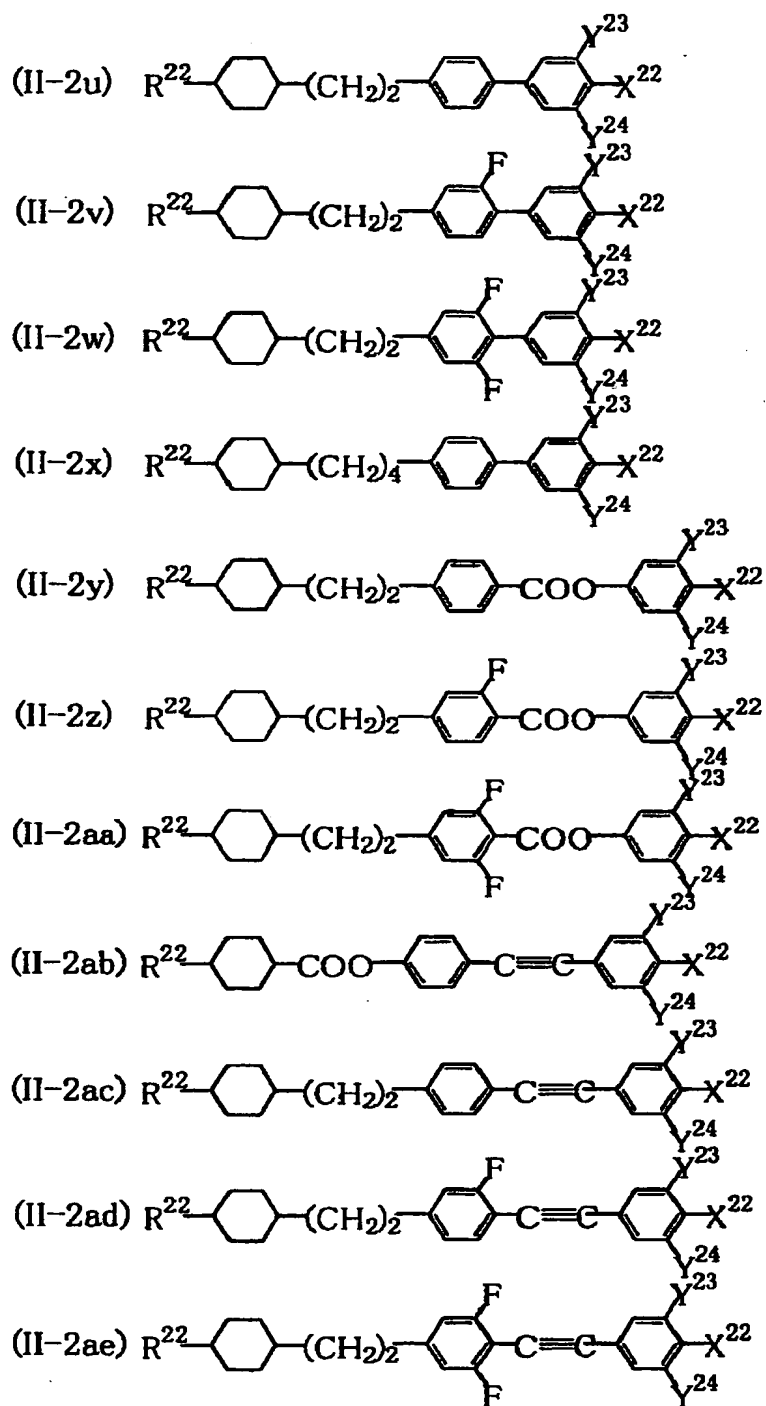


【0058】

特平 1 0 - 2 6 6 9 9 3

【化 2 6】

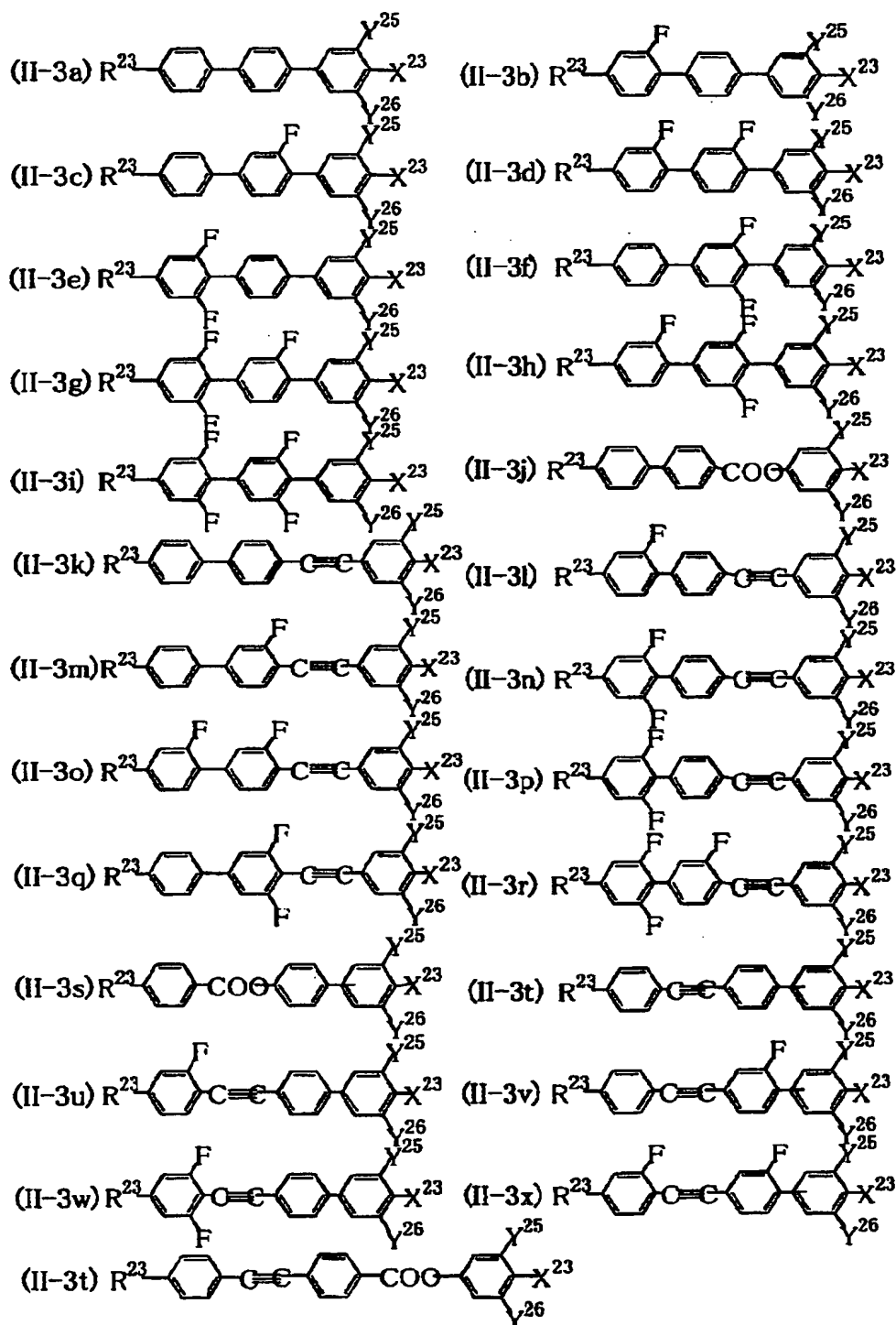
特平 1 0 - 2 6 6 9 9 3



[0059]

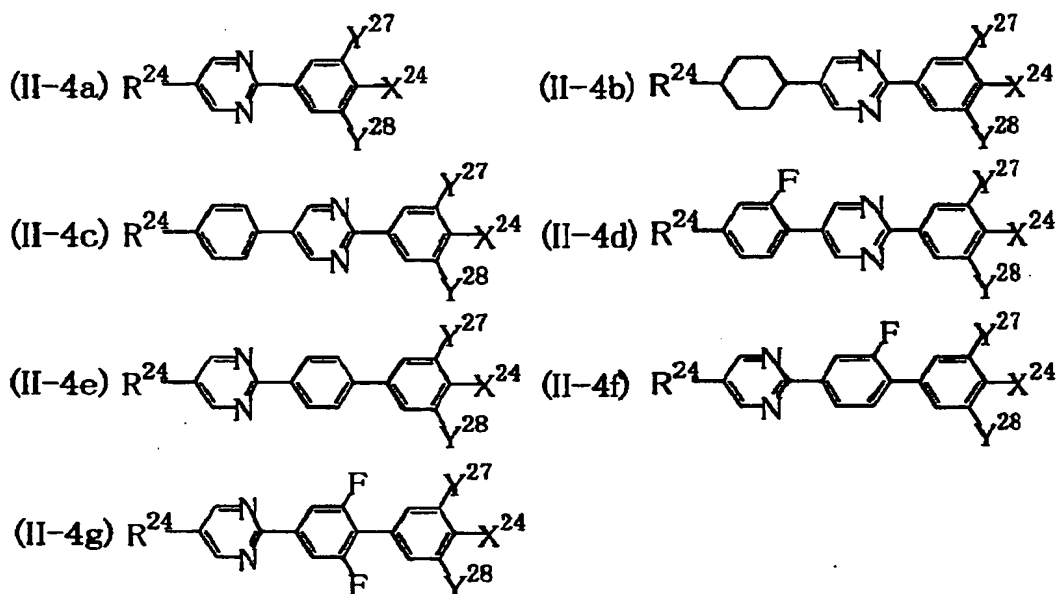
【化27】

特平 10-266993



[0060]

【化28】



また、側鎖基  $R^{21} \sim R^{24}$  における式 (II-51) ~ (II-54)

【0061】

【化29】



のより好ましい形態は、下記に示す一般式 (II-5a) ~ (II-5bc) で表される化合物である。

【0062】

【化30】

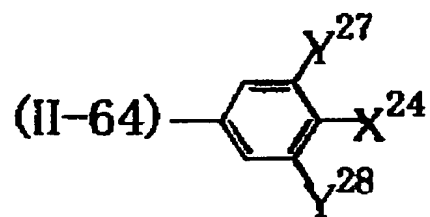
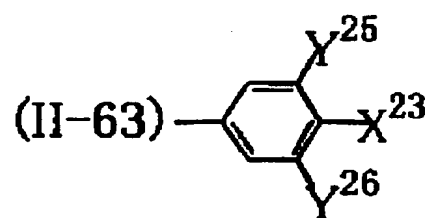
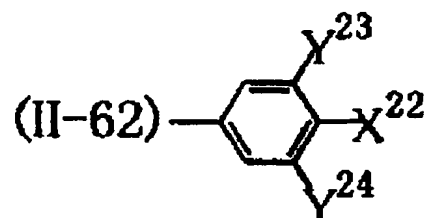
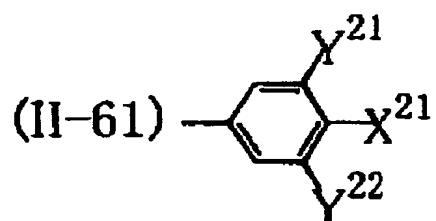


(II-5a) $C_2H_5-$	(II-5g) $C_2H_5O-$	(II-5m) $C_2H_5COO-$
(II-5b) $C_3H_7-$	(II-5h) $C_3H_7O-$	(II-5n) $C_3H_7COO-$
(II-5c) $C_4H_9-$	(II-5i) $C_4H_9O-$	(II-5o) $C_4H_9COO-$
(II-5d) $C_5H_{11}-$	(II-5j) $C_5H_{11}O-$	(II-5p) $C_5H_{11}COO-$
(II-5e) $C_6H_{13}-$	(II-5k) $C_6H_{13}O-$	(II-5q) $C_6H_{13}COO-$
(II-5f) $C_7H_{15}-$	(II-5l) $C_7H_{15}O-$	(II-5r) $C_7H_{15}COO-$
(II-5s) $CH_3OCH_2-$	(II-5x) $C_2H_5OCH_2-$	(II-5ac) $C_3H_7OCH_2-$
(II-5t) $CH_3OC_2H_4-$	(II-5y) $C_2H_5OC_2H_4-$	(II-5ad) $C_3H_7OC_2H_4-$
(II-5u) $CH_3OC_3H_6-$	(II-5z) $C_2H_5OC_3H_6-$	(II-5ae) $C_3H_7OC_3H_6-$
(II-5v) $CH_3OC_4H_8-$	(II-5aa) $C_2H_5OC_4H_8-$	(II-5af) $C_3H_7OC_4H_8-$
(II-5w) $CH_3OC_5H_{10}-$	(II-5ab) $C_2H_5OC_5H_{10}-$	(II-5ag) $C_3H_7OC_5H_{10}-$
(II-5ah) $CH_2=CH-$	(II-5ao) $CH_2=CHO-$	
(II-5ai) $CH_3CH=CH-$	(II-5ap) $CH_3CH=CHO-$	
(II-5aj) $C_2H_5CH=CH-$	(II-5aq) $C_2H_5CH=CHO-$	
(II-5ak) $C_3H_7CH=CH-$	(II-5ar) $C_3H_7CH=CHO-$	
(II-5al) $CH_2=CHC_2H_4-$	(II-5as) $CH_2=CHC_2H_4O-$	
(II-5am) $CH_3CH_2=CHC_2H_4-$	(II-5at) $CH_3CH_2=CHC_2H_4O-$	
(II-5an) $CH_2=CHC_2H_5CH=CH-$	(II-5au) $CH_2=CHC_2H_5CH=CHO-$	
(II-5av) $CHF=CH-$	(II-5az) $CHF=CHC_2H_4-$	
(II-5aw) $CH_2=CF-$	(II-5ba) $CH_2=CFC_2H_4-$	
(II-5ax) $CF_2=CH-$	(II-5bb) $CF_2=CHC_2H_4-$	
(II-5ay) $CHF=CF-$	(II-5bc) $CHF=CFC_2H_4-$	

更にまた、極性基を有する 1, 4-フェニレンの部分構造式 (II-61) ~ (II-64)

【0063】

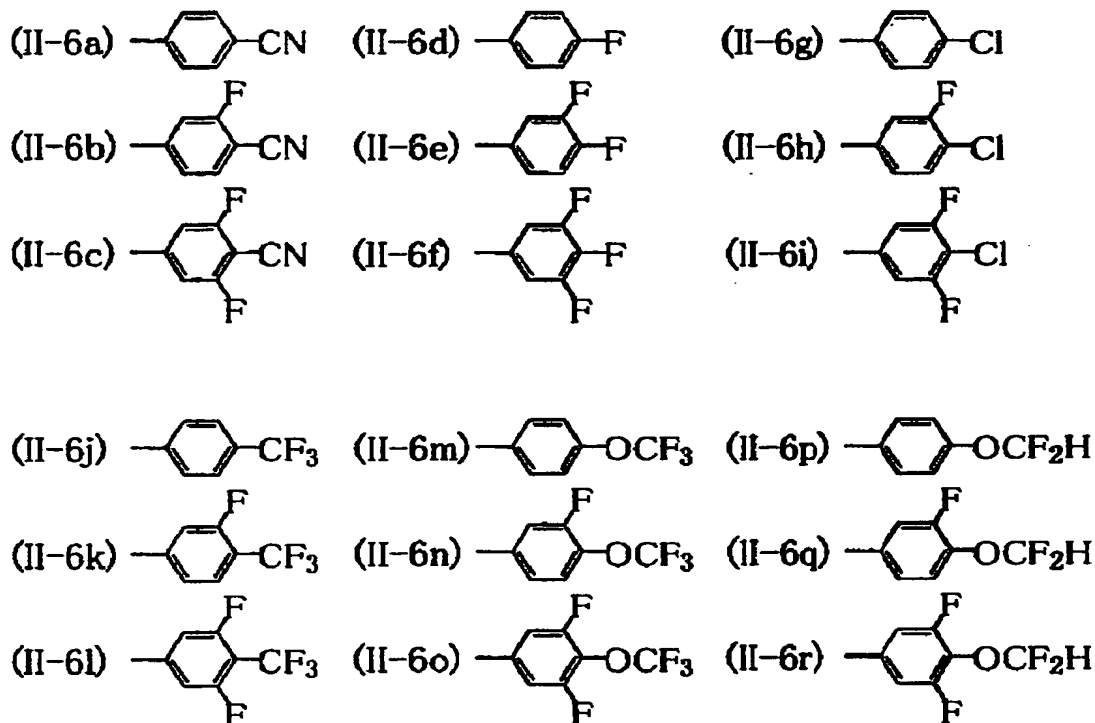
【化31】



のより好ましい形態は、下記に示す一般式 (II-6a) ~ (II-6r) で表される化合物である。

【0064】

【化32】



尚、以下で用いている各化合物は、蒸留、カラム精製、再結晶等の方法を用いて不純物を除去し、充分精製したものを使用した。

【0065】

更に詳述すると、汎用的な液晶組成物を目的とする場合には、液晶成分Bは以下の化合物を用いることが好ましく、この様な液晶成分Bを液晶成分Aと組み合わせることにより本発明の効果をを得ることができる。

【0066】

前記一般式 (II-1) ~ (II-4) において、

(II-ai) :  $R^{21} \sim R^{24}$  が炭素原子数 2 ~ 5 のアルケニル基である化合物、具体的には、一般式 (II-1a) ~ (II-4g) の基本構造であって、側鎖基が (II-5ah) ~ (II-5bc)、極性基の部分構造が一般式 (II-6a) ~ (II-6r) の化合物、より好ましくは一般式 (II-1a) ~ (II-1l)、(II-2i) ~ (II-2ae) の基本構造の化合物。これらを用いることにより STN-LCD、TFT-LCD、PDLC、PN-LCD 等のより

改善された電気光学特性を得ることができる。

【0067】

(II-aii) :  $X^{21} \sim X^{24}$  が F、Cl、又は  $-OCF_3$  である化合物、具体的には、一般式 (II-1a) ~ (II-4g) の基本構造であって、側鎖基が (II-5a) ~ (II-5bc)、極性基の部分構造が一般式 (II-6d) ~ (II-6i)、(II-6m) ~ (II-6o) の化合物、より好ましくは一般式 (II-1a) ~ (II-1l)、(II-2f) ~ (II-2q)、(II-2u) ~ (II-2w)、(II-2ab) ~ (II-4f) の基本構造であって、極性基の部分構造が一般式 (II-6d) ~ (II-6i)、(II-6m) ~ (II-6o) の化合物。これらの化合物を実質的に主成分とした場合にはアクティブ用の TFT-LCD、PDLC、PN-LCD 等の駆動電圧の低減や高電圧保持率に優れており、また  $X^{21} \sim X^{24}$  が F と CN の化合物を併用して実質的に主成分とした場合には TN-LCD、STN-LCD、PDL C、PN-LCD 等の駆動電圧、急峻性や応答性あるいはその温度特性に優れている。

【0068】

また、前記一般式 (II-1) の化合物において、

(II-aiii) :  $Z^{22}$  が  $-(CH_2)_2-$  又は  $-(CH_2)_4-$  で表される化合物、具体的には、一般式 (II-1c)、(II-1d) (II-1g)、(II-1h) の基本構造であって、側鎖基が (II-5a) ~ (II-5bc) であって、極性基の部分構造が一般式 (II-6a) ~ (II-6r) の化合物。

【0069】

(II-aiv) :  $k^{21}$  が 1 で表される化合物、具体的には、一般式 (II-1e) ~ (II-1l) の基本構造であって、側鎖基が (II-5a) ~ (II-5bc) であって、極性基の部分構造が一般式 (II-6a) ~ (II-6r) の化合物。

【0070】

これら (II-aiii) (II-aiv) で示した化合物は、駆動電圧が低く比較的小さい複屈折率を必要とする用途に適している。

【0071】

また、前記一般式 (II-2) の化合物において、

(II-av) :  $Y^{23}$ 、 $Y^{24}$ 、 $W^{21}$ 、 $W^{22}$  の少なくとも 1 個が F で表される化合物、具体的には、一般式 (II-2a)、(II-2c)、(II-2f)、(II-2i)、(II-2l)

)、(II-2o)、(II-2r)、(II-2u)、(II-2x)、(II-2y)、(II-2ab)、(II-2ac)の基本構造であって、側鎖基が(II-5a)～(II-5bc)であって、極性基の部分構造が一般式(II-6b)、(II-6c)、(II-6e)、(II-6f)、(II-6h)、(II-6i)、(II-6k)、(II-6l)、(II-6n)、(II-6o)、(II-6q)、(II-6r)の化合物、あるいは一般式(II-2b)、(II-2d)、(II-2e)、(II-2g)、(II-2h)、(II-2j)、(II-2k)、(II-2m)、(II-2n)、(II-2p)、(II-2q)、(II-2s)、(II-2t)、(II-2v)、(II-2w)、(II-2z)、(II-2aa)、(II-2ad)、(II-2ae)の基本構造であって、側鎖基が(II-5a)～(II-5bc)であって、極性基の部分構造が一般式(II-6a)～(II-6r)の化合物。これらは、駆動電圧を低減させる用途に適している。

【0072】

(II-avi) :  $k^{22}$ が1で $Z^{24}$ が $-C\equiv C-$ で表される化合物、具体的には、一般式(II-2o)～(II-2q)、(II-2ab)～(II-2ae)の基本構造であって、側鎖基が(II-5a)～(II-5bc)であって、極性基の部分構造が一般式(II-6a)～(II-6r)の化合物。これらは、駆動電圧が低く比較的大きい複屈折率を必要とする用途に適している。

【0073】

(II-avii) :  $Z^{23}$ が単結合又は $-(CH_2)_2-$ で $Z^{24}$ が $-COO-$ で表される化合物、具体的には、一般式(II-2l)～(II-2n)、(II-2r)～(II-2t)、(II-2y)～(II-2aa)の基本構造であって、側鎖基が(II-5a)～(II-5bc)であって、極性基の部分構造が一般式(II-6a)～(II-6r)の化合物。これらは、駆動電圧を低減させる用途に適している。

【0074】

また、前記一般式(II-3)の化合物において、

(II-aviii) :  $Y^{25}$ 、 $Y^{26}$ 、 $W^{23}\sim W^{26}$ の少なくとも1個がFで表される化合物、具体的には、一般式(II-3a)、(II-3j)、(II-3k)、(II-3s)、(II-3t)の基本構造であって、側鎖基が(II-5a)～(II-5bc)であって、極性基の部分構造が一般式(II-6b)、(II-6c)、(II-6e)、(II-6f)、(II-6h)、(II-6i)、(II-6k)、(II-6l)、(II-6n)、(II-6o)、(II-6q)、(II-6r)

の化合物、あるいは一般式 (II-3b) ~ (II-3i)、(II-3l) ~ (II-3r)、(II-3u) ~ (II-3x) の基本構造であって、側鎖基が (II-5a) ~ (II-5bc) であって、極性基の部分構造が一般式 (II-6a) ~ (II-6r) の化合物。これらは、駆動電圧を低減させる用途に適している。

【0075】

(II-aix) :  $Z^{26}$  が  $-C \equiv C-$  で表される化合物、具体的には、一般式 (II-3k) ~ (II-3r) の基本構造であって、側鎖基が (II-5a) ~ (II-5bc) であって、極性基の部分構造が一般式 (II-6a) ~ (II-6r) の化合物。これらは、駆動電圧が低く比較的大きい複屈折率を必要とする用途に適している。

【0076】

(II-ax) :  $Z^{25}$  が単結合又は  $-C \equiv C-$  で  $Z^{26}$  が  $-COO-$  で表される化合物、具体的には、一般式 (II-3j)、(II-3y) の基本構造であって、側鎖基が (II-5a) ~ (II-5bc) であって、極性基の部分構造が一般式 (II-6a) ~ (II-6r) の化合物。

【0077】

また、前記一般式 (II-4) で表される化合物において、

(II-axi) : 具体的には、一般式 (II-4a) ~ (II-4g) の基本構造であって、側鎖基が (II-5a) ~ (II-5bc) であって、極性基の部分構造が一般式 (II-6a) ~ (II-6r) の化合物。

【0078】

また、前記一般式 (II-1)、(II-2) の化合物において、

(II-axii) : 環  $A^{21} \sim A^{24}$  がトランス-1, 4-シクロヘキシレンであり、且つ該環の水素原子が重水素原子で置換された化合物、具体的には、一般式 (II-1a) ~ (II-1l)、(II-2i) ~ (II-2ae) の基本構造であって、側鎖基が (II-5a) ~ (II-5bc) であって、極性基の部分構造が一般式 (II-6a) ~ (II-6r) の化合物。

【0079】

このように、本発明において、上記の小群 (II-ai) ~ (II-axii) で示した化合物中から選ばれる 1 種又は 2 種以上の化合物を含有するネマチック液晶組成物

が好ましい。

【0080】

また、TN-LCDやSTN-LCDに適した液晶組成物を目的とする場合には、液晶成分Bは以下の化合物を用いることが好ましく、このような液晶成分Bを液晶成分Aと組み合わせることにより本発明の効果を得ることができる。

【0081】

前記一般式 (II-1) における  $R^{21}$  が炭素原子数 2～5 のアルキル基又はアルケニル基である場合

(II-bi) :  $k^{21}$  が 0 で  $X^{21}$  が -CN で表される化合物、具体的には、一般式 (II-1a) ～ (II-1d) の基本構造であって、側鎖基が (II-5a) ～ (II-5d)、(II-5ah) ～ (II-5am)、(II-5av) ～ (II-5bc) であって、極性基の部分構造が一般式 (II-6a) ～ (II-6r) の化合物。

【0082】

(II-bii) :  $k^{21}$  が 1 で  $X^{21}$  が F 又は -CN で  $Y^{21}$ 、 $Y^{22}$  が H 又は F で表される化合物、具体的には、一般式 (II-1e) ～ (II-1l) の基本構造であって、側鎖基が (II-5a) ～ (II-5d)、(II-5ah) ～ (II-5am)、(II-5av) ～ (II-5bc) であって、極性基の部分構造が一般式 (II-6a) ～ (II-6f) の化合物。

【0083】

また、前記一般式 (II-2) における  $R^{22}$  が炭素原子数 2～5 のアルキル基又はアルケニル基である場合、

(II-biii) :  $k^{22}$  が 0 で  $X^{22}$  が -CN で  $Y^{23}$ 、 $Y^{24}$ 、 $W^{21}$ 、 $W^{22}$  が H 又は F で表される化合物、具体的には、一般式 (II-2a) ～ (II-2h) の基本構造であって、側鎖基が (II-5a) ～ (II-5d)、(II-5ah) ～ (II-5am)、(II-5av) ～ (II-5bc) であって、極性基の部分構造が一般式 (II-6a) ～ (II-6c) の化合物。

【0084】

(II-biv) :  $k^{22}$  が 1 で  $Z^{23}$  が単結合、 $-(CH_2)_2-$  又は  $-COO-$  で  $Z^{24}$  が単結合、 $-COO-$  又は  $-C\equiv C-$  であり  $X^{22}$  が F 又は -CN で  $Y^{23}$ 、 $Y^{24}$ 、 $W^{21}$ 、 $W^{22}$  が H 又は F で表される化合物、具体的には、一般式 (II-2i) ～ (II-2ae) の基本構造であって、側鎖基が (II-5a) ～ (II-5d)、(II-5ah) ～ (II-5am)、(

II-5av) ~ (II-5bc) であって、極性基の部分構造が一般式 (II-6a) ~ (II-6f) の化合物。

【0085】

また、前記一般式 (II-3) における  $R^{23}$  が炭素原子数 2 ~ 5 のアルキル基又はアルケニル基である場合、

(II-bv) :  $Z^{25}$  と  $Z^{26}$  の一方が単結合で他方が単結合、 $-COO-$  又は  $-C \equiv C-$  で表される化合物、具体的には、一般式 (II-3a) ~ (II-3x) の基本構造であって、側鎖基が (II-5a) ~ (II-5d)、(II-5ah) ~ (II-5am)、(II-5av) ~ (II-5bc) であって、極性基の部分構造が一般式 (II-6a) ~ (II-6r) の化合物。

【0086】

(II-bvi) :  $Y^{25}$ 、 $Y^{26}$ 、 $W^{23} \sim W^{26}$  が H 又は F で表される化合物、具体的には、一般式 (II-3a) ~ (II-3x) の基本構造であって、側鎖基が (II-5a) ~ (II-5d)、(II-5ah) ~ (II-5am)、(II-5av) ~ (II-5bc) であって、極性基の部分構造が一般式 (II-6a) ~ (II-6r) の化合物。

【0087】

また、前記一般式 (II-4) における  $R^{24}$  が炭素原子数 2 ~ 7 のアルキル基又はアルケニル基である場合、

(II-bvii) :  $k^{23} + k^{24}$  が 0 で表される化合物、具体的には、一般式 (II-4a) の基本構造であって、側鎖基が (II-5a) ~ (II-5f)、(II-5ah) ~ (II-5am)、(II-5av) ~ (II-5bc) であって、極性基の部分構造が一般式 (II-6a) ~ (II-6r) の化合物。

【0088】

また、前記一般式 (II-1)、(II-2) の化合物において、

(II-bviii) : 環  $A^{21} \sim A^{24}$  がトランス-1, 4-シクロヘキシレンであり、且つ該環の水素原子が重水素原子で置換された化合物、具体的には、一般式 (II-1a) ~ (II-1l)、(II-2i) ~ (II-2ae) の基本構造であって、側鎖基が (II-5a) ~ (II-5bc) であって、極性基の部分構造が一般式 (II-6a) ~ (II-6r) の化合物。



## 【0089】

このように、本発明において、上記の小群 (II-bi) ~ (II-bviii) で示した化合物中から選ばれる 1 種又は 2 種以上の化合物を含有し、液晶成分 B として該化合物の含有量が 10 ~ 100 重量%であるネマチック液晶組成物が好ましい。

## 【0090】

更にまた、アクティブ用の TFT-LCD、IPS、PDLC、PN-LCD 等に適した液晶組成物を目的とする場合には、液晶成分 B は以下の化合物を用いることが好ましく、この様な液晶成分 B を液晶成分 A と組み合わせることにより本発明の効果をj得ることができる。

## 【0091】

前記一般式 (II-1) において、

(II-ci) :  $R^{21}$  が炭素原子数 2 ~ 5 のアルキル基又はアルケニル基であり、 $k^{21}$  が 1 で  $Z^{21}$  と  $Z^{22}$  の一方が単結合で他方が単結合、 $-COO-$ 、 $-(CH_2)_2-$ 、又は  $-(CH_2)_4$  であり、 $X^{21}$  が F、Cl、 $CF_3$ 、 $OCF_3$  又は  $OCF_2H$  で、 $Y^{21}$ 、 $Y^{22}$  の 1 個又は 2 個が F で表される化合物、具体的には、一般式 (II-1e) ~ (II-1k) の基本構造であって、側鎖基が (II-5a) ~ (II-5d)、(II-5ah) ~ (II-5am)、(II-5av) ~ (II-5bc) であって、極性基の部分構造が一般式 (II-6d) ~ (II-6r) の化合物。

## 【0092】

また、前記一般式 (II-2) において、

(II-cii) :  $R^{22}$  が炭素原子数 2 ~ 5 のアルキル基又はアルケニル基であり、 $k^{22}$  が 1 で  $Z^{23}$  が単結合、 $-(CH_2)_2-$  又は  $-COO-$  で  $Z^{24}$  が単結合、 $-COO-$  又は  $-C \equiv C-$  であり、 $X^{22}$  が F、Cl、 $CF_3$ 、 $OCF_3$  又は  $OCF_2H$  で  $Y^{23}$ 、 $Y^{24}$  の 1 個又は 2 個が F で  $W^{21}$ 、 $W^{22}$  が H 又は F で表される化合物、具体的には、一般式 (II-2i) ~ (II-2ae) の基本構造であって、側鎖基が (II-5a) ~ (II-5d)、(II-5ah) ~ (II-5am)、(II-5av) ~ (II-5bc) であって、極性基の部分構造が一般式 (II-6d) ~ (II-6r) の化合物。

## 【0093】

また、前記一般式 (II-3) において、

(II-ciii) :  $R^{23}$ が炭素原子数2～5のアルキル基又はアルケニル基であり、 $Z^{25}$ と $Z^{26}$ の一方が単結合で他方が単結合、 $-COO-$ 又は $-C\equiv C-$ で、 $X^{23}$ がFで、 $Y^{25}$ 、 $Y^{26}$ の1個又は2個がFで $W^{23}\sim W^{26}$ がH又は1個以上がFで表される化合物、具体的には、一般式(II-3a)～(II-3x)の基本構造であって、側鎖基が(II-5a)～(II-5d)、(II-5ah)～(II-5am)、(II-5av)～(II-5bc)であって、極性基の部分構造が一般式(II-6e)、(II-6f)の化合物。

## 【0094】

また、前記一般式(II-1)、(II-2)の化合物において、

(II-civ) : 環 $A^{21}\sim A^{24}$ がトランス-1, 4-シクロヘキシレンでありこの環の水素原子が重水素原子で置換された化合物、具体的には、一般式(II-1a)～(II-1l)、(II-2i)～(II-2ae)の基本構造であって、側鎖基が(II-5a)～(II-5bc)であって、極性基の部分構造が一般式(II-6a)～(II-6r)の化合物。

## 【0095】

このように、本発明において、上記の小群(II-ci)～(II-civ)で示した化合物中から選ばれる1種又は2種以上の化合物を含有し、液晶成分Bとして該化合物の含有量が10～100重量%であるネマチック液晶組成物が好ましい。

## 【0096】

一般式(II-1)～(II-4)で表される化合物における特に好ましい形態は、以下の化合物を含有する液晶成分Bである。

## 【0097】

(II-di) :  $R^{21}\sim R^{24}$ が炭素原子数2～7のアルキル基の化合物。 $R^{21}$ 、 $R^{22}$ が $CH_2=CH-(CH_2)_p$  ( $p=0, 2$ )のアルケニル基である化合物。具体的には、一般式(II-1a)、(II-1e)、(II-2a)、(II-2c)、(II-2d)、(II-2i)、(II-2l)、(II-2o)、(II-3a)、(II-3l)、(II-4a)～(II-4c)、(II-4e)の基本構造の化合物がこれらの基を有することが好ましい。液晶成分Bに上記したようなアルキル基及び／又はアルケニル基を有する化合物を少なくとも1種以上含有させることで、粘度や粘弾性を低減させることができる。

## 【0098】

(II-dii) :  $X^{21} \sim X^{24}$  が F、C1、 $-OCF_3$  又は  $-CN$  で表される化合物。  
これらの化合物を選択して、少なくとも1種以上含むことが好ましい。

【0099】

(II-diii) : 高速応答を重視する場合、 $X^{21} \sim X^{24}$  が F、 $-OCF_3$  又は  $-CN$  である一般式 (II-1a)、(II-1e)、(II-2a)、(II-2c)、(II-2d)、(II-2i)、(II-2l)、(II-2o)、(II-3a)、(II-3l)、(II-4a) の化合物を液晶成分 B に多用することが好ましい。

【0100】

(II-div) : より大きい複屈折率を必要とする場合、 $X^{22} \sim X^{24}$  が C1、 $-OCF_3$ 、 $-CN$  である一般式 (II-2a) ~ (II-4d) の化合物、及び / 又は  $Z^{24} \sim Z^{26}$  が  $-C \equiv C-$  である一般式 (II-2f) ~ (II-2h)、(II-2o) ~ (II-2q)、(II-2ab) ~ (II-2ae)、(II-3k) ~ (II-3x) の化合物を液晶成分 B に多用することが好ましい。

【0101】

(II-dv) : より低い駆動電圧必要とする場合は  $X^{21} \sim X^{24}$  が F、C1、 $-CN$  で  $Y^{21} \sim Y^{24}$  が必ず F である一般式 (II-1a) ~ (II-4g) の化合物を液晶成分 B に多用することが好ましい。

【0102】

(II-dvi) : 一般式 (II-1)、(II-2) のシクロヘキサン環中の水素原子が重水素原子で置換された化合物を用いることができるが、この化合物は液晶組成物の弾性定数の調整や配向膜に対応したプレチルト角の調整に有用であることから、重水素原子で置換された化合物を少なくとも1種以上含有させることが好ましい。

【0103】

(II-dvii) : 一般式 (II-1)、(II-2)、(II-4) における  $k^{21} \sim k^{24}$  が 0 の 2 環化合物と、一般式 (II-1)、(II-2) における  $k^{21}$ 、 $k^{22}$  が 1 の化合物、一般式 (II-4) における  $k^{23} + k^{24}$  が 1 の化合物及び / 又は一般式 (II-3) の 3 環化合物との液晶成分 B での混合比は、0 ~ 100 から 100 ~ 0 の範囲で適時選ぶことができ、より高いネマチック相-等方性液体相転移温度を必要とする場

合、一般式 (II-1)、(II-2) における  $k^{21}$ 、 $k^{22}$  が 1 の化合物、一般式 (II-3) の化合物及び／又は一般式 (II-4) における  $k^{23} + k^{24}$  が 1 の化合物を多用することが好ましい。

## 【0104】

これら (II-ai) ～ (II-dvii) で示した化合物の中から選ばれる化合物を含有した液晶成分 B は、必須成分の液晶成分 A と良く混合する特徴を有し、特に駆動電圧の目的に応じた調製やその温度依存性の改善あるいは応答性の改善に有用である。特に、一般式 (II-1a) ～ (II-1g)、一般式 (II-2a) ～ (II-2q)、一般式 (II-2u) ～ (II-2x)、一般式 (II-2ab) ～ (II-2ae)、一般式 (II-3a) ～ (II-3d)、一般式 (II-3l) ～ (II-3r)、一般式 (II-4a) ～ (II-14e) の化合物は、これら箇々の少なくとも 1 つの効果に優れており、本発明のネマチック液晶組成物の総量に対して 0.1 ～ 25 重量%と少量の含有量でもこの効果を得ることができる。

## 【0105】

上述してきた液晶成分 B の効果は、後述する液晶成分 C の含有量が非常に小さい場合においても得ることができる。駆動電圧を特に低くさせる目的のために、液晶成分 C の含有量を 10 重量%以下にすることができる。この場合、液晶成分 C の粘性を可能な限り低くさせることが好ましく、駆動電圧の上昇がほとんどないか小さい範囲に止まり、応答速度の改善が効率的に得られる。例えば、液晶成分 C が少量の場合、この効果を液晶成分 B で達成させる方法として、一般式 (II-1) ～ (II-4) において、 $X^{21} \sim X^{24}$  が F、Cl、 $-\text{OCF}_3$  である化合物又は  $Y^{21} \sim Y^{24}$  が F である化合物又は  $Z^{24}$ 、 $Z^{25}$  が  $-\text{COO}-$ 、 $-\text{C}\equiv\text{C}-$  である化合物又は  $k^{11}$  が 1 である化合物の何れかの化合物を液晶成分 B に含有させることが好ましい。特に、一般式 (II-1) ～ (II-4) において、 $X^{21} \sim X^{24}$  が F、Cl、 $-\text{OCF}_3$ 、 $-\text{CN}$ 、及び／又は  $Y^{21} \sim Y^{23}$  が F である化合物は好ましい。

## 【0106】

本発明の液晶組成物は、必須成分である液晶成分 A に加えて、-10 ～ 2 の誘電率異方性を有する化合物からなる液晶成分 C を多くとも 85 重量%含有させることが好ましい。本発明で述べる -10 ～ 2 の誘電率異方性を有する液晶化合物

の好ましいものとしては、以下に示すものである。即ち、液晶化合物の化学構造は棒状であり、中央部分が1個から4個の六員環を有したコア構造を有し、中央部分長軸方向の両端に位置する六員環が、液晶分子長軸方向に相当する位置で置換された末端基を有し、両端に存在する末端基の両方が非極性基であること、即ち例えばアルキル基、アルコキシ基、アルコシアルキル基、アルケニル基、アルケニルオキシ基、アルカノイルオキシ基である化合物である。液晶成分Cは、1種以上20種以下の範囲で構成することが好ましく、2種以上12種以下の範囲で構成することがより好ましい。

## 【0107】

この様な視点から、一般式(III-1)～(III-4)で表される化合物におけるより好ましい基本構造の形態は、下記に示す一般式(III-1a)～(III-4o)で表される化合物である。本発明の液晶成分Cとして、一般式(III-1)～(III-4)で表される化合物から選ばれる化合物を10～100重量%含有することが好ましい。これらの化合物を含有した液晶成分Cは、一般式(I-1)～(I-3)の化合物を含有した液晶成分Aと良く混合する特徴を有し、低温でのネマチック相を改善させるのに有用であり、また所望の複屈折率を調整することができ、TN-LCD、STN-LCD、TFT-LCD、PDLC、PN-LCD等の急峻性や応答性あるいはその温度特性を改良することに優れている。

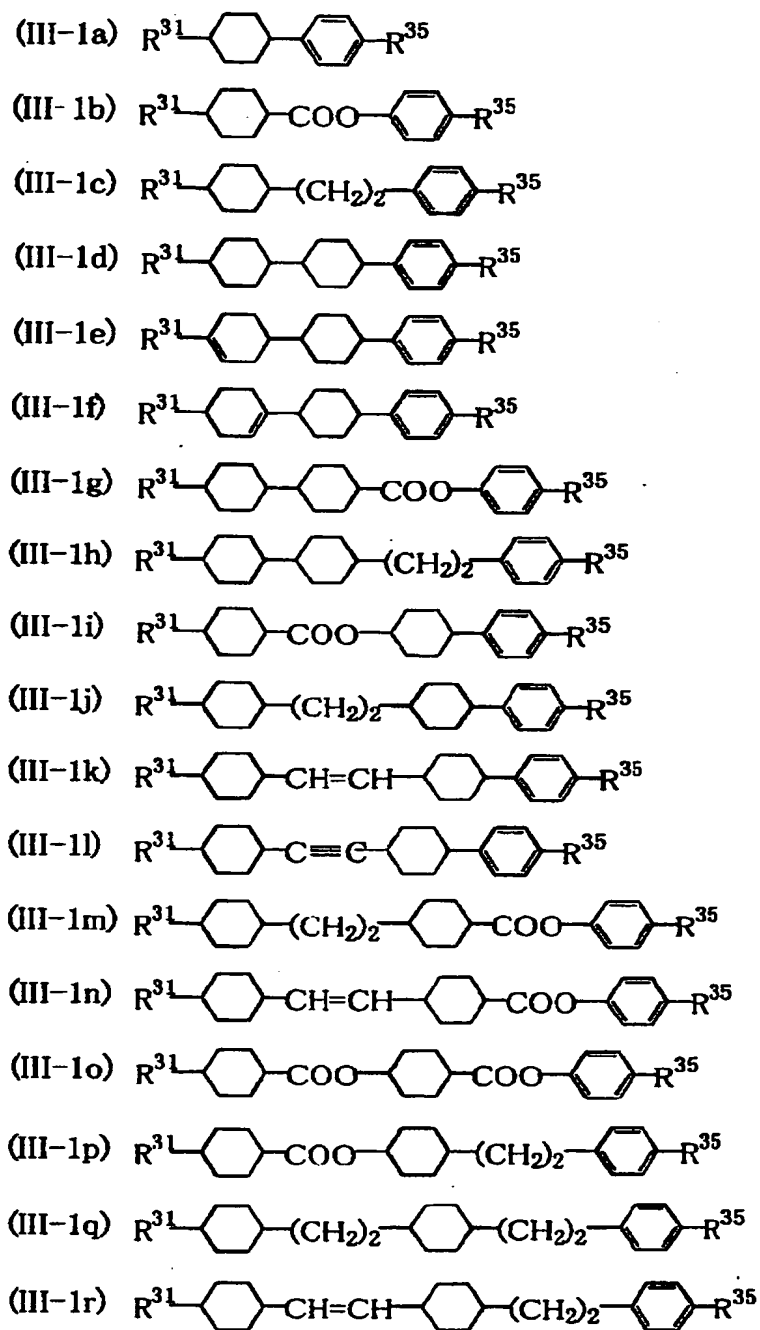
## 【0108】

特平 1 0 - 2 6 6 9 9 3



【化 3 3】

特平 10-266993

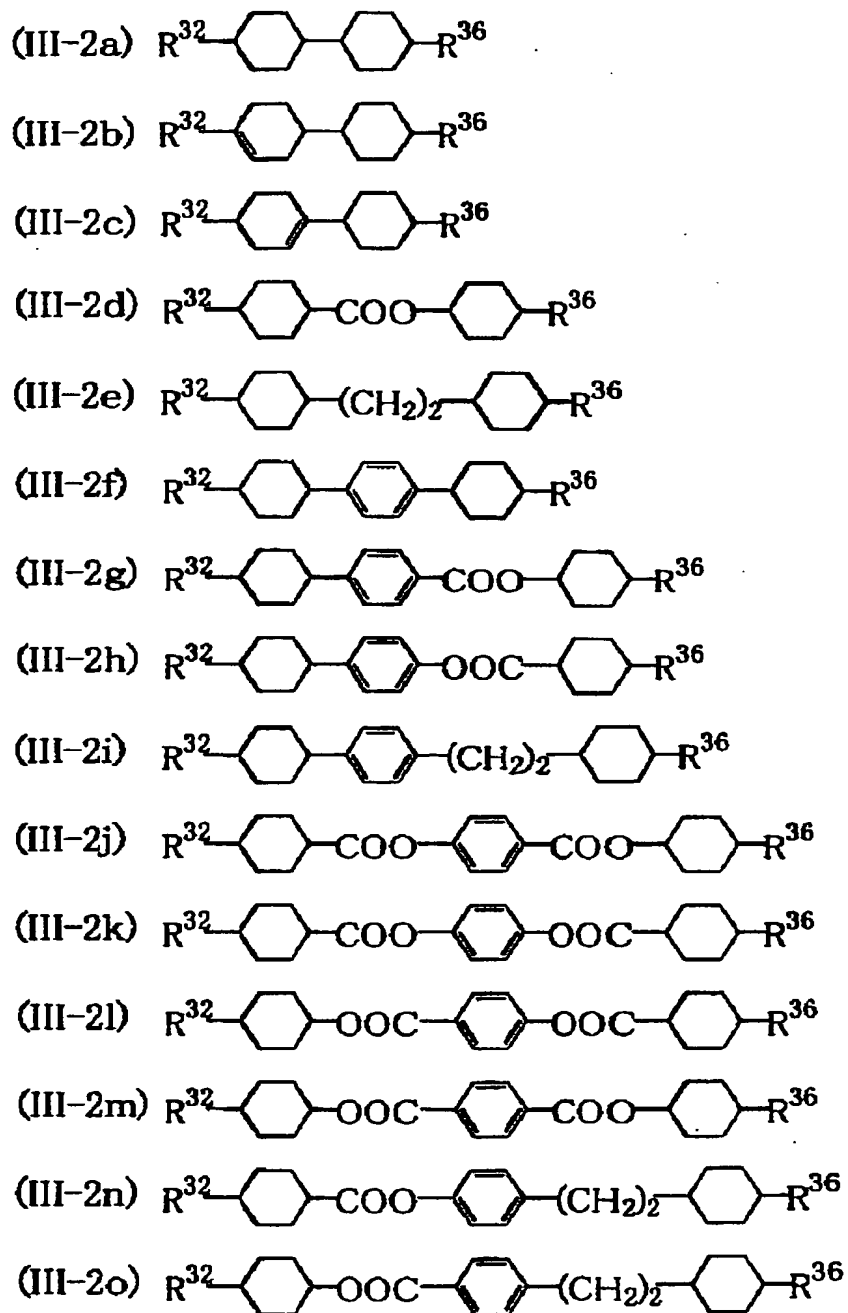


[0109]

【化34】



特平 1 0 - 2 6 6 9 9 3

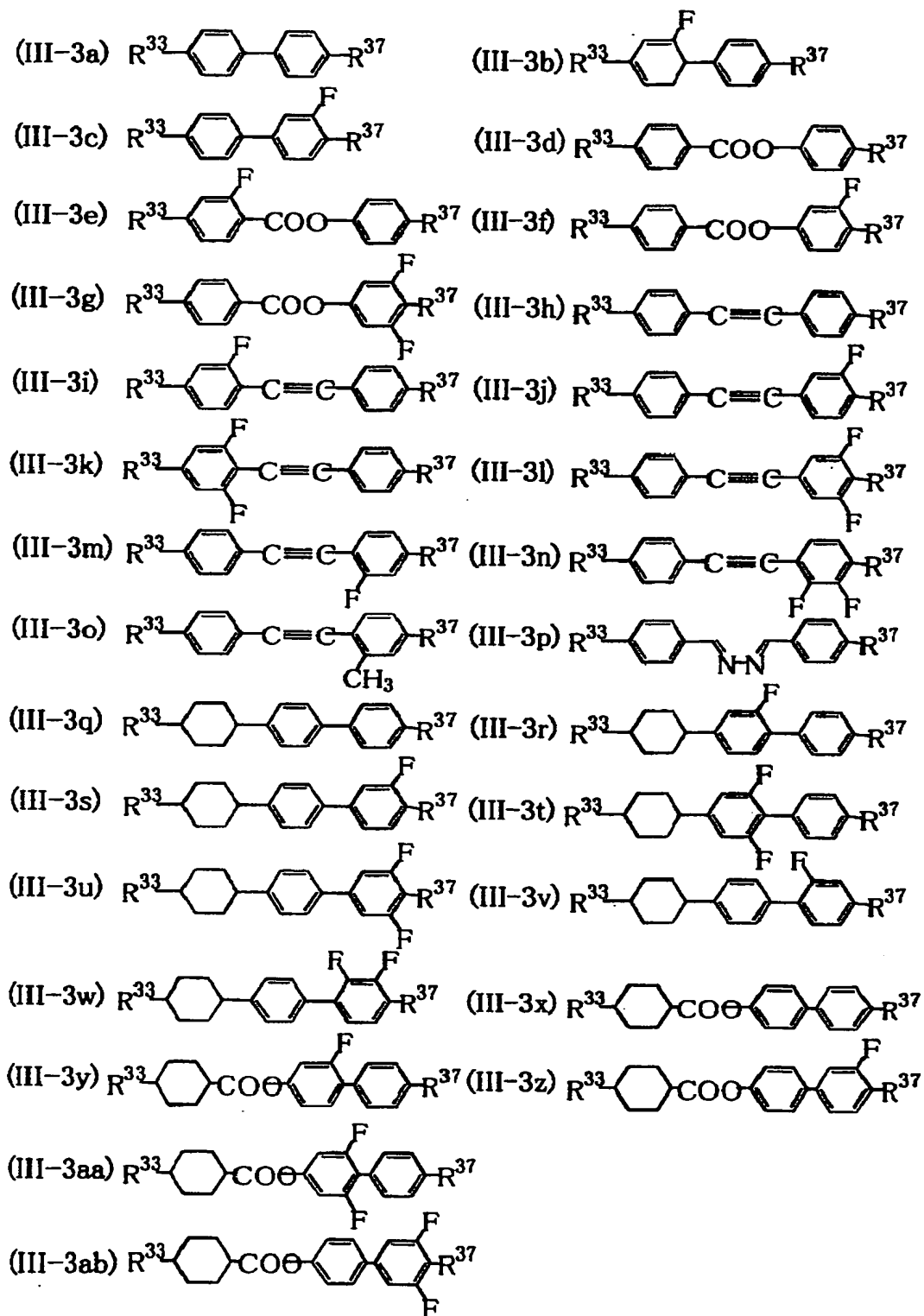


【0110】

【化35】

特平 1 0 - 2 6 6 9 9 3

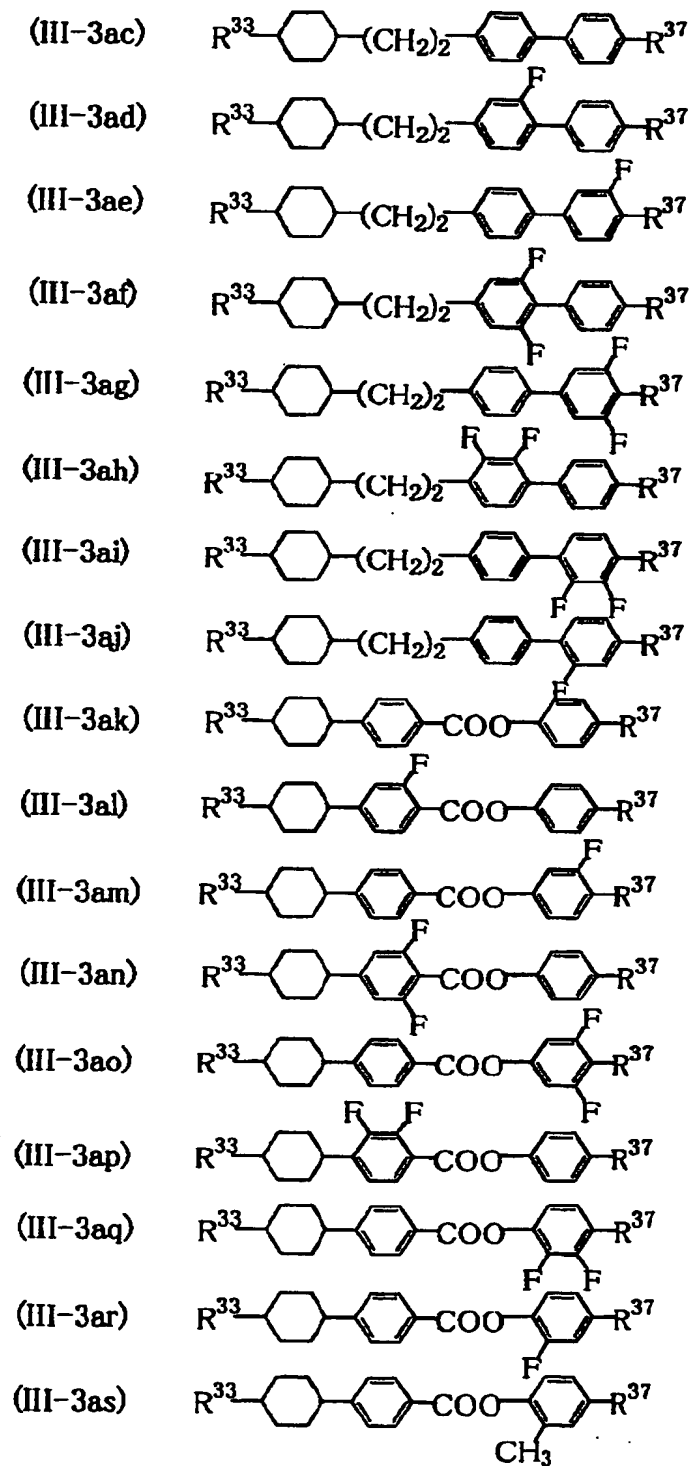




【0111】

特平 1 0 - 2 6 6 9 9 3

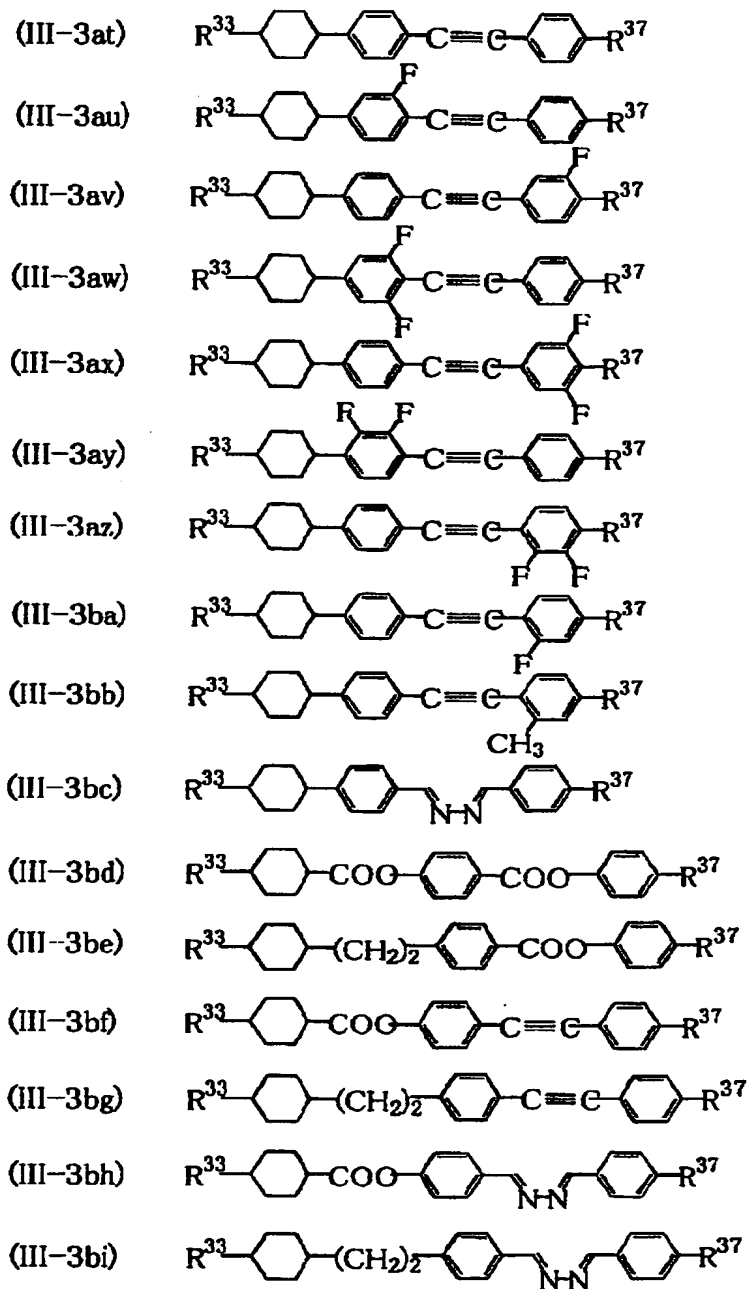
【化 3 6】



【0112】

【化37】

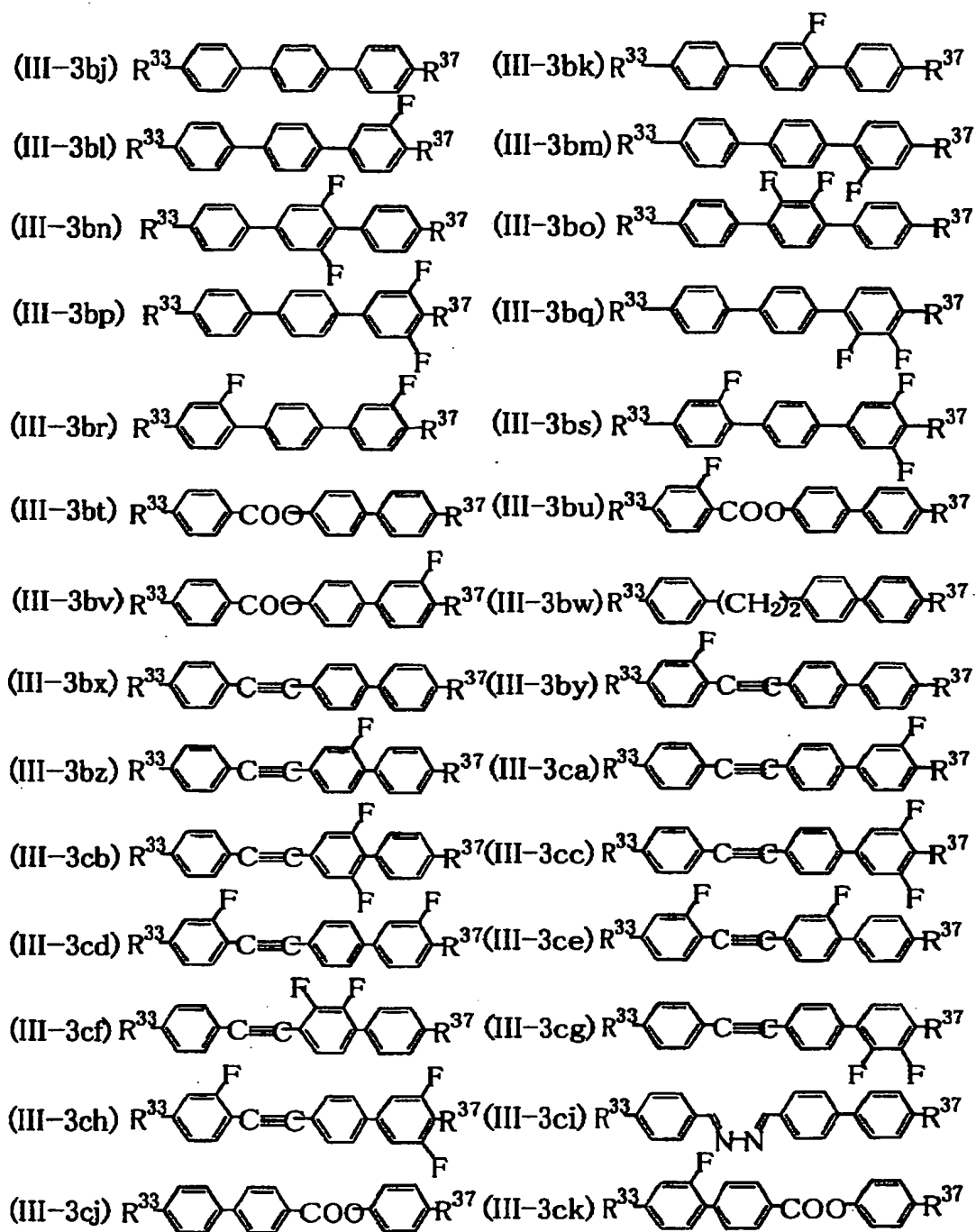
特平 1 0 - 2 6 6 9 9 3



【0113】

【化38】

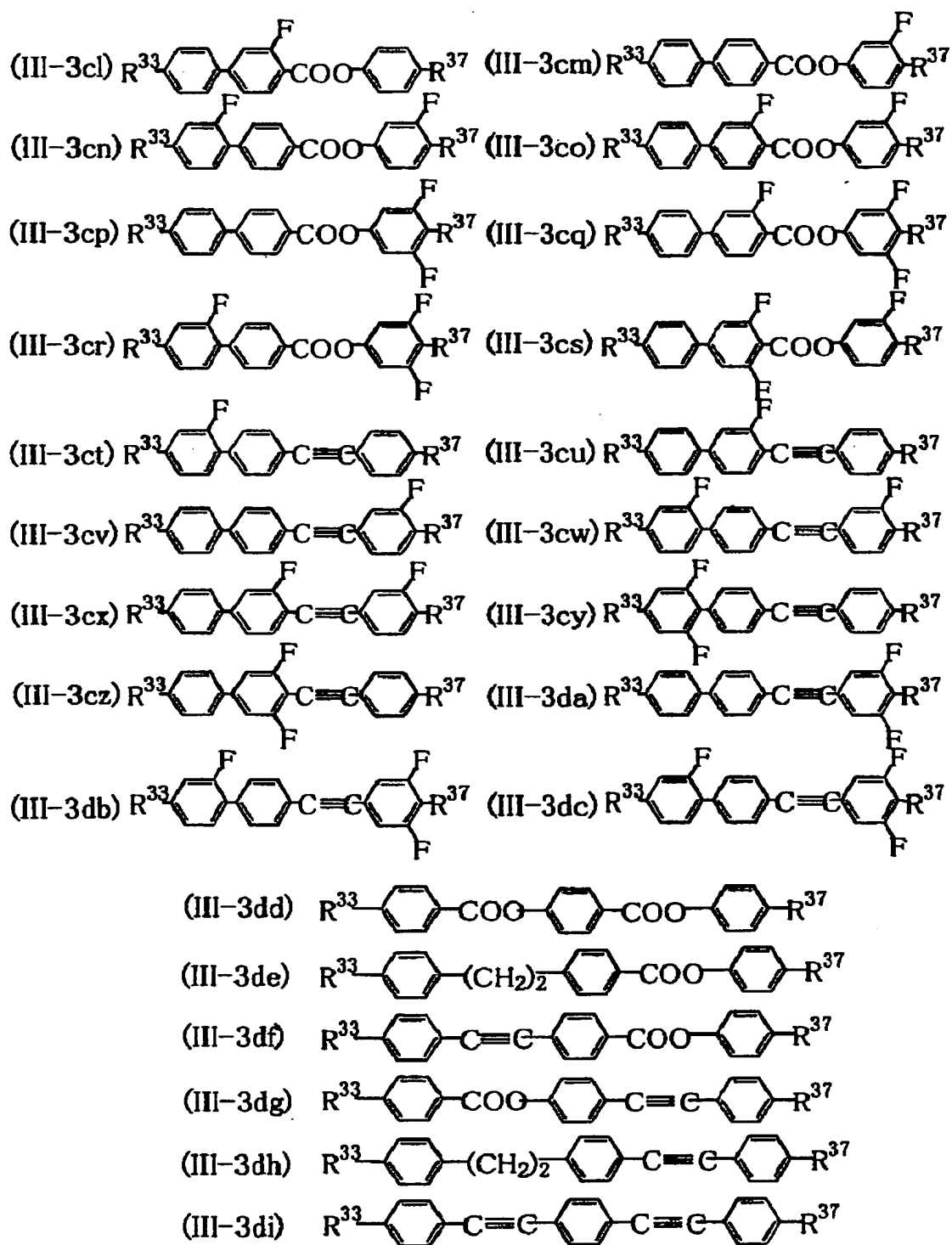




[0114]

特平 1 0 - 2 6 6 9 9 3

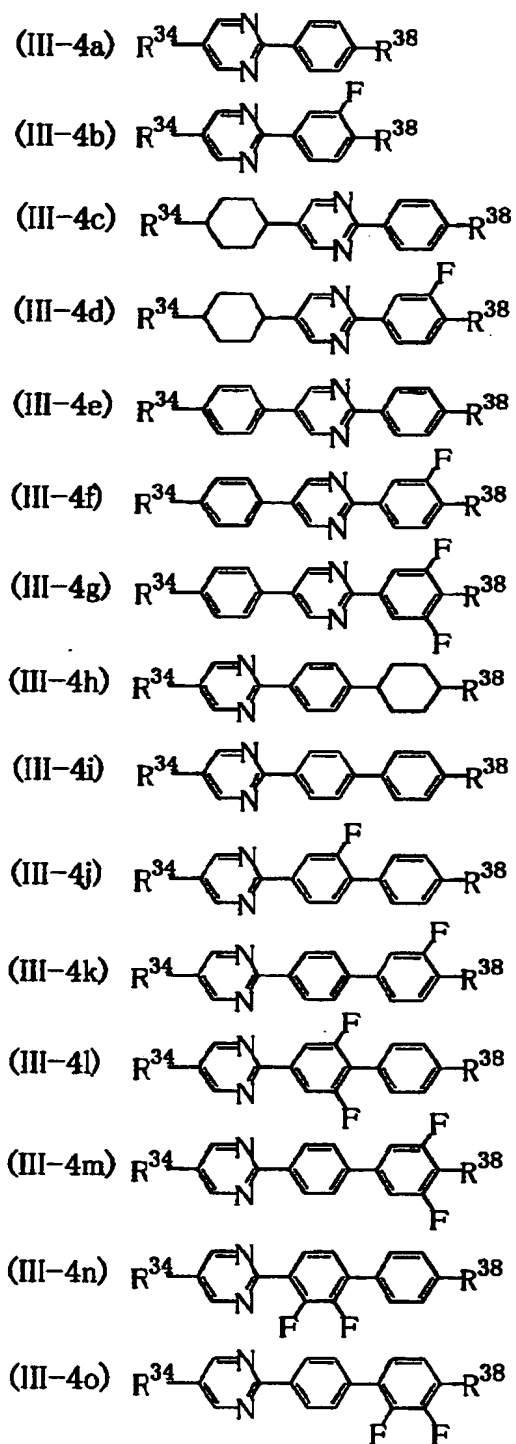
【化 3 9】



【0115】

特平 1 0 — 2 6 6 9 9 3

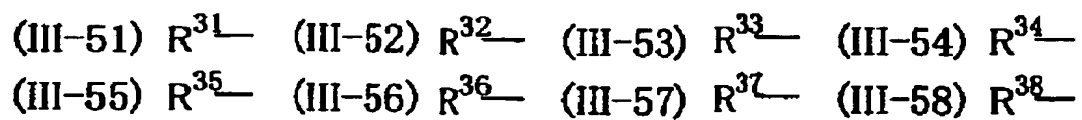
【化 4 0】



また、側鎖基  $R^{31} \sim R^{38}$  における式 (III-51) ~ (II-58)

【0116】

【化41】



のより好ましい形態は、下記に示す一般式 (III-5a) ～ (III-5bf) で表される化合物である。

【0117】

【化42】

(III-5a) $\text{CH}_3-$	(III-5h) $\text{CH}_3\text{O}-$	(III-5o) $\text{CH}_3\text{COO}-$
(III-5b) $\text{C}_2\text{H}_5-$	(III-5i) $\text{C}_2\text{H}_5\text{O}-$	(III-5p) $\text{C}_2\text{H}_5\text{COO}-$
(III-5c) $\text{C}_3\text{H}_7-$	(III-5j) $\text{C}_3\text{H}_7\text{O}-$	(III-5q) $\text{C}_3\text{H}_7\text{COO}-$
(III-5d) $\text{C}_4\text{H}_9-$	(III-5k) $\text{C}_4\text{H}_9\text{O}-$	(III-5r) $\text{C}_4\text{H}_9\text{COO}-$
(III-5e) $\text{C}_5\text{H}_{11}-$	(III-5l) $\text{C}_5\text{H}_{11}\text{O}-$	(III-5s) $\text{C}_5\text{H}_{11}\text{COO}-$
(III-5f) $\text{C}_6\text{H}_{13}-$	(III-5m) $\text{C}_6\text{H}_{13}\text{O}-$	(III-5t) $\text{C}_6\text{H}_{13}\text{COO}-$
(III-5g) $\text{C}_7\text{H}_{15}-$	(III-5n) $\text{C}_7\text{H}_{15}\text{O}-$	(III-5u) $\text{C}_7\text{H}_{15}\text{COO}-$
(III-5v) $\text{CH}_3\text{OCH}_2-$	(III-5aa) $\text{C}_2\text{H}_5\text{OCH}_2-$	(III-5af) $\text{C}_3\text{H}_7\text{OCH}_2-$
(III-5w) $\text{CH}_3\text{OC}_2\text{H}_4-$	(III-5ab) $\text{C}_2\text{H}_5\text{OC}_2\text{H}_4-$	(III-5ag) $\text{C}_3\text{H}_7\text{OC}_2\text{H}_4-$
(III-5x) $\text{CH}_3\text{OC}_3\text{H}_6-$	(III-5ac) $\text{C}_2\text{H}_5\text{OC}_3\text{H}_6-$	(III-5ah) $\text{C}_3\text{H}_7\text{OC}_3\text{H}_6-$
(III-5y) $\text{CH}_3\text{OC}_4\text{H}_8-$	(III-5ad) $\text{C}_2\text{H}_5\text{OC}_4\text{H}_8-$	(III-5ai) $\text{C}_3\text{H}_7\text{OC}_4\text{H}_8-$
(III-5z) $\text{CH}_3\text{OC}_5\text{H}_{10}-$	(III-5ae) $\text{C}_2\text{H}_5\text{OC}_5\text{H}_{10}-$	(III-5aj) $\text{C}_3\text{H}_7\text{OC}_5\text{H}_{10}-$
(III-5ak) $\text{CH}_2=\text{CH}-$	(III-5ar) $\text{CH}_2=\text{CHO}-$	
(III-5al) $\text{CH}_3\text{CH}=\text{CH}-$	(III-5as) $\text{CH}_3\text{CH}=\text{CHO}-$	
(III-5am) $\text{C}_2\text{H}_5\text{CH}=\text{CH}-$	(III-5at) $\text{C}_2\text{H}_5\text{CH}=\text{CHO}-$	
(III-5an) $\text{C}_3\text{H}_7\text{CH}=\text{CH}-$	(III-5au) $\text{C}_3\text{H}_7\text{CH}=\text{CHO}-$	
(III-5ao) $\text{CH}_2=\text{CHC}_2\text{H}_4-$	(III-5av) $\text{CH}_2=\text{CHC}_2\text{H}_4\text{O}-$	
(III-5ap) $\text{CH}_3\text{CH}_2=\text{CHC}_2\text{H}_4-$	(III-5aw) $\text{CH}_3\text{CH}_2=\text{CHC}_2\text{H}_4\text{O}-$	
(III-5aq) $\text{CH}_2=\text{CHC}_2\text{H}_5\text{CH}=\text{CH}-$	(III-5ax) $\text{CH}_2=\text{CHC}_2\text{H}_5\text{CH}=\text{CHO}-$	
(III-5ay) $\text{CHF}=\text{CH}-$	(III-5bc) $\text{CHF}=\text{CHC}_2\text{H}_4-$	
(III-5az) $\text{CH}_2=\text{CF}-$	(III-5bd) $\text{CH}_2=\text{CFC}_2\text{H}_4-$	
(III-5ba) $\text{CF}_2=\text{CH}-$	(III-5be) $\text{CF}_2=\text{CHC}_2\text{H}_4-$	
(III-5bb) $\text{CHF}=\text{CF}-$	(III-5bf) $\text{CHF}=\text{CFC}_2\text{H}_4-$	

尚、以下で用いている各化合物は、蒸留、カラム精製、再結晶等の方法を用いて不純物を除去し、充分精製したものを使用した。

【0118】

液晶成分Cは、前記一般式(III-1)～(III-4)で表される化合物を含有することができるが、前記一般式(III-1)で表される化合物で構成されてもよく、前記一般式(III-2)で表される化合物で構成されてもよく、前記一般式(III-4)で表される化合物で構成されてもよく、前記一般式(III-3)で表される化合物で構成されてもよく、これらを併用してもよい。より好ましくは、前記一般式(III-1)～(III-3)で表される化合物のいずれかから選ばれる化合物を1種又は2種以上含有し、該化合物の含有量が10～100重量%である液晶成分Cを含

有したネマチック液晶組成物である。

【0119】

更に詳述すると、汎用的な液晶組成物を目的とする場合には、液晶成分Cは以下の化合物を用いることが好ましく、この様な液晶成分Cを液晶成分A、あるいは使用した場合には液晶成分B、と組み合わせることにより本発明の効果を達成することができる。

【0120】

前記一般式 (III-1) ~ (III-4) において、

(III-ai) :  $R^{31} \sim R^{34}$  が炭素原子数 2 ~ 5 のアルケニル基である化合物、具体的には、一般式 (III-1a) ~ (III-4o) の基本構造であって、側鎖基  $R^{35} \sim R^{38}$  が (III-5a) ~ (II-5bf) で、側鎖基  $R^{31} \sim R^{34}$  が (III-5ak) ~ (II-5ap)、(III-5ar) ~ (III-5aw)、(III-5ay) ~ (III-5bf) の化合物。これらは、粘度や粘弾性の低減により応答性を向上させ、ネマチック相-等方性液体相転移温度を改良させることにより、STN-LCD、TFT-LCD、PDLC、PN-LCD等のより改善された電気光学特性を得ることができる。

【0121】

(III-aii) :  $R^{35} \sim R^{38}$  が炭素原子数 2 ~ 7 の直鎖状アルケニル基又はアルケニルオキシ基である化合物、具体的には、一般式 (III-1a) ~ (III-4o) の基本構造であって、側鎖基  $R^{31} \sim R^{34}$  が (III-5a) ~ (II-5bf) で、側鎖基  $R^{35} \sim R^{38}$  が (III-5ak) ~ (III-5bf) の化合物。これらは、粘度や粘弾性の低減により応答性を向上させ、ネマチック相-等方性液体相転移温度を改良させることができ、STN-LCD、TFT-LCD、PDLC、PN-LCD等のより改善された電気光学特性を得ることができる。

【0122】

前記一般式 (III-1) の化合物において、

(III-aiii) :  $k^{31}$  が 0 で  $Z^{32}$  が単結合又は  $-(CH_2)_2-$  で表される化合物、具体的には、一般式 (III-1a)、(III-1c) の基本構造であって、側鎖基が (III-5a) ~ (III-5bf) の化合物。

【0123】



(III-aiv) :  $k^{31}$  が 1 で表される化合物、具体的には、一般式 (III-1d) ~ (III-1r) の基本構造であって、側鎖基が (III-5a) ~ (III-5bf) の化合物。

【0124】

前記一般式 (III-2) の化合物において、

(III-av) : 前記一般式 (III-2) で表される化合物、具体的には、一般式 (II-2a) ~ (III-2o) の基本構造であって、側鎖基が (III-5a) ~ (III-5bf) の化合物。

【0125】

前記一般式 (III-3) の化合物において、

(III-avi) :  $Y^{34}$ 、 $Y^{35}$ 、 $W^{34}$  ~  $W^{36}$  の少なくとも 1 個が F 及び / 又は  $Y^{33}$  が F 又は  $-CH_3$  で表される化合物。具体的には、一般式 (III-3b)、(III-3c)、(III-3e) ~ (III-3g)、(III-3i) ~ (III-3o)、(III-3r) ~ (III-3w)、(III-3y) ~ (III-3ab)、(III-3ad) ~ (III-3aj)、(III-3al) ~ (III-3as)、(III-3au) ~ (III-3bb)、(III-3bk) ~ (III-3bs)、(III-3bu)、(III-3bv)、(III-3by) ~ (III-3ch)、(III-3ck) ~ (III-3dc) の基本構造であって、側鎖基が (III-5a) ~ (III-5bf) の化合物。

【0126】

(III-avii) :  $k^{33}$  が 0 で  $Z^{36}$  が単結合で表される化合物、具体的には、一般式 (III-3a) ~ (III-3c) の基本構造であって、側鎖基が (III-5a) ~ (III-5bf) の化合物。

【0127】

(III-aviii) :  $k^{33}$  が 1 で  $Z^{35}$  が単結合、 $-OCO-$ 、 $-CH_2O-$ 、 $-OCH_2-$ 、 $-(CH_2)_2-$ 、 $-(CH_2)_4-$ 、 $-CH=CH-(CH_2)_2-$ 、 $-(CH_2)_2-CH=CH-$ 、 $-CH=N-$ 、 $-CH=N-N=CH-$ 、 $-N(O)=N-$ 、 $-CH=CH-$  又は  $-CF=CF-$  で表される化合物、具体的には例えば、一般式 (III-3q) ~ (III-3w)、(III-3ac) ~ (III-3bc)、(III-3be)、(III-3bg)、(III-3bi) ~ (III-3bs)、(III-3bw)、(III-3ci) ~ (III-3dc)、(III-3de)、(III-3dh) の基本構造であって、側鎖基が (III-5a) ~ (III-5bf) の化合物。

【0128】

(III-ai) :  $Z^{35}$  が  $-COO-$  又は  $-C\equiv C-$  で  $Z^{36}$  が  $-OCO-$ 、 $-CH_2O-$ 、 $OCH_2-$ 、 $-(CH_2)_2-$ 、 $-(CH_2)_4-$ 、 $-CH=CH-(CH_2)_2-$ 、 $-(CH_2)_2-CH=CH-$ 、 $-CH=N-$ 、 $-CH=N-N=CH-$ 、 $-N(O)=N-$ 、 $-CH=CH-$ 、 $-CF=CF-$  又は  $-C\equiv C-$  で表される化合物、具体的には例えば、一般式 (III-3bf)、(III-3bh)、(III-3df)、(III-3dg) の基本構造であって、側鎖基が (III-5a) ~ (III-5bf) の化合物。

## 【0129】

前記一般式 (III-4) の化合物において、

(III-ax) : 前記一般式 (III-4) で表される化合物、具体的には、一般式 (II-4a) ~ (III-4o) の基本構造であって、側鎖基が (III-5a) ~ (III-5bf) の化合物。

## 【0130】

前記一般式 (III-1) ~ (III-4) の化合物において、

(III-axi) : 環  $A^{31}$  ~  $A^{35}$  がトランス-1, 4-シクロヘキシレンであり、この環の水素原子が重水素原子で置換された化合物から選ばれる化合物、具体的には、一般式 (III-1a) ~ (III-2o)、(III-3q) ~ (III-3bi)、(III-4c)、(III-4d)、(III-4h) の基本構造であって、側鎖基が (III-5a) ~ (III-5bf) の化合物。

## 【0131】

このように、本発明において、上記の小群 (III-ai) ~ (III-axi) で示した化合物中から選ばれる 1 種又は 2 種以上の化合物を含有し、液晶成分 C として該化合物の含有量が 10 ~ 100 重量%であるネマチック液晶組成物が好ましい。

## 【0132】

一般式 (III-1) ~ (III-4) で表される化合物における好ましい形態は、以下の化合物を含有する液晶成分 C である。

## 【0133】

前記一般式 (III-1) において、 $R^{31}$  が炭素原子数 1 ~ 5 のアルキル基又は炭素原子数 2 ~ 5 のアルケニル基であり、 $R^{35}$  が炭素原子数 1 ~ 5 のアルキル基、アルコキシ基、炭素原子数 2 ~ 5 のアルケニル基、アルケニルオキシ基である場

合

(III-bi) :  $k^{31}$  が 0 で  $Z^{32}$  が単結合、 $-COO-$  又は  $-(CH_2)_2-$  で表される化合物、具体的には、一般式 (III-1a) ~ (III-1c) の基本構造であって、側鎖基  $R^{31}$  が (III-5a) ~ (III-5e)、(III-5ak) ~ (III-5ap) の化合物で、側鎖基  $R^{35}$  が (III-5a) ~ (III-5e)、(III-5g) ~ (III-5l)、(III-5ak) ~ (III-5ap)、(III-5ar) ~ (III-5aw)、(III-5ay) ~ (III-5bf) の化合物。

【0134】

(III-bii) :  $k^{31}$  が 1 で環  $A^{31}$  がトランス-1, 4-シクロヘキシレンで  $Z^{31}$  と  $Z^{32}$  の一方が単結合で他方が単結合、 $-COO-$  又は  $-(CH_2)_2-$  で表される化合物、具体的には、一般式 (III-1d)、(III-1g) ~ (III-1j) の基本構造であって、側鎖基  $R^{31}$  が (III-5a) ~ (III-5e)、(III-5ak) ~ (III-5ap) の化合物で、側鎖基  $R^{35}$  が (III-5a) ~ (III-5e)、(III-5g) ~ (III-5l)、(III-5ak) ~ (III-5ap)、(III-5ar) ~ (III-5aw)、(III-5ay) ~ (III-5bf) の化合物。

【0135】

また、前記一般式 (III-2) において、 $R^{32}$  が炭素原子数 1 ~ 5 のアルキル基又は炭素原子数 2 ~ 5 のアルケニル基であり  $R^{36}$  が炭素原子数 1 ~ 5 のアルキル基、アルコキシ基、炭素原子数 2 ~ 5 のアルケニル基、アルケニルオキシ基であり環  $A^{32}$  がトランス-1, 4-シクロヘキシレン又はトランス-1, 4-シクロヘキセニレンである場合

(III-biii) :  $k^{32}$  が 0 で  $Z^{33}$  が単結合、 $-COO-$  又は  $-(CH_2)_2-$  で表される化合物、具体的には、一般式 (III-2a)、(III-2d)、(III-2e) の基本構造であって、側鎖基  $R^{32}$  が (III-5a) ~ (III-5e)、(III-5ak) ~ (III-5ap) の化合物で、側鎖基  $R^{36}$  が (III-5a) ~ (III-5e)、(III-5g) ~ (III-5l)、(III-5ak) ~ (III-5ap)、(III-5ar) ~ (III-5aw)、(III-5ay) ~ (III-5bf) の化合物。

【0136】

(III-biv) :  $k^{32}$  が 1 で  $Z^{33}$  と  $Z^{34}$  の一方が単結合で表される化合物、具体的には、一般式 (III-2f) ~ (III-2i) の基本構造であって、側鎖基  $R^{32}$  が (II

I-5a) ~ (III-5e)、(III-5ak) ~ (III-5ap) の化合物で、側鎖基  $R^{36}$  が (II I-5a) ~ (III-5e)、(III-5g) ~ (III-5l)、(III-5ak) ~ (III-5ap)、(III-5ar) ~ (III-5aw)、(III-5ay) ~ (III-5bf) の化合物。

【0137】

また、前記一般式 (III-3) において、 $R^{33}$  が炭素原子数 1 ~ 5 のアルキル基又は炭素原子数 2 ~ 5 のアルケニル基であり  $R^{37}$  が炭素原子数 1 ~ 5 のアルキル基、アルコキシ基、炭素原子数 2 ~ 5 のアルケニル基、アルケニルオキシ基である場合

(III-bv) :  $k^{33}$  が 0 で  $Z^{36}$  が単結合、 $-C \equiv C-$  又は  $-CH=N-N=CH-$  で表される化合物、具体的には、一般式 (III-3a) ~ (III-3c)、(III-3h) ~ (III-3p) の基本構造であって、側鎖基  $R^{33}$  が (III-5a) ~ (III-5e)、(III-5ak) ~ (III-5ap) の化合物で、側鎖基  $R^{37}$  が (III-5a) ~ (III-5e)、(III-5g) ~ (III-5l)、(III-5ak) ~ (III-5ap)、(III-5ar) ~ (III-5aw)、(III-5ay) ~ (III-5bf) の化合物。

【0138】

(III-bvi) :  $k^{33}$  が 1 で  $Z^{35}$  が単結合、 $-(CH_2)_2-$ 、 $-COO-$  又は  $-C \equiv C-$  で  $Z^{36}$  が単結合、 $-COO-$  又は  $-C \equiv C-$  で表される化合物、具体的には、一般式 (III-3q) ~ (III-3bb)、(III-3bd) ~ (III-3bg)、(III-3bj) ~ (III-3ch)、(III-3cj) ~ (III-3di) の基本構造であって、側鎖基  $R^{33}$  が (III-5a) ~ (III-5e)、(III-5ak) ~ (III-5ap) の化合物で、側鎖基  $R^{37}$  が (III-5a) ~ (III-5e)、(III-5g) ~ (III-5l)、(III-5ak) ~ (III-5ap)、(III-5ar) ~ (III-5aw)、(III-5ay) ~ (III-5bf) の化合物。

【0139】

(III-bvii) :  $Z^{35}$  と  $Z^{36}$  の一方が単結合で他方が単結合又は  $-C \equiv C-$  で  $W^{34}$ 、 $W^{35}$  の少なくとも 1 個が F で表される化合物、具体的には、一般式 (III-3r)、(III-3t)、(III-3au)、(III-3aw)、(III-3ay)、(III-3bk)、(III-3bn)、(III-3bo)、(III-3bz)、(III-3cb)、(III-3ce)、(III-3cf)、(III-3cu)、(III-3cx)、(III-3cz) の基本構造であって、側鎖基  $R^{33}$  が (III-5a) ~ (III-5e)、(III-5ak) ~ (III-5ap) の化合物で、側鎖基  $R^{37}$  が (III-5a) ~ (III-5e)、(III-5ak) ~ (III-5ap) の化合物で、側鎖基  $R^{37}$  が (III-5a) ~ (III-5e)、(III-5g) ~ (III-5l)、(III-5ak) ~ (III-5ap)、(III-5ar) ~ (III-5aw)、(III-5ay) ~ (III-5bf) の化合物。

II-5a) ~ (III-5e)、(III-5g) ~ (III-5l)、(III-5ak) ~ (III-5ap)、  
(III-5ar) ~ (III-5aw)、(III-5ay) ~ (III-5bf) の化合物。

## 【0140】

(III-bviii) :  $Y^{35}$ 、 $Y^{36}$ いずれかが F、 $CH^3$  で置換された化合物、具体的には、一般式 (III-3c)、(III-3f)、(III-3g)、(III-3j)、(III-3l) ~ (III-3o)、(III-3s)、(III-3u) ~ (III-3w)、(III-3z)、(III-3ab)、(III-3ae)、(III-3ag)、(III-3ai)、(III-3aj)、(III-3am)、(III-3ao)、(III-3aq) ~ (III-3as)、(III-3av)、(III-3ax)、(III-3az) ~ (III-3bb)、(III-3bl)、(III-3bm)、(III-3bp) ~ (III-3bs)、(III-3bv)、(III-3ca)、(III-3cc)、(III-3cd)、(III-3cg)、(III-3ch)、(III-3cm) ~ (III-3cs)、(III-3cv) ~ (III-3cx)、(III-3da) ~ (III-3dc) の基本構造であって、側鎖基  $R^{33}$  が (III-5a) ~ (III-5e)、(III-5ak) ~ (III-5ap) の化合物で、側鎖基  $R^{37}$  が (III-5a) ~ (III-5e)、(III-5g) ~ (III-5l)、(III-5ak) ~ (III-5ap)、(III-5ar) ~ (III-5aw)、(III-5ay) ~ (III-5bf) の化合物。

## 【0141】

また、前記一般式 (III-4) において

(III-bix) :  $R^{34}$  が炭素原子数 1 ~ 5 のアルキル基又は炭素原子数 2 ~ 5 のアルケニル基であり  $R^{38}$  が炭素原子数 1 ~ 5 のアルキル基、アルコキシ基、炭素原子数 2 ~ 5 のアルケニル基、アルケニルオキシ基であり  $k^{34} + k^{35}$  が 0 で表される化合物、具体的には、一般式 (III-4a)、(III-4b) の基本構造であって、側鎖基  $R^{34}$  が (III-5a) ~ (III-5e)、(III-5ak) ~ (III-5ap) の化合物で、側鎖基  $R^{38}$  が (III-5a) ~ (III-5e)、(III-5g) ~ (III-5l)、(III-5ak) ~ (III-5ap)、(III-5ar) ~ (III-5aw)、(III-5ay) ~ (III-5bf) の化合物。

## 【0142】

このように、本発明において、上記の小群 (III-bi) ~ (III-bix) で示した化合物中から選ばれる 1 種又は 2 種以上の化合物を含有し、液晶成分 C として該化合物の含有量が 10 ~ 100 重量%であるネマチック液晶組成物が好ましい。

一般式 (III-1) ~ (III-4) で表される化合物における特に好ましい形態は、以下の化合物を含有する液晶成分 C である。

【0143】

液晶成分 C として、一般式 (III-1) ~ (III-4) の化合物を含有することで、粘度や粘弾性を低減させることができ、比抵抗や電圧保持率が比較的高いという特徴を有する。液晶成分 C の粘度は、可能な限り低い粘度であることが好ましく、本発明の場合、45 cP 以下が好ましく、30 cP 以下がより好ましく、20 cP 以下が更に好ましく、15 cP 以下が特に好ましい。

【0144】

(III-ci) : この様な観点から、より好ましい化合物は、基本構造が一般式 (III-1a) ~ (III-1f)、(III-1k)、(III-2a) ~ (III-2f)、(III-3a)、(III-3h) ~ (III-3j)、(III-3o)、(III-3p)、(III-3q)、(III-3ac)、(III-3at) ~ (III-3ax)、(III-3ba)、(III-3bb)、(III-3bf)、(III-3bg)、(III-3bx) ~ (III-3cb)、(III-3ct) ~ (III-3cx) で表される化合物である。

【0145】

また、上記 (III-ci) の中で、

(III-cii) :  $R^{31} \sim R^{34}$  が炭素原子数 2 ~ 5 の直鎖状アルキル基又は  $CH_2=CH-(CH_2)_q$  ( $q=0, 2$ ) のアルケニル基で、 $R^{35} \sim R^{38}$  が炭素原子数 1 ~ 5 の直鎖状アルキル基又は  $CH_2=CH-(CH_2)_q$  ( $q=0, 2$ ) のアルケニル基である化合物はより好ましい。

【0146】

更に好ましくは、

(III-ciii) : 両側鎖基が共にアルケニル基であり、基本構造が一般式 (III-1a)、(III-1d)、(III-2a)、(III-2f)、(III-3a)、(III-3h)、(III-3p)、(III-3q) で表される化合物。

【0147】

本発明の液晶成分 C は、一般式 (III-1)、一般式 (III-2)、一般式 (III-3)、一般式 (III-4) で表される化合物を各々単独で構成することもできるが、

一般式 (III-1) 及び／又は (III-2) で表される化合物において、

(III-civ) : 特に一般式 (III-1a)、(III-1d)、(III-2a) ~ (III-2c)、(III-2f) と一般式 (III-3) 及び／又は一般式 (III-4) で表される化合物。

(III-cv) : このうち、特に  $Z^{35}$  が単結合、 $-C \equiv C-$ 、 $-CH=N-N=CH-$  で表される化合物、具体的には一般式 (III-3a)、(III-3h)、(III-3p)、(III-3q)、(III-3at)、(III-4a)、(III-4h) を併用することによって、液晶組成物の複屈折率を用途に応じて容易に最適化することができる。汎用的には、一般式 (III-1)、一般式 (III-2) の化合物、例えば一般式 (III-1a) ~ (III-1-2f) の化合物を多用することによって、複屈折率を減少させることができ、液晶表示装置の色むらの低減、視角特性の向上、コントラスト比の増加を容易に達成することができる。又、一般式 (III-3) の化合物、例えば一般式 (III-3a) ~ (III-3j) の化合物、あるいは一般式 (III-4) の化合物、例えば一般式 (III-4a) ~ (III-4e) の化合物を多用することで、複屈折率を増大させることができ、液晶層が  $1 \sim 5 \mu m$  の薄い液晶表示素子の作製を可能とすることができる。

#### 【0148】

これらの小群 (III-ai) ~ (III-cv) で示した化合物を含有した液晶成分 C は、必須成分の液晶成分 A と良く混合する特徴を有し、目的に応じた複屈折率の調製、急峻性やその温度依存性の改善あるいは応答性の改善に有用である。これらの化合物は、これら箇々の少なくとも 1 つの効果に優れており、本発明のネマチック液晶組成物の総量に対して 0.1 ~ 30 重量%と少量の含有量でもこの効果を得ることができる。

#### 【0149】

現在、TN-LCD、STN-LCDあるいはTFT-LCDに用いられている配向膜は、ポリイミド系のものが多用されており、例えばLX1400、SE150、SE610、AL1051、AL3408等が使用されている。配向膜の仕様には、液晶表示特性、表示品位、信頼性、生産性が深く関係しており、液晶材料に対しては例えばプレチルト角特性が重要である。プレチルト角の大きさは、所望の液晶表示特性や均一な配向性を得るために、適時調整する必要がある。例えば、大きなプレチルト角の場合不安定な配向状態となりやすく、小さい場合十分な表示特性を満たされないこととなる。

## 【0150】

本発明者らは、プレチルト角がより大きい液晶材料とより小さい液晶材料とに選別されることを見いだしており、これを応用することによって所望の液晶表示特性や均一な配向性を液晶材料から達成させることを見いだした。この技術は、本発明にも応用できる。例えば、液晶成分Bが一般式(II-1)～(II-4)を含有する場合は以下のようなになる。より大きいプレチルト角は、 $R^{21}$ がアルケニル基、 $X^{21}$ がF、Cl、-CN、 $Y^{21}$ 、 $Y^{22}$ がFの化合物及び／又は $R^{21}$ がアルキル基、 $X^{21}$ がF、Cl、-CN、 $Z^{22}$ が $-C_2H_4-$ 、 $-C_4H_8-$ の化合物の含有量を多くさせることで得られ、より小さいプレチルト角は、 $R^{21}$ がアルケニル基、 $C_sH_{2s+1}-O-C_tH_{2t}$ 、 $X^{21}$ がF、 $Y^{21}$ がF、 $Y^{22}$ がHの化合物及び／又は $Z^{22}$ が $-COO-$ の化合物の含有量を多くさせることで得られる。具体的には、一般式(I-1)～(I-3)における環 $A^{11} \sim A^{16}$ 、一般式(II-1)、(II-2)、(II-4)における環 $A^{21} \sim A^{24}$ 、一般式(III-1)～(III-4)における環 $A^{31} \sim A^{35}$ がシクロヘキサン環であり、該環の水素原子を重水素原子置換した化合物の場合、置換位置によって異なり、プレチルト角の幅広い調整を可能にさせる。また、水素原子を重水素原子置換した化合物を多用した場合、不純物の混入に対して、より高い電圧保持率を維持する特段の効果があり、アクティブ用のTFT-LCD、PDLC、PN-LCD等の表示特性や製造上の歩留まりに好適である。この様な効果は、上述した化合物を液晶組成物総量に対して10～40重量%あるいはそれ以上含有させることによってほぼ得ることができる。

## 【0151】

本発明のネマチック液晶組成物における各液晶成分の含有量は以下のようにできる。液晶成分Aは、0.1～100重量%の範囲であるが、0.5～90重量%の範囲が好ましく、5～85重量%の範囲がより好ましい。液晶成分Bは、0～99.9重量%の範囲であるが、3～80重量%の範囲が好ましく、5～60重量%の範囲がより好ましい。液晶成分Cは、多くとも85重量%の範囲であるが、3～70重量%の範囲が好ましく、5～70重量%の範囲がより好ましい。一般式(I-1)で表される化合物の含有量は、単体で15重量%以下が好ましく、それ以上は2種以上で構成することが好ましく、一般式(I-1a)～(I-3ab)



で表される化合物の液晶成分Aに対する含有量は、5～100重量%の範囲が好ましい。一般式(II-1)～(II-4)で表される化合物、具体的には一般式(II-1a)～(II-4g)で表される化合物の含有量は、単体で30重量%以下が好ましく、25重量%以下が更に好ましく、それ以上は2種以上で構成することが好ましく、液晶成分Bに対する含有量は、10～100重量%の範囲であるが、50～100重量%の範囲が好ましく、75～100重量%の範囲が更に好ましい。一般式(III-1)～(III-4)で表される化合物、具体的には一般式(III-1a)～(III-4o)で表される化合物の含有量は、単体で30重量%以下が好ましく、25重量%以下が更に好ましく、それ以上は2種以上で構成することが好ましく、液晶成分Cに対する含有量は、10～100重量%の範囲であるが、50～100重量%の範囲が好ましく、75～100重量%の範囲が更に好ましい。

## 【0152】

本発明の液晶組成物は、上記一般式(I-1)～(III-4)で表される化合物以外にも、液晶組成物の特性を改善するために、液晶化合物として認識される通常のネマチック液晶、スメクチック液晶、コレステリック液晶などを含有していてもよい。例えば、4個の六員環を有したコア構造の化合物であって、該化合物の液晶相－等方性液体相転移温度が100℃以上を有する化合物を1種又は2種以上含有させることかできる。しかしながら、これらの化合物を多量に用いることはネマチック液晶組成物の特性が低減することになるので、添加量は得られるネマチック液晶組成物の要求特性に応じて制限されるものである。

## 【0153】

結晶相又はスメクチック相－ネマチック相転移温度は、好ましくは－10℃以下、更に好ましくは－20℃以下、特に好ましくは－30℃以下である。ネマチック相－等方性液体相転移温度は、60℃以上、好ましくは70℃以上、更に好ましくは80℃～180℃の範囲である。本発明の液晶組成物は、誘電率異方性が3以上でもよいが、4～40の範囲が好ましく、高速応答性を重視する場合は4～16の範囲が、より低い駆動電圧を必要とする場合は17～30の範囲が好ましい。より小さい或いは中位の複屈折率は、0.08～0.18の範囲が好ましく、より大きい複屈折率は、0.18～0.35の範囲が好ましい。この様な

ネマチック液晶組成物の特性は、アクティブ・マトリクス形、ツイステッド・ネマチックあるいはスーパー・ツイステッド・ネマチック液晶表示装置に用いるのに有用である。

## 【0154】

本発明の液晶組成物は、駆動電圧の大きさに対してより速い応答性を目的とする場合、以下のようにすることができる。中位の駆動電圧を目的とする場合は、本発明の液晶組成物の誘電率異方性が3～15の範囲であり、20℃における粘性が8～20 c. p. の範囲であることが好ましい。この場合、液晶成分Cのみの粘性が25 c. p. 以下が好ましく、15 c. p. 以下がより好ましく、10 c. p. 以下が特に好ましい。又、特に低い駆動電圧を目的とする場合は、本発明の液晶組成物の誘電率異方性が15～30の範囲にあることが好ましく、18～28の範囲が特に好ましい。

## 【0155】

上記ネマチック液晶組成物は、高速応答性のTN-LCDやSTN-LCDに有用であり、またカラーフィルター層を用いなくても、液晶層と位相差板の複屈折性でカラー表示をすることができる液晶表示素子に有用なものであり、透過型あるいは反射型の液晶表示素子の用いることができる。この液晶表示素子は、透明性電極層を有し少なくとも一方が透明である基板を有し、この基板間に前記ネマチック液晶組成物の分子をねじれた配向にさせ、目的に応じて30°～360°の範囲で選択することができ、90°～270°の範囲で選択することが好ましく、45°～135°の範囲または180°～260°の範囲で選択することが特に好ましい。この為に、本発明の液晶組成物は、誘起螺旋ピッチが0.5～1000  $\mu$ mとなる光学活性基を有する化合物を含有させることができる。透明性電極基板に設けられる配向膜によって得られるプレチルト角は、1°～20°の範囲で選択することが好ましく、ねじれ角が30°～100°では1°～4°のプレチルト角が好ましく、100°～180°では2°～6°のプレチルト角が好ましく、180°～260°では3°～12°のプレチルト角が好ましく、260°～360°では6°～20°のプレチルト角が好ましい。

## 【0156】

本発明者らは、上記液晶組成物が、透明性電極層を有する少なくとも一方が透明な2枚の基板間に挟持された調光層を有し、該調光層が液晶材料及び透明性固体物質を含有する光散乱形液晶表示にも、有利な表示特性を具備させることを見いだした。本発明者らは特開平6-222320号公報において、液晶材料の物性値と液晶表示の表示特性との関係が次式(VI)で表されることを示した。

【0157】

【数1】

$$V_{th} \propto \frac{d}{\langle r \rangle + {}^1K_{ii}/A} \left( \frac{{}^2K_{ii}}{\Delta \epsilon} \right)^{1/2} \quad \text{--- (VI)}$$

なお、 $V_{th}$ はしきい値電圧を表し、 ${}^1K_{ii}$ 、 ${}^2K_{ii}$ は弾性定数を表し、 $ii$ は11、22又は33を表し、 $\Delta \epsilon$ は誘電率異方性を表し、 $\langle r \rangle$ は透明性固体物質界面の平均空隙間隔を表し、 $A$ は液晶分子に対する透明性固体物質のアンカリングエネルギーを表し、 $d$ は透明性電極を有する基板間の距離を表す。

【0158】

この数式は、透明性固体界面が液晶分子に与える規制力が弾性定数 ${}^1K_{ii}$ とアンカリングエネルギー $A$ の比によって変化することを意味しており、特にその効果が実際の平均空隙間隔 $\langle r \rangle$ より ${}^1K_{ii}/A$ の量だけ実質的に広げる作用を為し、従って効果的に駆動電圧を低減させることを示している。この関係は、本発明においても応用することができる。より具体的には、以下のようにすることが好ましい。透明性固体物質が高分子形成性化合物として2官能性モノマー及び単官能性モノマーを含有した重合性組成物から形成することにより、高分子形成性化合物から透明性固体物質を形成する過程において、透明性固体物質の形状がより均一な構造を成し、液晶材料との界面の性質を操作できると考えられる。本発明の液晶組成物においては、極性基を有するナフタレン-2,6ジイルを部分構造とする分子構造を特徴としている化合物で構成される液晶成分Aが、白濁性、応答性、ヒステリシス、急峻性、駆動電圧あるいはこれらの温度依存性に対して、これら箇々の1つ又は複数の特性を良好なものにする効果を有している。

【0159】

本発明で使用する液晶材料は、透明性電極層を有する2枚の基板間に液晶材料をマイクロカプセル化した液晶小滴を透明性固体物質中に分散させた表示にも有用なものであることが期待される。基板間に形成される透明性固体物質は、繊維状あるいは粒子状に分散するものでも、液晶材料を小滴状に分散させたフィルムのもので良いが、三次元網目状の構造を有するものがより好ましい。また、液晶材料は連続層を形成することが好ましいが、液晶材料の無秩序な状態を形成することにより、光学的境界面を形成し、光の散乱を発現させる上で重要である。このような透明性固体物質から形成された三次元網目状構造の形状の平均径は、光の波長に比べて大きすぎたり、小さすぎる場合、光散乱性が衰える傾向にあるので、 $0.2 \sim 2 \mu\text{m}$ の範囲が好ましい。また、調光層の厚みは、使用目的に応じ、 $2 \sim 30 \mu\text{m}$ の範囲が好ましく、 $5 \sim 20 \mu\text{m}$ の範囲が特に好ましい。

## 【0160】

このようにして製造された本発明の光散乱形液晶表示は、より温度依存性が小さい駆動性を達成し、これにより、例えばアクティブ・マトリクス方式に要求される特性を有するものである。また、本発明の液晶表示は、例えば、プロジェクション表示装置や直視型の携帯用端末表示 (Personal Digital Assistance) として利用することができる。

## 【0161】

本発明の液晶組成物は、上記で詳述してきた液晶成分A、B、Cを含有することにより得ることができる。この様にして以下好ましい例としてネマチック液晶組成物(1-01)～(1-24)を示すが、本発明はこれらの例に限定されるものではない。これら例示したものは、例えば、ネマチック液晶組成物(1-01)、(1-03)～(1-07)、(1-10)、(1-11)、(1-12)はTN-LCD用として、ネマチック液晶組成物(1-01)、(1-02)、(1-06)、(1-07)、(1-13)、(1-14)、(1-17)～(1-22)、(1-24)はSTN-LCD用として、ネマチック液晶組成物(1-08)、(1-09)、(1-15)、(1-23)はTFT-LCD用として、ネマチック液晶組成物(1-15)、(1-16)はPDLC、PN-LCD用として使用することができる。また、これらの例で示された化合物(1-0101)～(1-2415)の1種あるいは複数の化合物を、所定の目的や用途に対して一般式(I-1)～(III-4)で表される化合物、より具体的には、一般式(I-1a)～(I-3ab)の基本構造であって

、側鎖基が (I-4a) ~ (I-4bc) であって、極性基の部分構造が一般式 (I-5a) ~ (I-5av) の化合物、一般式 (II-1a) ~ (II-4g) の基本構造であって、側鎖基が (II-5a) ~ (II-5bc) であって、極性基の部分構造が一般式 (II-6a) ~ (II-6r) の化合物、一般式 (III-1a) ~ (III-4o) の基本構造であって、側鎖基が (III-5a) ~ (III-5bf) の化合物と置き換えて使用することができる。










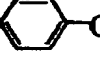





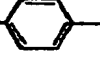




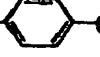
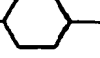


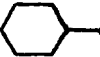





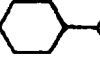

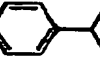

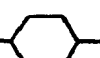



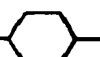

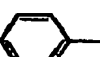

【0162】

特平 1 0 — 2 6 6 9 9 3

【化 4 3】

特平 10-266993

好ましい組成物例  
ネマチック液晶組成物 (1-01)

(1-0101)	$C_3H_7$ -  -  -OCH <sub>3</sub>	10重量%
(1-0102)	$C_3H_7$ -  -  -OC <sub>3</sub> H <sub>7</sub>	10重量%
(1-0103)	$C_3H_7$ -  -  -OCH <sub>3</sub>	5重量%
(1-0104)	$C_5H_{11}$ -  -  -C <sub>3</sub> H <sub>7</sub>	5重量%
(1-0105)	C <sub>2</sub> H <sub>5</sub> -  -C≡C-  -OC <sub>2</sub> H <sub>5</sub>	5重量%
(1-0106)	C <sub>2</sub> H <sub>5</sub> -  -COO-  - 	5重量%
(1-0107)	$C_5H_{11}$ -  -COO- 	12重量%
(1-0108)	$C_4H_9$ -  -  - 	10重量%
(1-0109)	$C_5H_{11}$ -  -  -  -C <sub>2</sub> H <sub>5</sub>	8重量%
(1-0110)	$C_3H_7$ -  -  -COO- 	5重量%
(1-0111)	$C_4H_9$ -  -  -COO- 	5重量%
(1-0112)	$C_5H_{11}$ -  -  - 	5重量%
(1-0113)	$C_3H_7$ -  -  -  -  -C <sub>3</sub> H <sub>7</sub>	5重量%
(1-0114)	$C_5H_{11}$ -  -  -  -  -C <sub>3</sub> H <sub>7</sub>	5重量%
(1-0115)	$C_5H_{11}$ -  -  -  -  -C <sub>5</sub> H <sub>11</sub>	5重量%

【0163】

【化44】



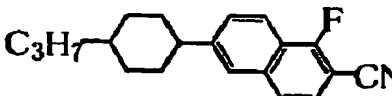
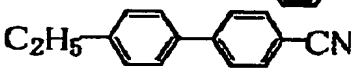
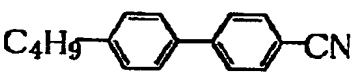
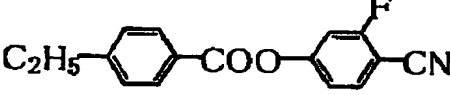
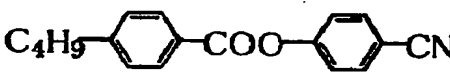



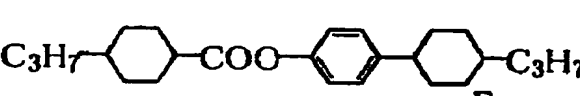
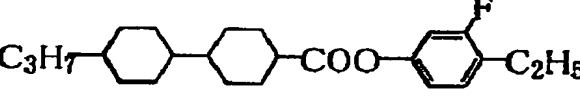
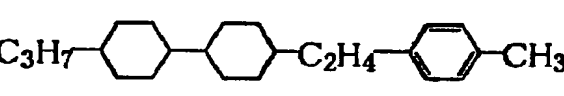
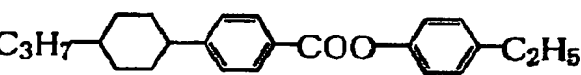
好ましい組成物例  
ネマチック液晶組成物 (1-02)

(1-0201)	<chem>CCCCCc1ccc(OC)cc1</chem>	10重量%
(1-0202)	<chem>CCCCc1ccc(cc1)-c2ccc(C#N)cc2</chem>	8重量%
(1-0203)	<chem>CCCCCc1ccc(cc1)-c2ccc(C#N)cc2</chem>	15重量%
(1-0204)	<chem>CCCCc1ccc(cc1)-C#C-c2ccc(CC)cc2</chem>	9重量%
(1-0205)	<chem>CCCCc1ccc(cc1)-c2ccc(cc2)C2H4-c3ccc4c(c3)cc(F)c(F)c4</chem>	6重量%
(1-0206)	<chem>CCCCCc1ccc(cc1)-c2ccc(cc2)C2H4-c3ccc4c(c3)cc(F)c(F)c4</chem>	6重量%
(1-0207)	<chem>CCCCc1ccc(cc1)-c2ccc(cc2)C2H4-c3ccc4c(c3)cc(F)c(F)c4</chem>	12重量%
(1-0208)	<chem>CCCCCc1ccc(cc1)-c2ccc(cc2)C2H4-c3ccc4c(c3)cc(F)c(F)c4</chem>	12重量%
(1-0209)	<chem>CCCCc1ccc(cc1)-c2ccc(cc2)C2H4-c3ccc(C)cc3</chem>	7重量%
(1-0210)	<chem>CCCCc1ccc(cc1)-c2ccc(cc2)C2H4-c3ccc(CC)cc3</chem>	7重量%
(1-0211)	<chem>CCCCc1ccc(cc1)-c2ccc(cc2)C2H4-c3ccc(CCC)cc3</chem>	8重量%

【0164】

【化45】

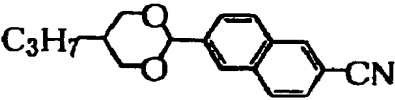
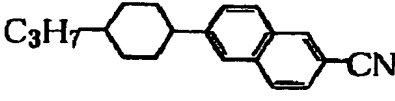
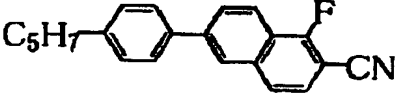
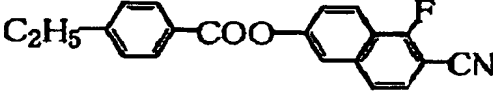
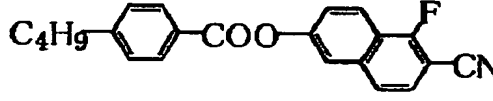

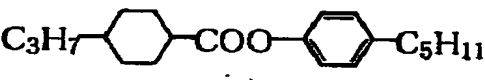
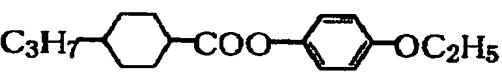
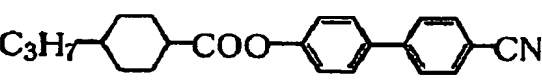
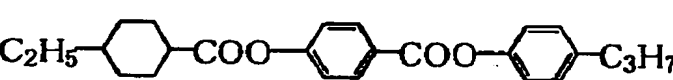
好ましい組成物例  
ネマチック液晶組成物 (1-03)

(1-0301)		17重量%
(1-0302)		12重量%
(1-0303)		11重量%
(1-0304)		5重量%
(1-0305)		10重量%
(1-0306)		10重量%
(1-0307)		7重量%
(1-0308)		8重量%
(1-0309)		5重量%
(1-0310)		5重量%
(1-0311)		5重量%
(1-0312)		5重量%

【0165】

【化46】

好ましい組成物例  
ネマチック液晶組成物 (1-04)

(1-0401)		5重量%
(1-0402)		5重量%
(1-0403)		12重量%
(1-0404)		8重量%
(1-0405)		9重量%
(1-0406)		12重量%
(1-0407)		15重量%
(1-0408)		13重量%
(1-0409)		18重量%
(1-0410)		3重量%

【0166】

【化47】

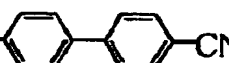
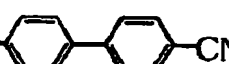
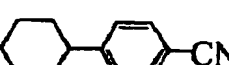
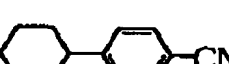
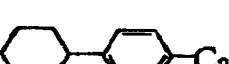
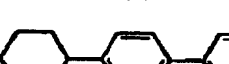


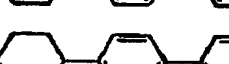

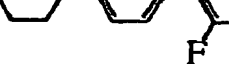
好ましい組成物例  
ネマチック液晶組成物 (1-05)

(1-0501)		10重量%
(1-0502)		5重量%
(1-0503)		10重量%
(1-0504)		3重量%
(1-0505)		15重量%
(1-0506)		15重量%
(1-0507)		15重量%
(1-0508)		15重量%
(1-0509)		7重量%
(1-0510)		5重量%

【0167】

【化48】

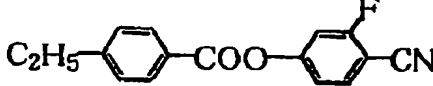
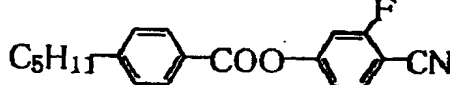
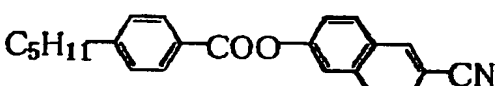
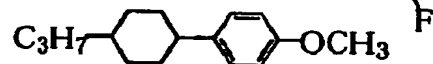
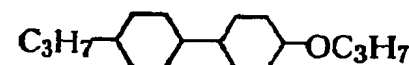
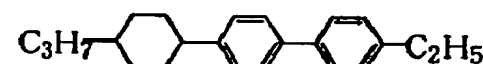
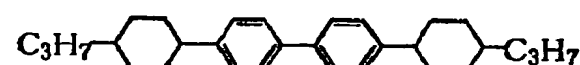
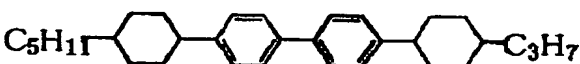
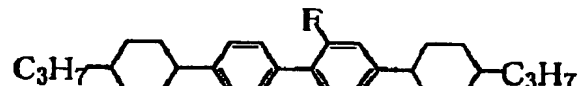
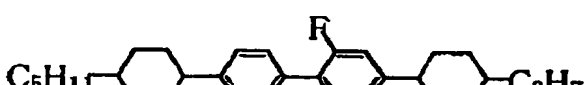
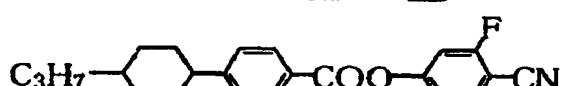
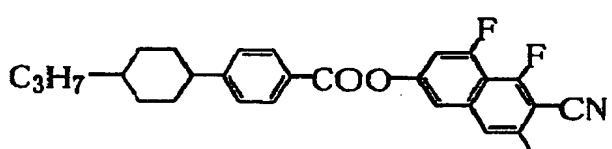
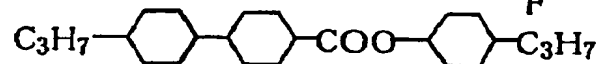
好ましい組成物例  
ネマチック液晶組成物 (1-06)

(1-0601)	$C_2H_5$ - 	5重量%
(1-0602)	$C_3H_7$ - 	5重量%
(1-0603)	$C_3H_7$ - 	16重量%
(1-0604)	$C_4H_9$ - 	16重量%
(1-0605)	$C_5H_{11}$ - 	17重量%
(1-0606)	$C_3H_7$ - 	12重量%
(1-0607)	$C_5H_{11}$ - 	12重量%
(1-0608)	$C_5H_{11}$ - 	6重量%
(1-0609)	$C_5H_{11}$ - 	5重量%
(1-0610)	$C_3H_7$ - 	3重量%
(1-0611)	$C_3H_7$ - 	3重量%

【0168】

【化49】

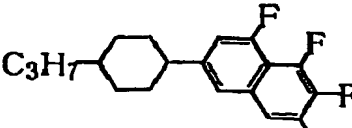
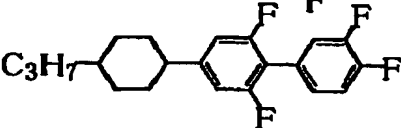
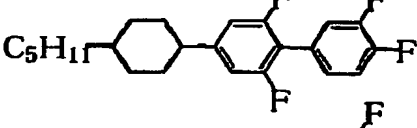
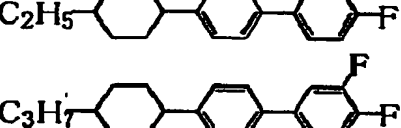
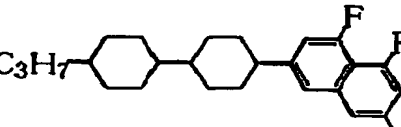
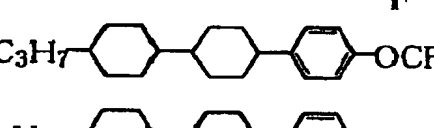
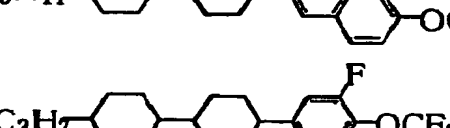
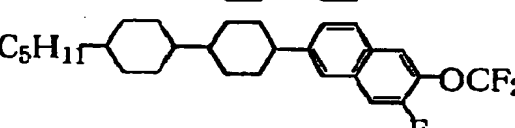
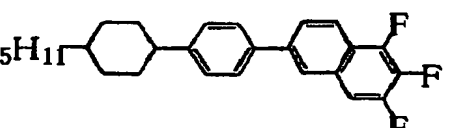
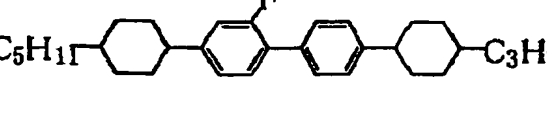


好ましい組成物例  
ネマチック液晶組成物 (1-07)

(1-0701)		8重量%
(1-0702)		10重量%
(1-0703)		7重量%
(1-0704)		12重量%
(1-0705)		18重量%
(1-0706)		10重量%
(1-0707)		5重量%
(1-0708)		5重量%
(1-0709)		5重量%
(1-0710)		5重量%
(1-0711)		5重量%
(1-0712)		5重量%
(1-0713)		5重量%

【0169】

【化50】

好ましい組成物例  
ネマチック液晶組成物 (1-08)

(1-0801)		7重量%
(1-0802)		4重量%
(1-0803)		4重量%
(1-0804)		7重量%
(1-0805)		8重量%
(1-0806)		13重量%
(1-0807)		4重量%
(10-808)		4重量%
(1-0809)		10重量%
(1-0810)		12重量%
(1-0811)		20重量%
(1-0812)		7重量%

【0170】

【化51】

特平 1 0 - 2 6 6 9 9 3



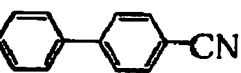
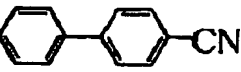
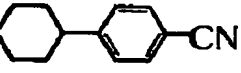
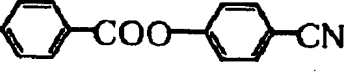
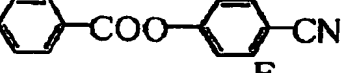
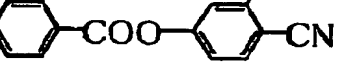
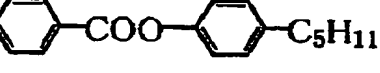
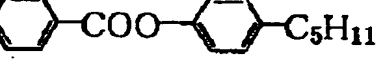
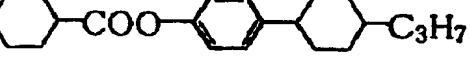
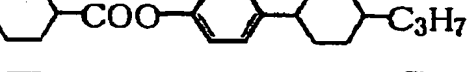
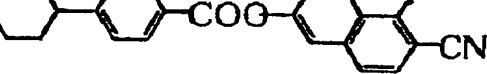
好ましい組成物例  
ネマチック液晶組成物 (1-09)

(1-0901)		7重量%
(1-0902)		7重量%
(1-0903)		4重量%
(1-0904)		7重量%
(1-0905)		8重量%
(1-0906)		4重量%
(1-0907)		7重量%
(1-0908)		13重量%
(1-0909)		13重量%
(1-0910)		4重量%
(1-0911)		4重量%
(1-0912)		10重量%
(1-0913)		12重量%

【0171】

【化 5 2】








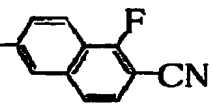


















好ましい組成物例  
ネマチック液晶組成物 (1-10)

(1-1001)	$\text{C}_2\text{H}_5$ - 	12重量%
(1-1002)	$\text{C}_4\text{H}_9$ - 	12重量%
(1-1003)	$\text{C}_3\text{H}_7$ - 	18重量%
(1-1004)	$\text{C}_2\text{H}_5$ - 	6重量%
(1-1005)	$\text{C}_3\text{H}_7$ - 	6重量%
(1-1006)	$\text{C}_3\text{H}_7$ - 	5重量%
(1-1007)	$\text{CH}_3$ - 	10重量%
(1-1008)	$\text{C}_3\text{H}_7$ - 	12重量%
(1-1009)	$\text{C}_3\text{H}_7$ - 	7重量%
(1-1010)	$\text{C}_4\text{H}_9$ - 	7重量%
(1-1011)	$\text{C}_4\text{H}_9$ - 	5重量%

【0172】

【化53】

好ましい組成物例  
ネマチック液晶組成物 (1-11)

(1-1101)	$C_2H_5$ -  -  -CN	10重量%
(1-1102)	$C_3H_7$ -  -  -CN	10重量%
(1-1103)	$C_4H_9$ -  -  -CN	10重量%
(1-1104)	$C_5H_{11}$ -  - $C_2H_4$ - 	21重量%
(1-1105)	$CH_3$ -  -COO-  - $C_5H_{11}$	13重量%
(1-1106)	$C_3H_7$ -  -COO-  - $C_5H_{11}$	12重量%
(1-1107)	$C_5H_{11}$ -  -COO-  - $C_5H_{11}$	10重量%
(1-1108)	$C_5H_{11}$ -  -COO-  -  - $C_3H_7$	3重量%
(1-1109)	$C_3H_7$ -  -  -COO-  - $C_3H_7$	3重量%
(1-1110)	$C_5H_{11}$ -  -  -COO-  - $C_3H_7$	5重量%
(1-1111)	$C_5H_{11}$ -  -  -COO-  -CN	3重量%

【0173】

【化54】

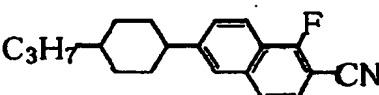
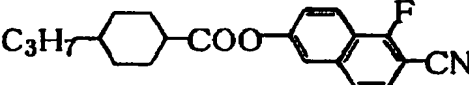
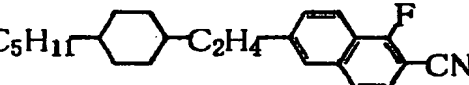
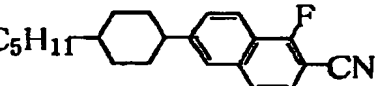
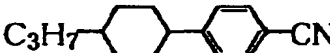
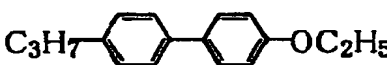
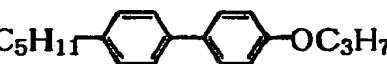


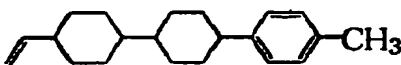
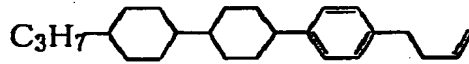
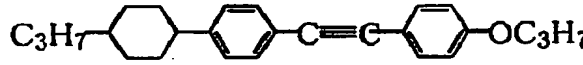

好ましい組成物例  
ネマチック液晶組成物 (1-12)

(1-1201)		8重量%
(1-1202)		6重量%
(1-1203)		7重量%
(1-1204)		10重量%
(1-1205)		11重量%
(1-1206)		10重量%
(1-1207)		10重量%
(1-1208)		10重量%
(1-1209)		9重量%
(1-1210)		3重量%
(1-1211)		3重量%
(1-1212)		4重量%
(1-1213)		3重量%
(1-1214)		3重量%
(1-1215)		3重量%

【0174】

【化55】

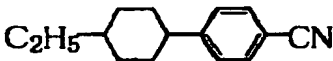
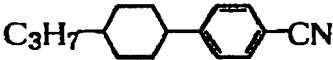
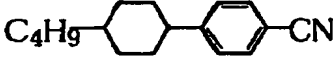
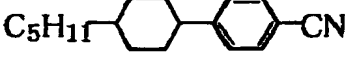
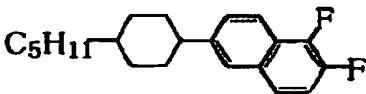
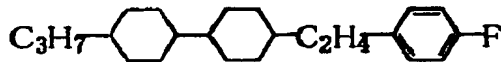

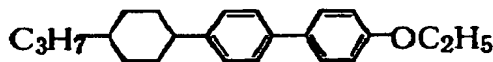
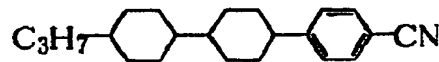
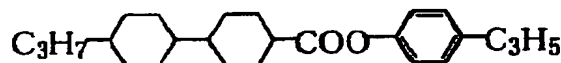
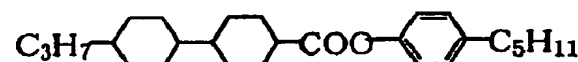
好ましい組成物例  
ネマチック液晶組成物 (1-13)

(1-1301)		5重量%
(1-1302)		15重量%
(1-1303)		10重量%
(1-1304)		13重量%
(1-1305)		7重量%
(1-1306)		5重量%
(1-1307)		5重量%
(1-1308)		6重量%
(1-1309)		6重量%
(1-1310)		7重量%
(1-1311)		7重量%
(1-1312)		7重量%
(1-1313)		7重量%

【0175】

【化56】

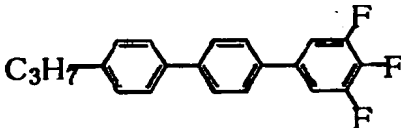
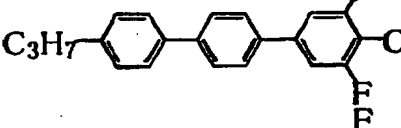
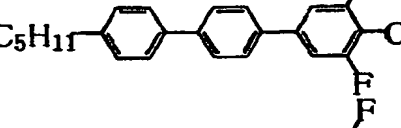

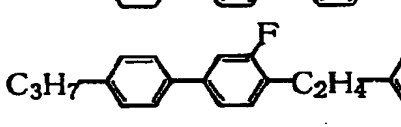
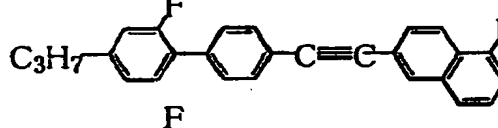
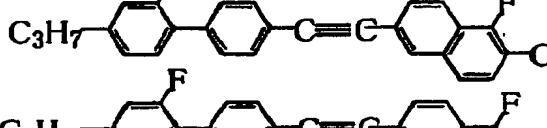
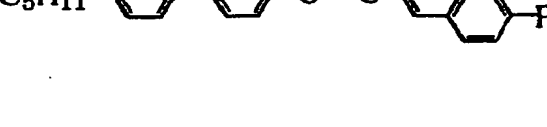

好ましい組成物例  
ネマチック液晶組成物 (1-14)

(1-1401)		7重量%
(1-1402)		17重量%
(1-1403)		14重量%
(1-1404)		15重量%
(1-1405)		7重量%
(1-1406)		7重量%
(1-1407)		6重量%
(1-1408)		11重量%
(1-1409)		7重量%
(1-1410)		5重量%
(1-1411)		4重量%

【0176】

【化57】

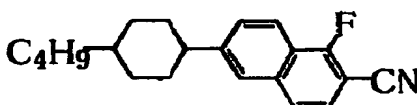
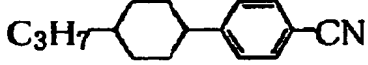
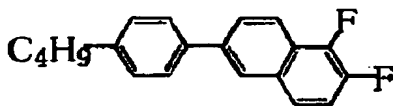
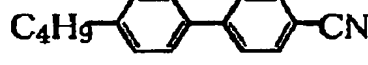
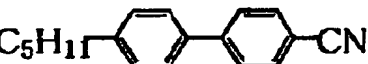
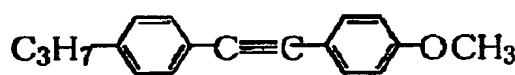
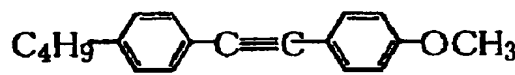
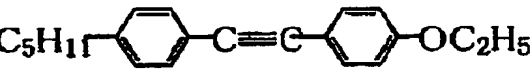
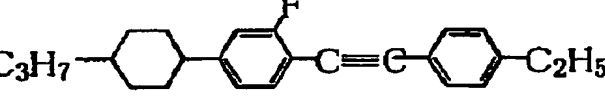
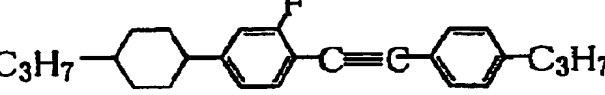
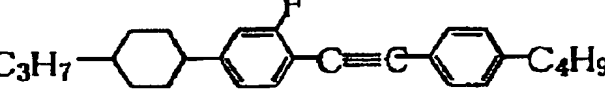



好ましい組成物例  
ネマチック液晶組成物 (1-15)

(1-1501)		10重量%
(1-1502)		10重量%
(1-1503)		12重量%
(1-1504)		10重量%
(1-1505)		10重量%
(1-1506)		16重量%
(1-1507)		12重量%
(1-1508)		10重量%
(1-1509)		10重量%

【0177】

【化58】

好ましい組成物例  
ネマチック液晶組成物 (1-16)

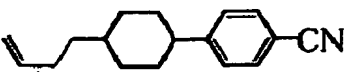
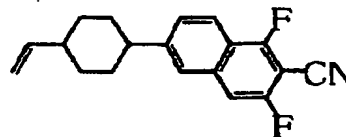
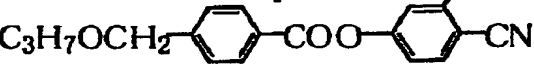
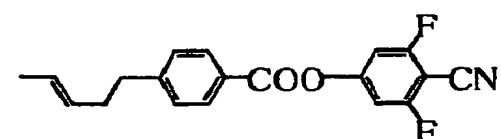
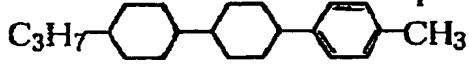
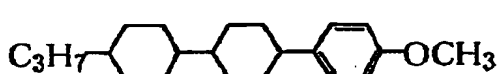
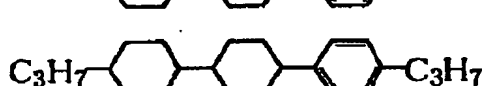
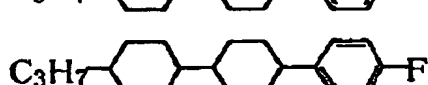
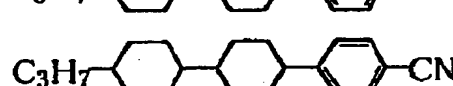
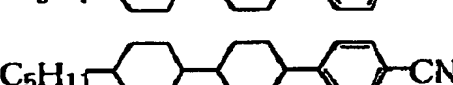
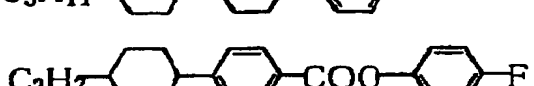
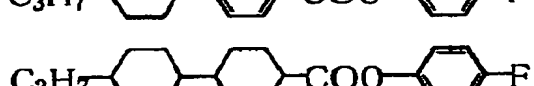
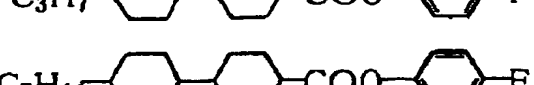


(1-1601)		10重量%
(1-1602)		16重量%
(1-1603)		7重量%
(1-1604)		7重量%
(1-1605)		8重量%
(1-1606)		5重量%
(1-1607)		3重量%
(1-1608)		5重量%
(1-1609)		8重量%
(1-1610)		8重量%
(1-1611)		8重量%
(1-1612)		5重量%
(1-1613)		5重量%
(1-1614)		5重量%



【0178】

【化59】

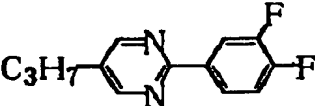
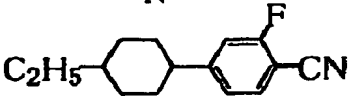
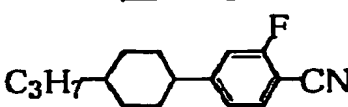
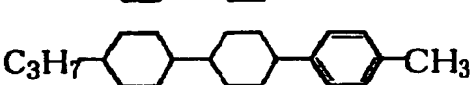
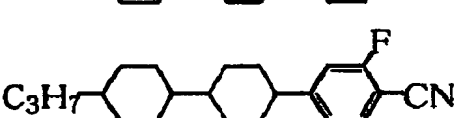
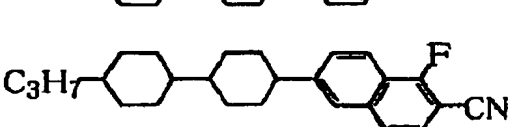
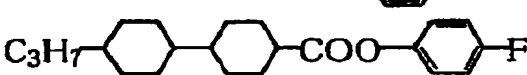
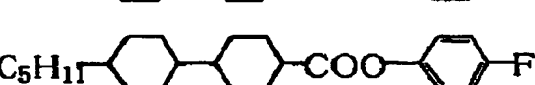
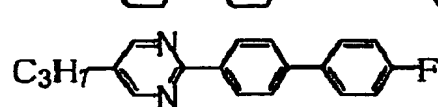
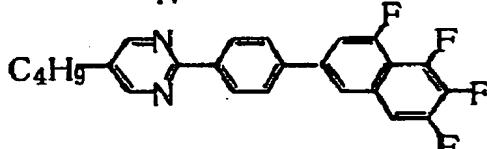


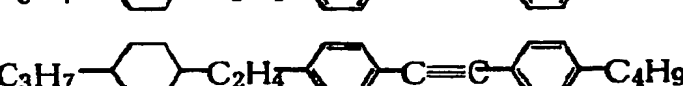
好ましい組成物例  
ネマチック液晶組成物 (1-17)

(1-1701)		12重量%
(1-1702)		11重量%
(1-1703)	$C_3H_7OCH_2$ 	14重量%
(1-1704)		11重量%
(1-1705)	$C_3H_7$ 	6重量%
(1-1706)	$C_3H_7$ 	5重量%
(1-1707)	$C_3H_7$ 	5重量%
(1-1708)	$C_3H_7$ 	5重量%
(1-1709)	$C_3H_7$ 	5重量%
(1-1710)	$C_5H_{11}$ 	5重量%
(1-1711)	$C_3H_7$ 	5重量%
(1-1712)	$C_3H_7$ 	5重量%
(1-1713)	$C_5H_{11}$ 	5重量%
(1-1714)	$C_3H_7$ 	3重量%
(1-1715)	$C_3H_7$ 	3重量%

【0179】

【化60】



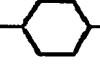


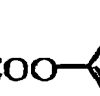

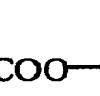

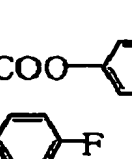


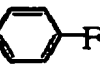


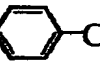


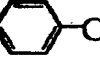


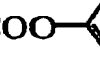
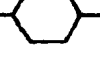

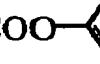


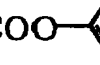


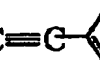





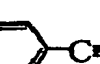


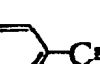


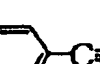
好ましい組成物例  
ネマチック液晶組成物 (1-18)

(1-1801)		13重量%
(1-1802)		16重量%
(1-1803)		4重量%
(1-1804)		7重量%
(1-1805)		12重量%
(1-1806)		12重量%
(1-1807)		5重量%
(1-1808)		5重量%
(1-1809)		7重量%
(1-1810)		7重量%
(1-1811)		4重量%
(1-1812)		4重量%
(1-1813)		4重量%

【0180】

【化61】

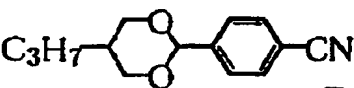
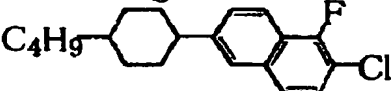
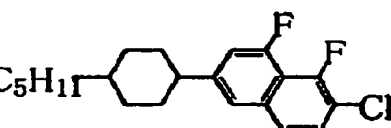
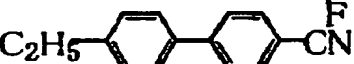
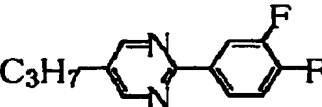


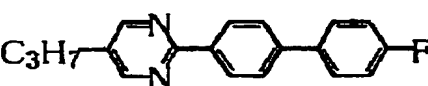
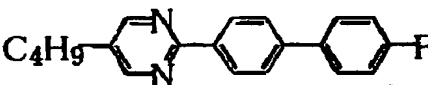
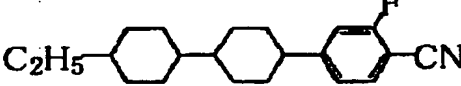
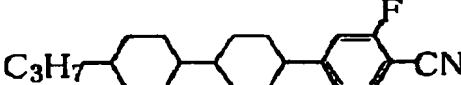
好ましい組成物例  
ネマチック液晶組成物 (1-19)

(1-1901)	$C_3H_7$ -  -  - $OC_2H_5$	9重量%
(1-1902)	$C_3H_7$ -  -  - $C_4H_9$	4重量%
(1-1903)	$C_2H_5OCH_2$ -  - $COO$ - 	4重量%
(1-1904)	$C_3H_7OCH_2$ -  - $COO$ - 	5重量%
(1-1905)	$C_2H_5OCH_2$ -  - $COO$ - 	8重量%
(1-1906)	$C_3H_7$ -  -  - 	5重量%
(1-1907)	$C_3H_7$ -  -  - 	21重量%
(1-1908)	$C_3H_7$ -  -  - 	2重量%
(1-1909)	$C_3H_7$ -  -  - $COO$ - 	6重量%
(1-1910)	$C_3H_7$ -  -  - $COO$ - 	5重量%
(1-1911)	$C_5H_{11}$ -  -  - $COO$ - 	5重量%
(1-1912)	$C_3H_7$ -  -  - $C \equiv C$ - 	6重量%
(1-1913)	$C_3H_7$ -  -  - $C \equiv C$ - 	5重量%
(1-1914)	$C_3H_7$ -  - $C_2H_4$ -  - $C \equiv C$ - 	5重量%
(1-1915)	$C_3H_7$ -  - $C_2H_4$ -  - $C \equiv C$ - 	5重量%
(1-1916)	$C_3H_7$ -  - $C_2H_4$ -  - $C \equiv C$ - 	5重量%

【0181】

【化62】

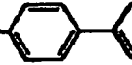
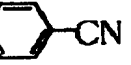
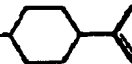
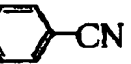
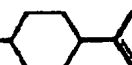
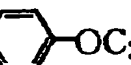
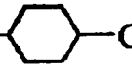
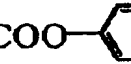
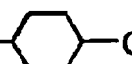
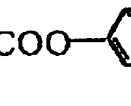
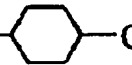
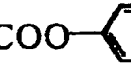
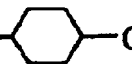
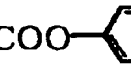
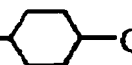
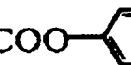
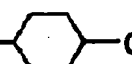
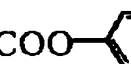
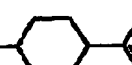
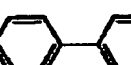
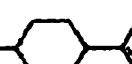
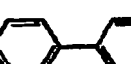
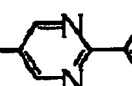
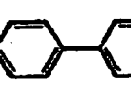
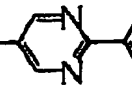
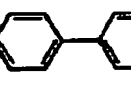
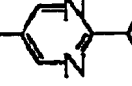
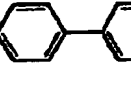
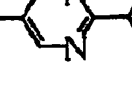
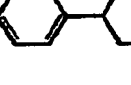
好ましい組成物例  
ネマチック液晶組成物 (1-20)

(1-2001)		14重量%
(1-2002)		16重量%
(1-2003)		11重量%
(1-2004)		10重量%
(1-2005)		5重量%
(1-2006)		5重量%
(1-2007)		5重量%
(1-2008)		7重量%
(1-2009)		7重量%
(1-2010)		10重量%
(1-2011)		10重量%

【0182】

【化63】

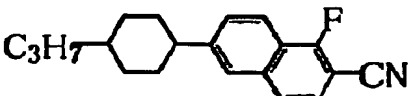
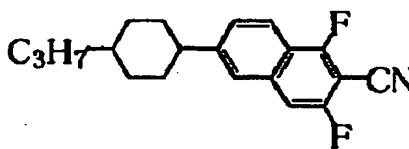
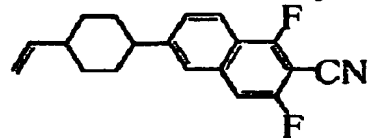
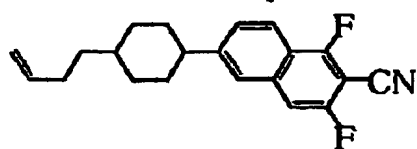

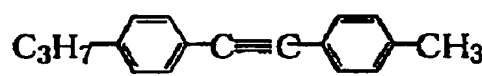
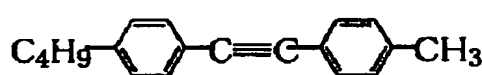
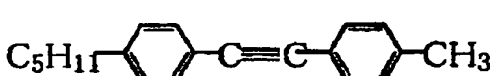
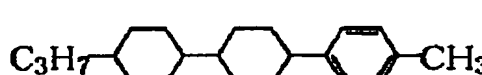
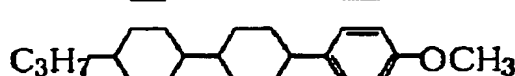
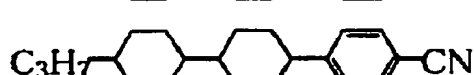
好ましい組成物例  
ネマチック液晶組成物 (1-21)

(1-2101)	$C_2H_5$ -  -  -CN	12重量%
(1-2102)	$C_3H_7$ -  -  -CN	12重量%
(1-2103)	$C_3H_7$ -  -  -OC $_2$ H $_5$	9重量%
(1-2104)	$C_5H_{11}$ -  -COO-  -F	8重量%
(1-2105)	$C_5H_{11}$ -  -COO-  -F	9重量%
(1-2106)	$C_3H_7$ -  -COO-  -OC $_2$ H $_5$	5重量%
(1-2107)	$C_3H_7$ -  -COO-  -OC $_4$ H $_9$	5重量%
(1-2108)	$C_4H_9$ -  -COO-  -OC $_4$ H $_9$	5重量%
(1-2109)	$C_5H_{11}$ -  -COO-  -OC $_2$ H $_5$	5重量%
(1-2110)	$C_3H_7$ -  -  -OC $_2$ H $_5$	6重量%
(1-2111)	$C_3H_7$ -  -  -OC $_3$ H $_7$	5重量%
(1-2112)	$C_2H_5$ -  -  -C $_4$ H $_9$	4重量%
(1-2113)	$C_3H_7$ -  -  -C $_4$ H $_9$	5重量%
(1-2114)	$C_2H_5$ -  -  -C $_6$ H $_{13}$	5重量%
(1-2115)	$C_3H_7$ -  -  -C $_4$ H $_9$	5重量%

【0183】

【化64】

好ましい組成物例  
ネマチック液晶組成物 (1-22)

(1-2201)		15重量%
(1-2202)		10重量%
(1-2203)		10重量%
(1-2204)		10重量%
(1-2205)		7重量%
(1-2206)		14重量%
(1-2207)		13重量%
(1-2208)		5重量%
(1-2209)		4重量%
(1-2210)		4重量%
(1-2211)		8重量%

特平 10-266993

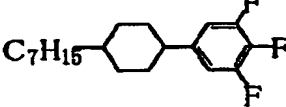
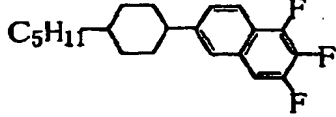
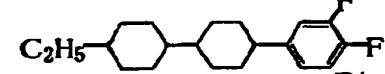
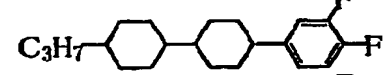
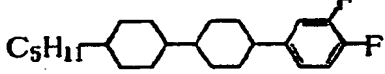
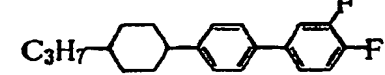
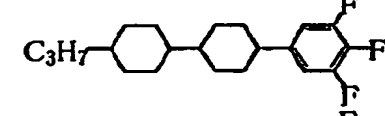
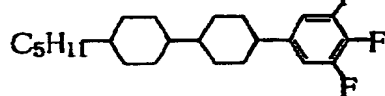
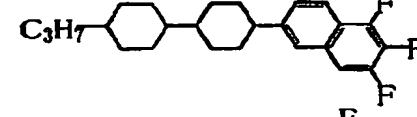
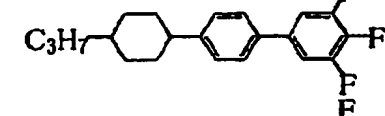
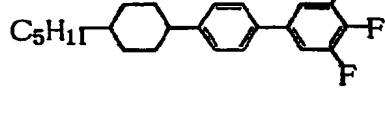
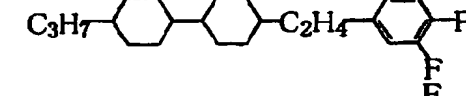
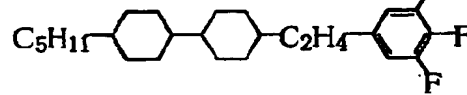
【0184】

特平10-266993

【化65】



好ましい組成物例  
ネマチック液晶組成物 (1-23)

(1-2301)		3重量%
(1-2302)		11重量%
(1-2303)		6重量%
(1-2304)		7重量%
(1-2305)		7重量%
(1-2306)		4重量%
(1-2307)		9重量%
(1-2308)		9重量%
(1-2309)		10重量%
(1-2310)		10重量%
(1-2311)		7重量%
(1-2312)		9重量%
(1-2313)		8重量%

【0185】

【化66】

好ましい組成物例  
ネマチック液晶組成物 (1-24)

(1-2401)	<chem>CCCCCc1ccc(cc1)-c2ccccc2C</chem>	4重量%
(1-2402)	<chem>CCCCCc1ccc(cc1)-c2ccccc2C</chem>	3重量%
(1-2403)	<chem>CCc1ccc(cc1)C(=O)Oc2ccc(cc2)C#N</chem>	3重量%
(1-2404)	<chem>CCc1ccc(cc1)C(=O)Oc2ccc(cc2)c3cc(F)cc(C#N)c3</chem>	3重量%
(1-2405)	<chem>CCCCc1ccc(cc1)C(=O)Oc2ccc(cc2)c3cc(F)cc(C#N)c3</chem>	3重量%
(1-2406)	<chem>CCc1ccc(cc1)C(=O)Oc2ccc(cc2)c3cc(F)cc(C#N)c3</chem>	3重量%
1-2407)	<chem>CCCCc1ccc(cc1)C(=O)Oc2ccc(cc2)c3cc(F)cc(C#N)c3</chem>	4重量%
(1-2408)	<chem>C=CCc1ccc(cc1)-c2ccccc2-c3ccc(F)c(F)c3</chem>	18重量%
(1-2409)	<chem>C=CCc1ccc(cc1)-c2ccccc2-c3ccc(C)cc3</chem>	17重量%
(1-2410)	<chem>C=CCc1ccc(cc1)-c2ccccc2-c3ccc(C)cc3</chem>	17重量%
(1-2411)	<chem>CCCCc1ccc(cc1)-c2ccccc2-c3ccc(OCC=C)cc3</chem>	4重量%
(1-2412)	<chem>CCCCc1ccc(cc1)-c2ccc(cc2)-c3ccc(CCOCC)cc3</chem>	7重量%
(1-2413)	<chem>CCCCCc1ccc(cc1)-c2ccc(cc2)-c3ccc(CCOCC)cc3</chem>	4重量%
(1-2414)	<chem>CCCCc1ccc(cc1)C(=O)Oc2ccc(cc2)C#Cc3ccc(CCOCC)cc3</chem>	5重量%
(1-2415)	<chem>CCCCc1ccc(cc1)-c2ccccc2C(=O)Oc3ccc(cc3)-c4ccccc4C</chem>	5重量%

現在、液晶表示装置は、激しく繰り広げられた価格競争の状態にある。この立場から、液晶材料には、種々の用途に対する表示特性の最適化を如何に簡便にできるかが課題になっており、2種類の液晶材料からなる2ボトルや4種類の液晶材料からなる4ボトルといったシステム化された液晶材料が求められている。その代表的な特性は、しきい値電圧、複屈折率、ネマチック相－等方性液体相転移

温度がある。例えば、他の特性が同等で、しきい値電圧のみがより高い液晶材料とより低い液晶材料からなる2ボトルシステムを用いれば、使用する駆動電子部品等に制約されることなく、2種類の液晶材料を適時調合することで、より速くより安価に対応可能となる。本発明はこの観点にも応えられる有用なものであり、ネマチック液晶組成物(1-01)～(1-24)及び一部置き換えて得られた組成物どうしを適時混合して使用することができる。これらの使用方法は、当然ながら後述する実施例を含めて行うことができる。

【0186】

【実施例】

以下、実施例を挙げて本発明を更に詳述するが、本発明はこれらの実施例に限定されるものではない。また、以下の実施例の組成物における「%」は『重量%』を意味する。

【0187】

実施例中、液晶組成物の物性特性及びTN-LCDを構成した液晶表示装置の表示特性は以下の通りである。

$T_{N-I}$ ：ネマチック相－等方性液体相転移温度（℃）

$T_{\rightarrow N}$ ：固体相又はスメクチック相－ネマチック相転移温度（℃）

$V_{th}$ ：セル厚6  $\mu m$ のTN-LCDを構成した時の20℃におけるしきい値電圧（V）

$\gamma$ ：20℃における急峻性、飽和電圧（ $V_{sat}$ ）と $V_{th}$ の比

$\Delta \epsilon$ ：20℃における誘電異方性

$\Delta n$ ：20℃における複屈折率

$\tau_r = \tau_d$ ：20℃における、0Vから所定の電圧を印加した場合の立ち上がり時間を $\tau_r$ とし、所定の電圧を印加した後電圧無印加にした場合の立ち下がり時間を $\tau_d$ としたとき、両者が等しくなる時間

$\eta$ ：20℃における粘度（c. p.）

STN-LCD表示特性を示す液晶表示装置は以下のようにして作製した。液晶組成物にカイラル物質「S-811」（メルク社製）を添加して混合液晶を調製する。対向する平面透明電極上に「サンエバー610」（日産化学社製）の有機膜をラビングして配向膜を形成し、ツイスト角240度のSTN-LCD表示用セルを作製する。

上記の混合液晶をこのセルに注入して液晶表示装置を構成する。尚、カイラル物質はカイラル物質の添加による混合液晶の固有らせんピッチ  $P$  と表示用セルのセル厚  $d$  が、 $\Delta n \cdot d = 0.85$ 、 $d/P = 0.50$  となるように添加した。この表示特性として、しきい値電圧、急峻性、駆動電圧の温度依存性、応答速度を測定した。

## 【0188】

ツイスト角240度のSTN-LCD表示特性

$V_{th}$ : 20℃におけるしきい値電圧 (V)

$\gamma$ : 20℃における急峻性、飽和電圧 ( $V_{sat}$ ) と  $V_{th}$  の比

$\tau_r = \tau_d$ : 1/240duty駆動における応答時間

$\Delta(V_{th}) / \Delta(T)$ : 駆動電圧の温度依存性

組成物の化学的安定性は、液晶組成物 2 g をアンプル管に入れ、真空脱気後窒素置換の処理をして封入し、150℃、1時間の加熱促進テストを行った。この液晶組成物のテスト前の比抵抗、加熱促進テスト後の比抵抗、テスト前の電圧保持率、加熱促進テスト後電圧保持率を測定した。

## 【0189】

また、実施例で示された化合物の1種あるいは複数の化合物を、所存の目的や用途に対して一般式(I-1)～(III-4)で表される化合物と置き換えて使用することができ、この様な例を示す場合、具体的な化合物を以下の例の形式で表す。

## 【0190】

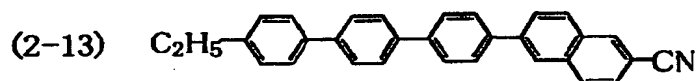
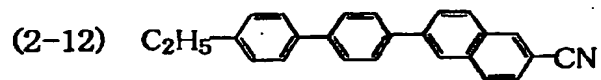
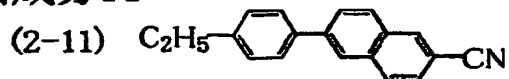
特平 1 0 - 2 6 6 9 9 3

【化 6 7】

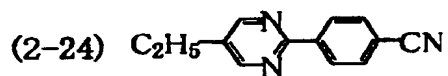
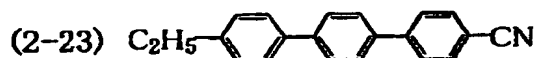
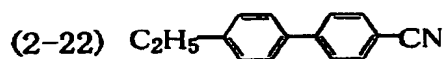
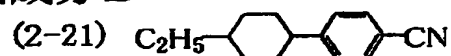
特平 1 0 - 2 6 6 9 9 3

化合物の定義

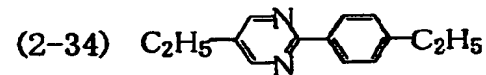
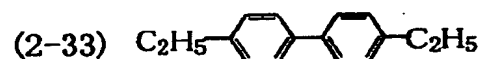
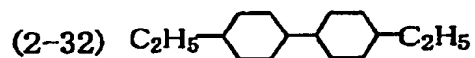
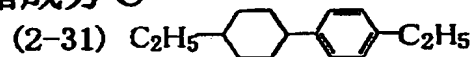
液晶成分 A



液晶成分 B



液晶成分 C



液晶成分 A

一般式 (I-1) の例

化合物 (2-11) : 側鎖基 (I-4a) 基本構造 (I-1a) 極性基 (I-5a)

一般式 (I-2) の例

化合物 (2-12) : 側鎖基 (I-4a) 基本構造 (I-2a) 極性基 (I-5a)

一般式 (I-3) の例

化合物(2-13) : 側鎖基(I-4a)基本構造(I-3a)極性基(I-5a)

液晶成分B

一般式(II-1)の例

化合物(2-21) : 側鎖基(II-5a)基本構造(II-1a)極性基(II-6a)

一般式(II-2)の例

化合物(2-22) : 側鎖基(II-5a)基本構造(II-2a)極性基(II-6a)

一般式(II-3)の例

化合物(2-23) : 側鎖基(II-5a)基本構造(II-3a)極性基(II-6a)

一般式(II-4)の例

化合物(2-24) : 側鎖基(II-5a)基本構造(II-4a)極性基(II-6a)

液晶成分C

一般式(III-1)の例

化合物(2-31) : 側鎖基(III-5b)基本構造(III-1a)側鎖基(III-5b)

一般式(III-2)の例

化合物(2-32) : 側鎖基(III-5b)基本構造(III-2a)側鎖基(III-5b)

一般式(III-3)の例

化合物(2-33) : 側鎖基(III-5b)基本構造(III-3a)側鎖基(III-5b)

一般式(III-4)の例

化合物(2-34) : 側鎖基(III-5b)基本構造(III-4a)側鎖基(III-5b)

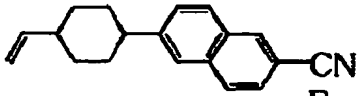
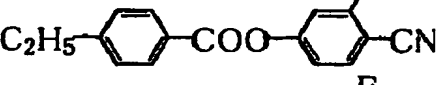
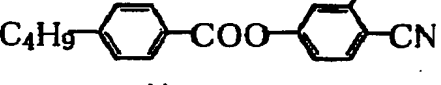
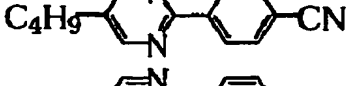
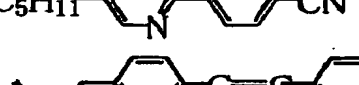
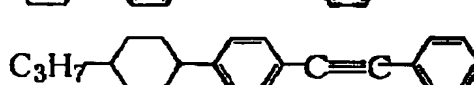
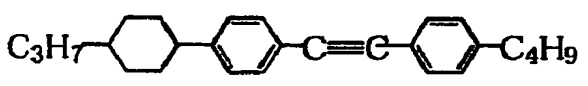
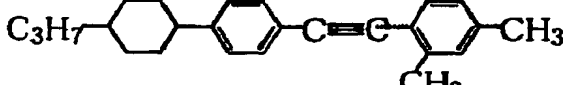
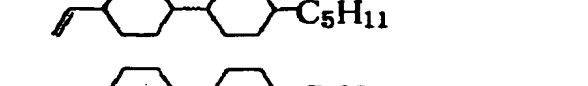
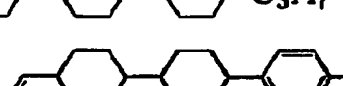
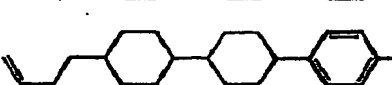

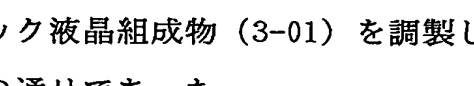
(実施例 1)

【 0 1 9 1 】

【 化 6 8 】



ネマチック液晶組成物 (3-01)

(3-0101)		7重量%
(3-0102)		4重量%
(3-0103)		6重量%
(3-0104)		3重量%
(3-0105)		3重量%
(3-0106)		11重量%
(3-0107)		8重量%
(3-0108)		8重量%
(3-0109)		11重量%
(3-0110)		10重量%
(3-0111)		10重量%
(3-0112)		11重量%
(3-0113)		8重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-01) を調製し、この組成物の諸特性を測定した。結果は以下の通りであった。

$T_{N-I}$ : 104.1 °C

$T_{\rightarrow N}$ : -50. °C

$V_{th}$ : 2.06 V

$\gamma$ : 1.15

$\Delta \varepsilon : 8.3$ 
 $\Delta n : 0.168$ 
 $\eta : 17.9 \text{ c.p.}$ 

このネマチック液晶組成物にカイラル物質「S-811」（メルク社製）を添加して混合液晶を調製した。一方、対向する平面透明電極上に「サンエバー610」（日産化学社製）の有機膜をラビングして配向膜を形成し、ツイスト角240度のSTN-LCD表示用セルを作製した。上記の混合液晶をこのセルに注入して液晶表示装置を構成し、表示特性を測定した。その結果、駆動電圧の温度依存性が2.0 mV/℃と小さく、高時分割特性に優れたSTN-LCD表示特性を示す液晶表示装置が得られた。なお、カイラル物質はカイラル物質の添加による混合液晶の固有らせんピッチPと表示用セルのセル厚dが、 $\Delta n \cdot d = 0.85$ 、 $d/P = 0.50$ となるように添加した。以下STN-LCDは同様にして作製した。

## 【0192】

ツイスト角240度のSTN-LCD表示特性

 $V_{th} : 2.31 \text{ V}$ 
 $\gamma : 1.030$ 
 $\Delta(V_{th})/\Delta(T) : 2.0 \text{ mV/}^\circ\text{C} \text{ (} T = 5 \sim 40^\circ\text{C} \text{ の範囲)}$ 
 $\tau_r = \tau_d : 103. \text{ msec (1/240duty駆動)}$ 

実施例1のネマチック液晶組成物の化合物(3-0101)を、化合物：側鎖基(I-4a)基本構造(I-1j)極性基(I-5a)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-01-01)を調整した。

## 【0193】

実施例1のネマチック液晶組成物の化合物(3-0101)を、化合物：側鎖基(I-4c)基本構造(I-1j)極性基(I-5a)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-01-02)を調整した。

## 【0194】

実施例1のネマチック液晶組成物の化合物(3-0101)を、化合物：側鎖基(I-4h)基本構造(I-1j)極性基(I-5a)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-01-03)を調整した。

【 0 1 9 5 】

実施例 1 のネマチック液晶組成物の化合物(3-0101)を、化合物：側鎖基(I-4s)基本構造(I-1j)極性基(I-5a)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-01-04)を調整した。

【 0 1 9 6 】

実施例 1 のネマチック液晶組成物の化合物(3-0101)を、化合物：側鎖基(I-4ai)基本構造(I-1j)極性基(I-5a)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-01-05)を調整した。

【 0 1 9 7 】

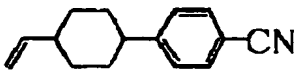
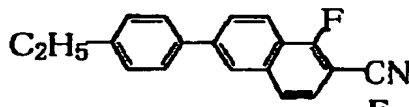
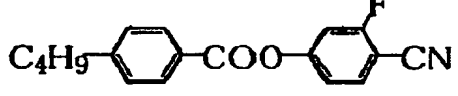
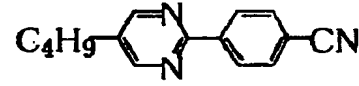
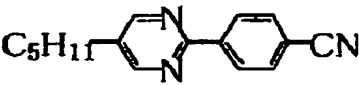
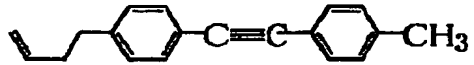
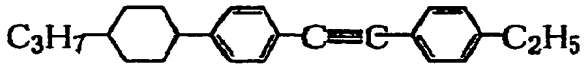
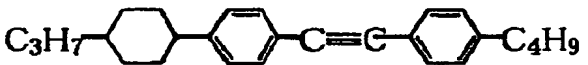
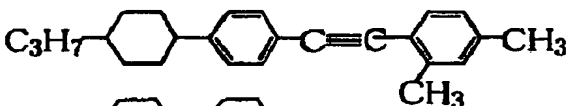
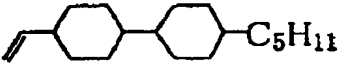
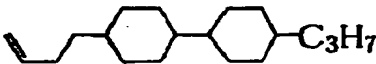
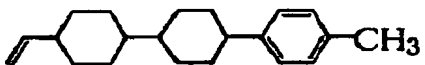

これらのネマチック液晶組成物(3-01-01)～(3-01-05)を用いて、実施例 1 と同様にして表示特性を測定したところ、実施例 1 同様に良好な結果が得られた。

(実施例 2)

【 0 1 9 8 】

【 化 6 9 】

ネマチック液晶組成物 (3-02)

(3-0201)		7重量%
(3-0202)		4重量%
(3-0203)		6重量%
(3-0204)		3重量%
(3-0205)		3重量%
(3-0206)		11重量%
(3-0207)		8重量%
(3-0208)		8重量%
(3-0209)		11重量%
(3-0210)		10重量%
(3-0211)		10重量%
(3-0212)		11重量%
(3-0213)		8重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-02) を調製し、この組成物の諸特性を測定した。結果は以下の通りであった。

$T_{N-I}$  : 104.9 °C

$T_{\rightarrow N}$  : -50. °C

$V_{th}$  : 2.09 V

$\gamma$  : 1.15

$\Delta \varepsilon : 7.6$

$\Delta n : 0.168$

$\eta : 17.0 \text{ c.p.}$

ツイスト角240度のSTN-LCD表示特性

$V_{th} : 2.31 \text{ V}$

$\gamma : 1.029$

$\Delta(V_{th}) / \Delta(T) : 2.0 \text{ mV} / ^\circ\text{C} \text{ (} T = 5 \sim 40^\circ\text{C} \text{ の範囲)}$

$\tau_r = \tau_d : 101. \text{ msec (1/240duty駆動)}$

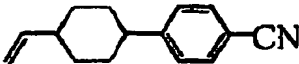
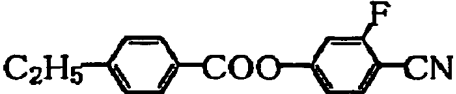
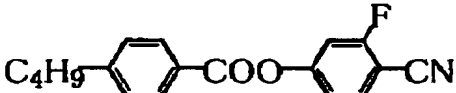
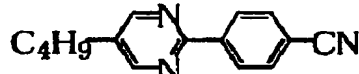
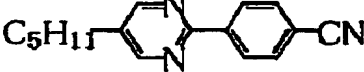
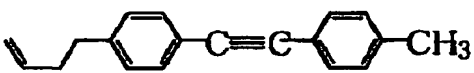
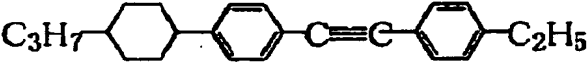
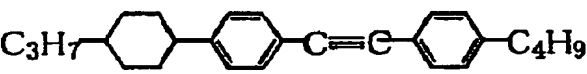
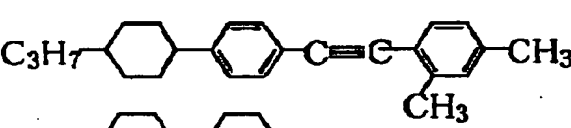
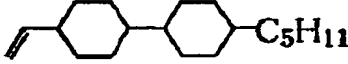
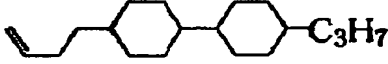
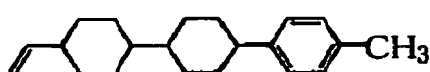
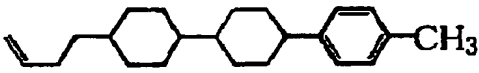
(比較例1)

本発明の優位性を示すために、上記ネマチック液晶組成物(3-02)に含有する液晶成分Aを他の化合物に置き換えた混合液晶(b-01)を作製した。具体的には、(3-0202)の化合物を、駆動電圧の低減及びその温度依存性の改良に優れた効果を有する式(b-0102)の化合物に置き換えたものである。

【0199】

【化70】

比較液晶 (b-01)

(b-0101)		7重量%
(b-0102)		4重量%
(b-0103)		6重量%
(b-0104)		3重量%
(b-0105)		3重量%
(b-0106)		11重量%
(b-0107)		8重量%
(b-0108)		8重量%
(b-0109)		11重量%
(b-0110)		10重量%
(b-0111)		10重量%
(b-0112)		11重量%
(b-0113)		8重量%

この組成物を用いて測定した特性の結果は以下の通りであった。

$T_{N-I}$  : 100.7 °C

$T_{\rightarrow N}$  : -50. °C

$V_{th}$  : 2.08 V

$\Delta \epsilon$  : 8.1

$\Delta n$  : 0.165

$\eta$  : 17.7 c.p.

上記ネマチック液晶組成物 (3-02) の場合と同様にして、混合液晶 (b-01) を用いたSTN-LCDを作製した。

【0200】

ツイスト角240度のSTN-LCD表示特性

$V_{th}$  : 2.31 V

$\gamma$  : 1.039

$\Delta(V_{th}) / \Delta(T)$  : 2.8 mV/°C ( $T = 5 \sim 40^\circ\text{C}$  の範囲)

$\tau_r = \tau_d$  : 138. msec (1/240duty駆動)

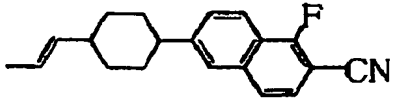
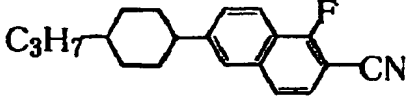
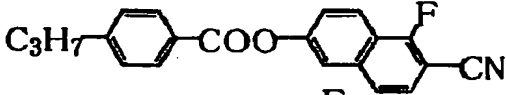
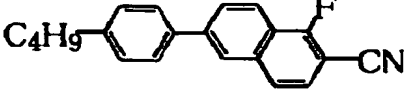
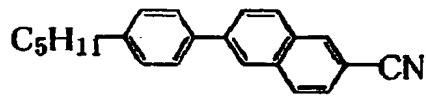
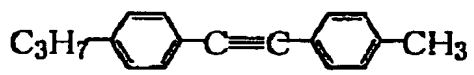
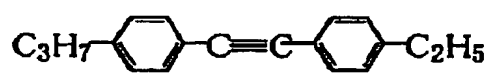
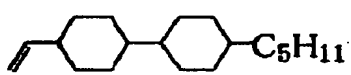
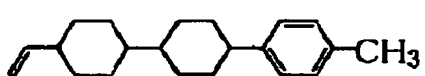
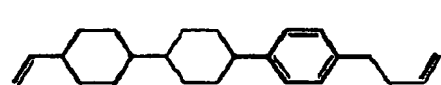
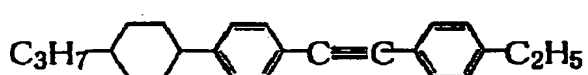
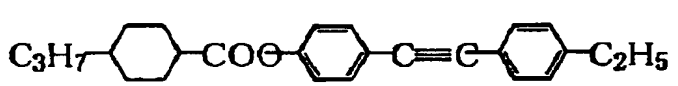
特性を比較すると、本発明の液晶組成物は、4%と少量の液晶成分Aにより、しきい値電圧の温度依存性を約30%低減させていることが明らかとなった。また、応答速度においても約40%低減させていることが明らかとなった。本発明のネマチック液晶組成物は、比較液晶よりより改善した効果が示された。

(実施例3)

【0201】

【化71】

ネマチック液晶組成物 (3-03)

(3-0301)		10重量%
(3-0302)		5重量%
(3-0303)		5重量%
(3-0304)		5重量%
(3-0305)		5重量%
(3-0306)		10重量%
(3-0307)		10重量%
(3-0308)		20重量%
(3-0309)		13重量%
(3-0310)		7重量%
(3-0311)		5重量%
(3-0312)		5重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-03) を調製し、この組成物の諸特性を測定した。結果は以下の通りであった。

$T_{N-I}$  : 101.0 °C

$T_{\rightarrow N}$  : -70. °C

$V_{th}$  : 1.93 V

$\gamma$  : 1.16

$\Delta \epsilon$  : 8.5



$\Delta n$  : 0.179

ツイスト角240度のSTN-LCD表示特性

$V_{th}$  : 2.12 V

$\gamma$  : 1.028

$\Delta(V_{th})/\Delta(T)$  : 2.1 mV/°C (T = 5 ~ 40°Cの範囲)

実施例3のネマチック液晶組成物の化合物(3-0303)を、化合物：側鎖基(I-4b)基本構造(I-1e)極性基(I-5b)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-03-01)を調整した。

#### 【0202】

実施例3のネマチック液晶組成物の化合物(3-0303)を、化合物：側鎖基(I-4b)基本構造(I-1f)極性基(I-5b)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-03-02)を調整した。

#### 【0203】

実施例3のネマチック液晶組成物の化合物(3-0303)を、化合物：側鎖基(I-4b)基本構造(I-1d)極性基(I-5c)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-0-03)を調整した。

#### 【0204】

実施例3のネマチック液晶組成物の化合物(3-0303)を、化合物：側鎖基(I-4b)基本構造(I-1d)極性基(I-5d)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-03-04)を調整した。

#### 【0205】

実施例3のネマチック液晶組成物の化合物(3-0303)を、化合物：側鎖基(I-4b)基本構造(I-1d)極性基(I-5e)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-03-05)を調整した。

#### 【0206】

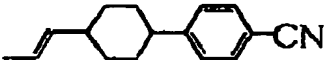
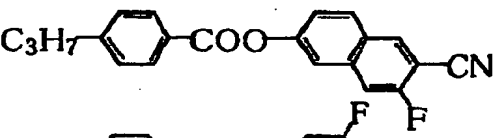

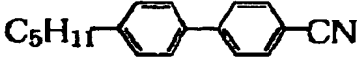
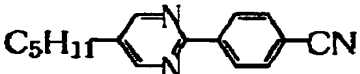
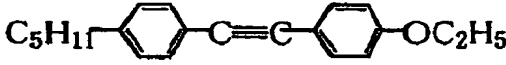
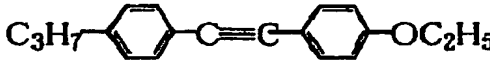
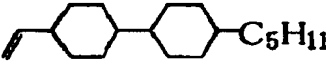
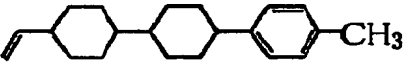

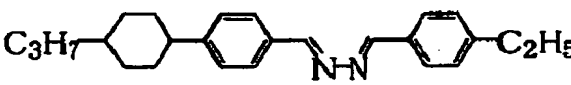
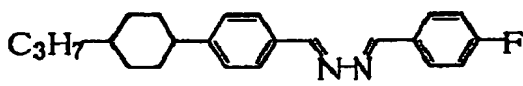
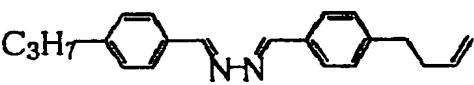
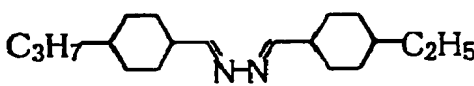
これらのネマチック液晶組成物(3-03-01)~(3-03-05)を用いて、実施例3と同様にして表示特性を測定したところ、実施例3同様に良好な結果が得られた。

(実施例4)

#### 【0207】

【化 7 2】

ネマチック液晶組成物 (3-04)

(3-0401)		10重量%
(3-0402)		5重量%
(3-0403)		5重量%
(3-0404)		5重量%
(3-0405)		5重量%
(3-0406)		5重量%
(3-0407)		10重量%
(3-0408)		15重量%
(3-0409)		13重量%
(3-0410)		7重量%
(3-0411)		5重量%
(3-0412)		5重量%
(3-0413)		5重量%
(3-0414)		5重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-04) を調製し、この組成物の諸特性を測定した。結果は以下の通りであった。

$T_{N-I}$  : 90.8 °C

$T \rightarrow N$  : -70. °C

$V_{th}$ : 2.10 V

$\gamma$ : 1.15

$\Delta\epsilon$ : 7.3

$\Delta n$ : 0.167

ツイスト角240度のSTN-LCD表示特性

$V_{th}$ : 2.35 V

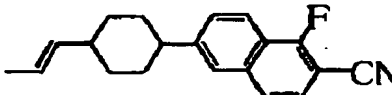
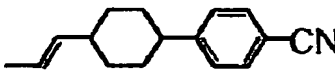
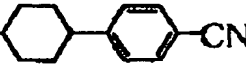
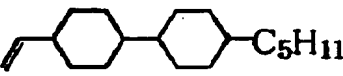
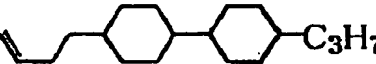
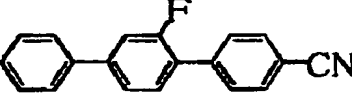
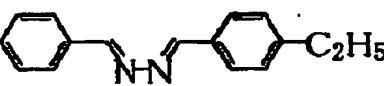
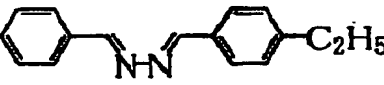

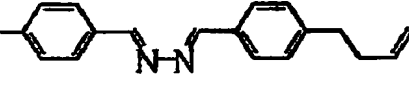
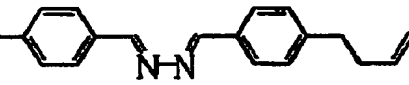
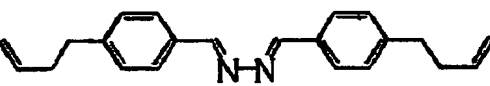
$\gamma$ : 1.028

(実施例5)

【0208】

【化73】

ネマチック液晶組成物 (3-05)

(3-0501)		12重量%
(3-0502)		11重量%
(3-0503)	$\text{CH}_3\text{OC}_3\text{H}_7$ 	7重量%
(3-0504)		18重量%
(3-0505)		18重量%
(3-0506)	$\text{C}_3\text{H}_7$ 	7重量%
(3-0507)	$\text{C}_2\text{H}_5$ 	6重量%
(3-0508)	$\text{C}_3\text{H}_7$ 	3重量%
(3-0509)	$\text{C}_3\text{H}_7$ 	6重量%
(3-0510)	$\text{C}_2\text{H}_5$ 	3重量%
(3-0511)	$\text{C}_3\text{H}_7$ 	3重量%
(3-0512)		6重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-05) を調製し、この組成物の諸特性を測定した。結果は以下の通りであった。

$T_{N-I}$  : 89.8 °C

$T_{\rightarrow N}$  : -31. °C

$V_{th}$  : 1.80 V

$\gamma$  : 1.13

$\Delta \epsilon$  : 7.9

$\Delta n : 0.176$

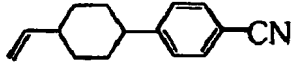
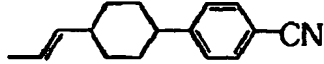
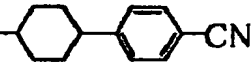
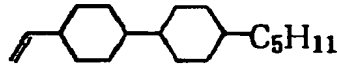
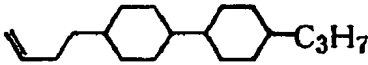
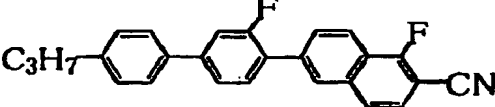






このネマチック液晶組成物は、文献『高速液晶技術』（63頁、(株)シーエムシー社出版）中に示されたTN-LCD液晶表示の光学的急峻性の限界値である1.12に近い値を示しており、従って、この液晶組成物は高時分割駆動に有用であることが理解できる。

（実施例6）

【0209】

【化74】

ネマチック液晶組成物 (3-06)

(3-0601)		12重量%
(3-0602)		11重量%
(3-0603)	$\text{CH}_3\text{OC}_3\text{H}_6$ - 	7重量%
(3-0604)		18重量%
(3-0605)		18重量%
(3-0606)		7重量%
(3-0607)		6重量%
(3-0608)		3重量%
(3-0609)		6重量%
(3-0610)		3重量%
(3-0611)		3重量%
(3-0612)		6重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-06) を調製し、この組成物の諸特性を測定した。結果は以下の通りであった。

$T_{N-I}$  : 89.1 °C

$T_{\rightarrow N}$  : -32. °C

$V_{th}$  : 1.87 V

$\gamma$  : 1.15

$\Delta \epsilon$  : 7.4

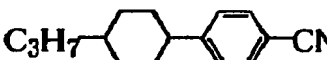
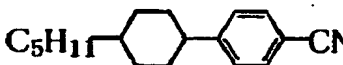
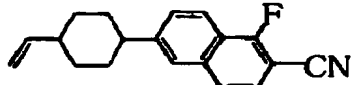
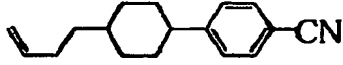
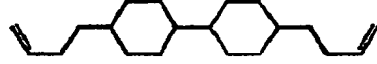
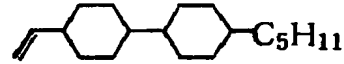
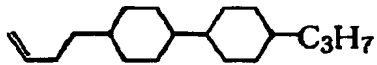
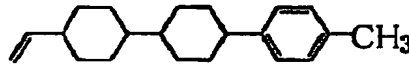
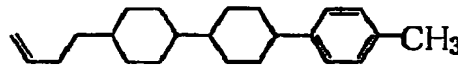
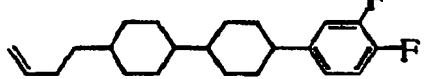
$\Delta n$  : 0.181

(実施例 7)

【0210】

【化 75】

ネマチック液晶組成物 (3-07)

(3-0701)		7重量%
(3-0702)		8重量%
(3-0703)		10重量%
(3-0704)		10重量%
(3-0705)		20重量%
(3-0706)		10重量%
(3-0707)		10重量%
(3-0708)		10重量%
(3-0709)		5重量%
(3-0710)		10重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-07) を調製し、この組成物の諸特性を測定した。結果は以下の通りであった。

$T_{N-I}$  : 77.3 °C

$T_{\rightarrow N}$  : -40. °C

$V_{th}$  : 1.78 V

$\gamma$  : 1.13

$\Delta \epsilon$  : 6.5

$\Delta n : 0.090$

$\tau_r = \tau_d : 16.1 \text{ msec}$

$\eta : 14.9 \text{ c.p.}$

このネマチック液晶組成物は、文献『高速液晶技術』（63頁、(株)シーエムシー社出版）中に示されたTN-LCD液晶表示の光学的急峻性の限界値である1.12に近い値を示しており、従って、この液晶組成物は高時分割駆動に有用であることが理解できる。

（実施例8）

【0211】

【化76】



ネマチック液晶組成物 (3-08)

(3-0801)		7重量%
(3-0802)		7重量%
(3-0803)		13重量%
(3-0804)		7重量%
(3-0805)		3重量%
(3-0806)		15重量%
(3-0807)		10重量%
(3-0808)		10重量%
(3-0809)		14重量%
(3-0810)		12重量%
(3-0811)		2重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-08) を調製し、この組成物の諸特性を測定した。結果は以下の通りであった。

$T_{N-I}$ : 76.2 °C

$T_{\rightarrow N}$ : -31. °C

$V_{th}$ : 2.20 V

$\Delta \epsilon$ : 4.4

$\Delta n$ : 0.092

$\tau_r = \tau_d$ : 14.6 msec

$\eta$  : 1 1 . 3    c . p .

(実施例 9)

【 0 2 1 2 】

【 化 7 7 】

ネマチック液晶組成物 (3-09)

(3-0901)		10重量%
(3-0902)		7重量%
(3-0903)		15重量%
(3-0904)		15重量%
(3-0905)		5重量%
(3-0906)		5重量%
(3-0907)		5重量%
(3-0908)		5重量%
(3-0909)		5重量%
(3-0910)		5重量%
(3-0911)		5重量%
(3-0912)		5重量%
(3-0913)		5重量%
(3-0914)		5重量%
(3-0915)		3重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-09) を調製し、この組成物の諸特性を測定した。結果は以下の通りであった。

$T_{N-I}$ : 66.6 °C

$T_{\rightarrow N}$ : -30. °C

$V_{th}$ : 1.42 V

$\Delta \varepsilon$ : 9.4

$\Delta n$ : 0.097

実施例 9 のネマチック液晶組成物の化合物(3-0906)を、化合物：側鎖基(I-4b)基本構造(I-2at)極性基(I-5k)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-09-01)を調整した。

【0213】

実施例 9 のネマチック液晶組成物の化合物(3-0906)を、化合物：側鎖基(I-4b)基本構造(I-2at)極性基(I-5l)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-03902)を調整した。

【0214】

実施例 9 のネマチック液晶組成物の化合物(3-0906)を、化合物：側鎖基(I-4b)基本構造(I-2at)極性基(I-5m)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-09-03)を調整した。

【0215】

実施例 9 のネマチック液晶組成物の化合物(3-0906)を、化合物：側鎖基(I-4b)基本構造(I-2at)極性基(I-5n)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-09-04)を調整した。

【0216】

実施例 9 のネマチック液晶組成物の化合物(3-0906)を、化合物：側鎖基(I-4b)基本構造(I-2at)極性基(I-5o)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-09-05)を調整した。

【0217】

実施例 9 のネマチック液晶組成物の化合物(3-0906)を、化合物：側鎖基(I-4b)基本構造(I-2at)極性基(I-5p)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-09-06)を調整した。

【0218】

実施例 9 のネマチック液晶組成物の化合物(3-0906)を、化合物：側鎖基(I-4b)基本構造(I-2at)極性基(I-5ag)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-03-07)を調整した。

## 【0219】

実施例 9 のネマチック液晶組成物の化合物(3-0906)を、化合物：側鎖基(I-4b)基本構造(I-2at)極性基(I-5ah)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-09-08)を調整した。

## 【0220】

実施例 9 のネマチック液晶組成物の化合物(3-0906)を、化合物：側鎖基(I-4b)基本構造(I-2at)極性基(I-5ai)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-09-09)を調整した。

## 【0221】

実施例 9 のネマチック液晶組成物の化合物(3-0906)を、化合物：側鎖基(I-4b)基本構造(I-2at)極性基(I-5aj)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-09-10)を調整した。

## 【0222】

実施例 9 のネマチック液晶組成物の化合物(3-0906)を、化合物：側鎖基(I-4b)基本構造(I-2at)極性基(I-5ak)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-09-11)を調整した。

## 【0223】

実施例 9 のネマチック液晶組成物の化合物(3-0906)を、化合物：側鎖基(I-4b)基本構造(I-2at)極性基(I-5al)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-09-12)を調整した。

## 【0224】

実施例 9 のネマチック液晶組成物の化合物(3-0906)を、化合物：側鎖基(I-4b)基本構造(I-2at)極性基(I-5am)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-09-13)を調整した。

## 【0225】

実施例 9 のネマチック液晶組成物の化合物(3-0906)を、化合物：側鎖基(I-4b)

基本構造(I-2at)極性基(I-5an)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-09-14)を調整した。

## 【0226】

実施例9のネマチック液晶組成物の化合物(3-0906)を、化合物：側鎖基(I-4b)基本構造(I-2at)極性基(I-5ao)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-09-15)を調整した。

## 【0227】

実施例9のネマチック液晶組成物の化合物(3-0906)を、化合物：側鎖基(I-4b)基本構造(I-2at)極性基(I-5ap)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-09-16)を調整した。

## 【0228】

実施例9のネマチック液晶組成物の化合物(3-0906)を、化合物：側鎖基(I-4b)基本構造(I-2at)極性基(I-5aq)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-09-17)を調整した。

## 【0229】

実施例9のネマチック液晶組成物の化合物(3-0906)を、化合物：側鎖基(I-4b)基本構造(I-2at)極性基(I-5ar)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-09-18)を調整した。

## 【0230】

実施例9のネマチック液晶組成物の化合物(3-0906)を、化合物：側鎖基(I-4b)基本構造(I-2at)極性基(I-5as)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-09-19)を調整した。

## 【0231】

実施例9のネマチック液晶組成物の化合物(3-0906)を、化合物：側鎖基(I-4b)基本構造(I-2at)極性基(I-5at)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-09-20)を調整した。

## 【0232】

実施例9のネマチック液晶組成物の化合物(3-0906)を、化合物：側鎖基(I-4b)基本構造(I-2at)極性基(I-5au)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-0-21)を調整

した。

【0233】

実施例 9 のネマチック液晶組成物の化合物(3-0906)を、化合物：側鎖基(I-4b)基本構造(I-2at)極性基(I-5av)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-09-22)を調整した。

【0234】

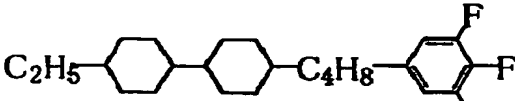
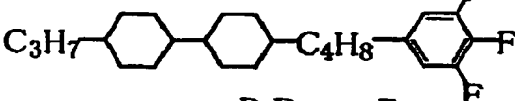
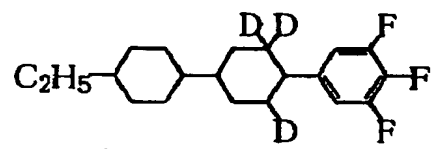
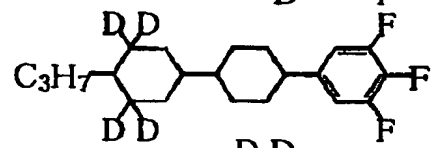
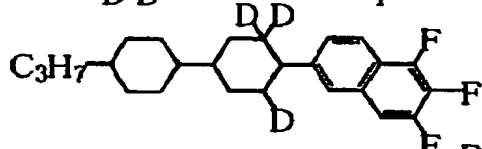
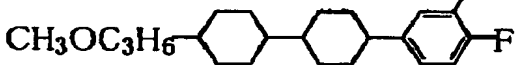
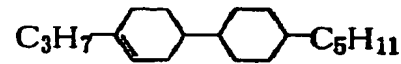
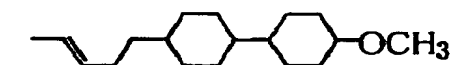

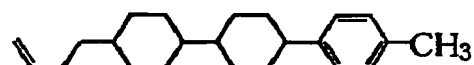
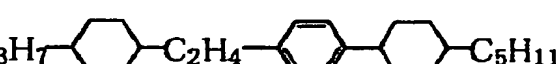
これらのネマチック液晶組成物(3-09-01)～(3-09-22)を用いて、実施例 9 と同様にして表示特性を測定したところ、実施例 9 同様に良好な結果が得られた。

(実施例 10)

【0235】

【化 78】

ネマチック液晶組成物 (3-10)

(3-1001)		10重量%
(3-1002)		10重量%
(3-1003)		5重量%
(3-1004)		5重量%
(3-1005)		10重量%
(3-1006)		10重量%
(3-1007)		10重量%
(3-1008)		10重量%
(3-1009)		10重量%
(3-1010)		10重量%
(3-1011)		10重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-10) を調製し、この組成物の諸特性を測定した。結果は以下の通りであった。

$T_{N-I}$ : 103.7 °C

$T_{\rightarrow N}$ : -70. °C

$V_{th}$ : 2.66 V

$\gamma$ : 1.16



$\Delta \varepsilon : 4.1$

$\Delta n : 0.079$

テスト前の比抵抗 :  $1.1 \times 10^{13} \Omega \cdot \text{cm}$

加熱促進テスト後の比抵抗 :  $7.3 \times 10^{12} \Omega \cdot \text{cm}$

テスト前の電圧保持率 : 99.0%

加熱促進テスト後電圧保持率 : 98.8%

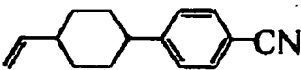
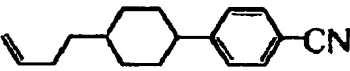
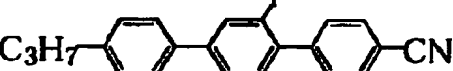
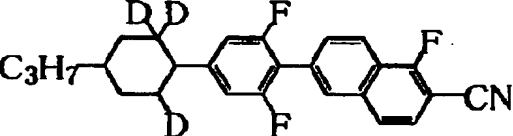
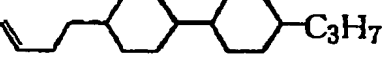
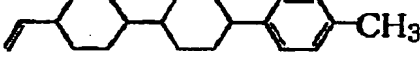
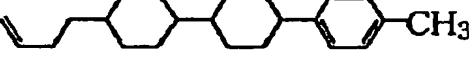
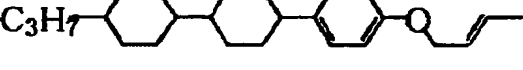
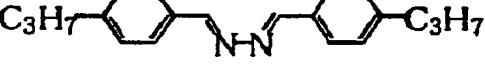
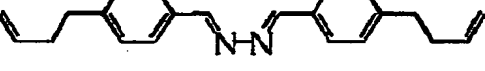
このネマチック液晶組成物は加熱促進テスト後の比抵抗や電圧保持率が高いことから、熱に安定であることが理解できる。また、この組成物を基本的な構成材料とする新たな本発明のネマチック液晶組成物を作製し、これを用いたアクティブ・マトリクス液晶表示装置を作製したところ、漏れ電流が小さくフリッカの発生しない優れたものであることが確認できた。

(実施例 11)

【0236】

【化79】

ネマチック液晶組成物 (3-11)

(3-1101)		12重量%
(3-1102)		10重量%
(3-1103)		9重量%
(3-1104)		5重量%
(3-1105)		19重量%
(3-1106)		4重量%
(3-1107)		13重量%
(3-1108)		4重量%
(3-1109)		12重量%
(3-1110)		12重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-11) を調製し、この組成物の諸特性を測定した。結果は以下の通りであった。

$T_{N-I}$ : 110.4 °C

$T_{\rightarrow N}$ : -40. °C

$V_{th}$ : 2.17 V

$\Delta \epsilon$ : 8.5

$\Delta n$ : 0.184

ツイスト角240度のSTN-LCD表示特性

$V_{th}$ : 2.39 V

$\gamma$ : 1.027

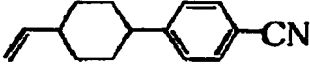
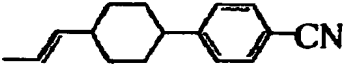
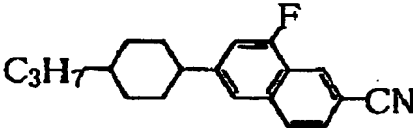
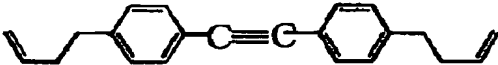
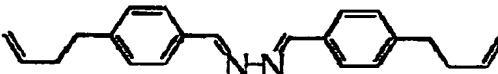
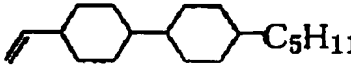
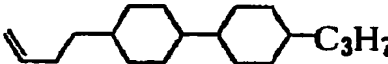
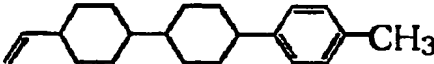

$\Delta(V_{th}) / \Delta(T) : 2.6 \text{ mV} / ^\circ\text{C}$  ( $T = 5 \sim 40^\circ\text{C}$  の範囲)

(実施例 12)

【0237】

【化80】

ネマチック液晶組成物 (3-12)

(3-1201)		5重量%
(3-1202)		12重量%
(3-1203)		10重量%
(3-1204)		12重量%
(3-1205)		10重量%
(3-1206)		20重量%
(3-1207)		8重量%
(3-1208)		11重量%
(3-1209)		12重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-12) を調製し、この組成物の諸特性を測定した。結果は以下の通りであった。

$T_{N-I} : 87.5 \text{ } ^\circ\text{C}$

$T_{\rightarrow N} : -35. \text{ } ^\circ\text{C}$

$V_{th} : 2.01 \text{ V}$

$\Delta \epsilon : 5.1$

$\Delta n : 0.154$

ツイスト角240度のSTN-LCD表示特性

$V_{th}$ : 2.25 V

$\gamma$ : 1.028

$\tau_r = \tau_d$ : 98. msec (1/240duty駆動)

(実施例 13)

【0238】

【化 81】

## ネマチック液晶組成物 (3-13)

(3-1301)	<chem>CCc1ccc(cc1)C(=O)Oc2ccc(cc2)C#N</chem>	8重量%
(3-1302)	<chem>CCCCc1ccc(cc1)C(=O)Oc2ccc(cc2)C#N</chem>	5重量%
(3-1303)	<chem>CCCCCc1ccc(cc1)C(=O)Oc2ccc(cc2)C#N</chem>	12重量%
(3-1304)	<chem>CCOC(C)CCc1ccc(cc1)C(=O)Oc2ccc(cc2)C#N</chem>	2重量%
(3-1305)	<chem>CCCCc1ccc(cc1)C2=CC=CC=C2C#N</chem>	8重量%
(3-1306)	<chem>CCCCc1ccc(cc1)C(=O)Oc2ccc(cc2)OCC</chem>	3重量%
(3-1307)	<chem>CCCCCc1ccc(cc1)C2=CC=CC=C2</chem>	10重量%
(3-1308)	<chem>CCCCCc1ccc(cc1)C2=CC=CC=C2C#N</chem>	21重量%
(3-1309)	<chem>CCCCCc1ccc(cc1)C2=CC=CC=C2C</chem>	9重量%
(3-1310)	<chem>CCCCCc1ccc(cc1)C2=CC=CC=C2C</chem>	11重量%
(3-1311)	<chem>CCCCc1ccc(cc1)C#CC#Cc2ccc(cc2)CC</chem>	7重量%
(3-1312)	<chem>CCCCc1ccc(cc1)C(=O)Oc2ccc(cc2)C#CC#Cc3ccc(cc3)CC</chem>	4重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-13) を調製し、この組成物の諸特性を測定した。結果は以下の通りであった。

$T_{N-I}$  : 98.8 °C

$T_{\rightarrow N}$  : -70. °C

$V_{th}$  : 1.21 V

$\Delta \epsilon$  : 13.2

$\Delta n : 0.135$

ツイスト角240度のSTN-LCD表示特性

$V_{th} : 1.28 \text{ V}$

$\gamma : 1.023$

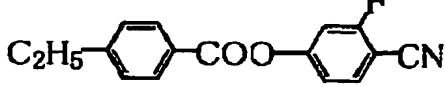
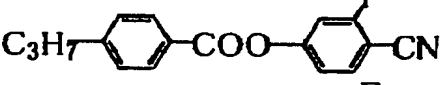
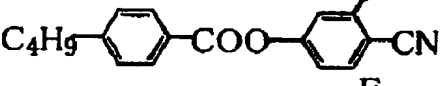
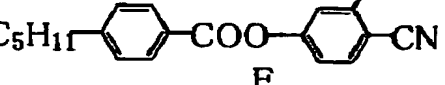
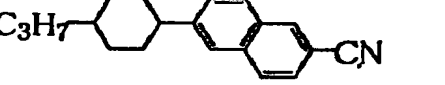
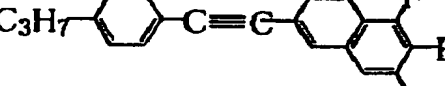
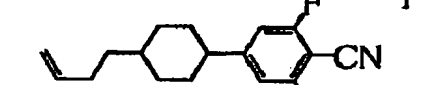
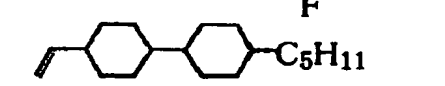
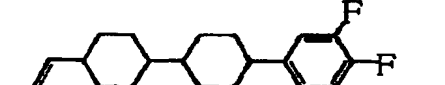
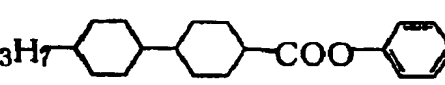
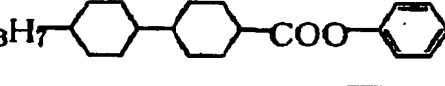
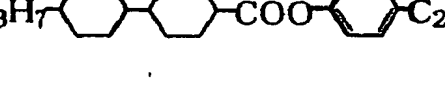
$\Delta(V_{th}) / \Delta(T) : 1.9 \text{ mV} / ^\circ\text{C}$  ( $T = 5 \sim 40^\circ\text{C}$  の範囲)

(実施例 14)

【0239】

【化 82】

ネマチック液晶組成物 (3-14)

(3-1401)		8重量%
(3-1402)		5重量%
(3-1403)		16重量%
(3-1404)		7重量%
(3-1405)		11重量%
(3-1406)		7重量%
(3-1407)		3重量%
(3-1408)		8重量%
(3-1409)		19重量%
(3-1410)		6重量%
(3-1411)		6重量%
(3-1412)		4重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-14) を調製し、この組成物の諸特性を測定した。結果は以下の通りであった。

$T_{N-I}$ : 92.6 °C

$T_{\rightarrow N}$ : -70. °C

$V_{th}$ : 0.88 V

$\Delta \epsilon$ : 19.8

$\Delta n : 0.139$

ツイスト角240度のSTN-LCD表示特性

$V_{th} : 0.93 \text{ V}$

$\gamma : 1.021$

$\Delta(V_{th}) / \Delta(T) : 1.9 \text{ mV} / ^\circ\text{C}$  ( $T = 5 \sim 40^\circ\text{C}$  の範囲)

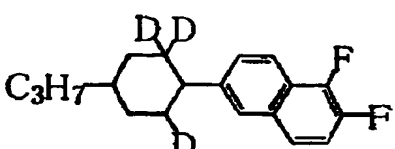
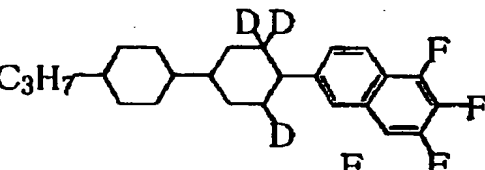
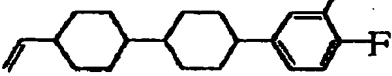
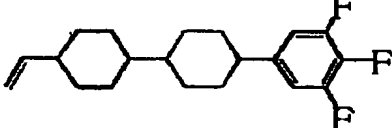
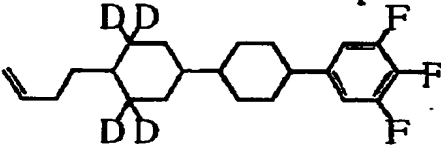
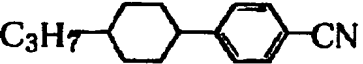
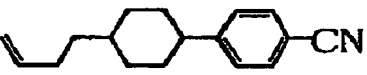
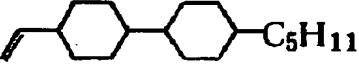
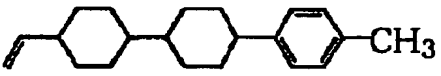
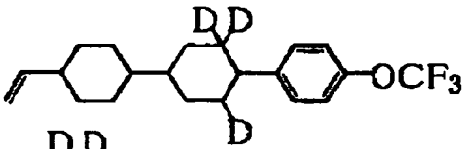
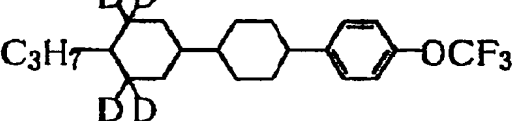
(実施例 15)

【0240】

【化 83】



ネマチック液晶組成物 (3-15)

(3-1501)		5重量%
(3-1502)		5重量%
(3-1503)		10重量%
(3-1504)		10重量%
(3-1505)		10重量%
(3-1506)		10重量%
(3-1507)		10重量%
(3-1508)		10重量%
(3-1509)		10重量%
(3-1510)		10重量%
(3-1511)		10重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-15) を調製し、この組成物の諸特性を測定した。結果は以下の通りであった。

$T_{N-I}$ : 88.4 °C

$T_{\rightarrow N}$ : -49. °C

$V_{th}: 1.81 \text{ V}$

$\Delta \epsilon: 7.4$

$\Delta n: 0.098$

(実施例 16)

【0241】

【化 84】

ネマチック液晶組成物 (3-16)

(3-1601)	<chem>CCCC1CCCCC1c2ccc(C#N)cc2</chem>	10重量%
(3-1602)	<chem>CCOC(CC)CC1CCCCC1c2ccc(C#N)cc2</chem>	10重量%
(3-1603)	<chem>CCOC(CCC)CC1CCCCC1c2ccc(C#N)cc2</chem>	15重量%
(3-1604)	<chem>CCOC(CCCC)CC1CCCCC1c2ccc(C#N)cc2</chem>	15重量%
(3-1605)	<chem>C=CCCC1CCCCC1c2cc(F)c(C#N)cc2</chem>	10重量%
(3-1606)	<chem>C=CCCC1CCCCC1c2cc(F)c(C#N)cc2</chem>	10重量%
(3-1607)	<chem>CCOC(CCC)CC1CCCCC1C2CCCCC2c3ccc(C#N)cc3</chem>	11重量%
(3-1608)	<chem>CCOC(CCC)CC1CCCCC1C2CCCCC2c3cc(F)c(C#N)cc3</chem>	11重量%
(3-1609)	<chem>CCCC1CCCCC1C2CCCCC2c3cc(F)c(C#N)c(F)c3F</chem>	8重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-16) を調製し、この組成物の諸特性を測定した。結果は以下の通りであった。

$T_{N-I}: 76.2 \text{ }^{\circ}\text{C}$

$T_{\rightarrow N} : -35. \quad ^\circ\text{C}$

$V_{th} : 1.09 \quad \text{V}$

$\gamma : 1.16$

$\Delta \varepsilon : 21.2$

$\Delta n : 0.136$

$\Delta(V_{th}) / \Delta(T) : 2.3 \text{ mV} / ^\circ\text{C} \quad (T = -10 \sim 40^\circ\text{C} \text{ の範囲})$

(実施例 17)

【0242】

【化85】

ネマチック液晶組成物 (3-17)

(3-1701)		10重量%
(3-1702)		10重量%
(3-1703)		10重量%
(3-1704)		10重量%
(3-1705)		10重量%
(3-1706)		15重量%
(3-1707)		15重量%
(3-1708)		10重量%
(3-1709)		10重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-17) を調製し、この組成物の諸特性を測定した。結果は以下の通りであった。

$T_{N-I}$  : 119.1 °C

$T_{\rightarrow N}$  : -40. °C

$V_{th}$  : 2.13 V

$\gamma$  : 1.16

$\Delta \epsilon$  : 6.8

$\Delta n : 0.084$

$\eta : 31.8 \text{ c.p.}$

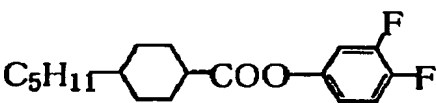
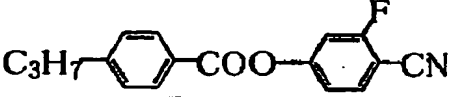
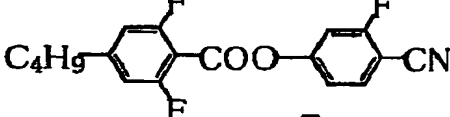
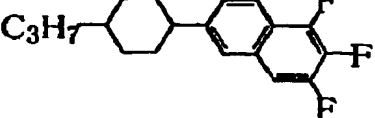
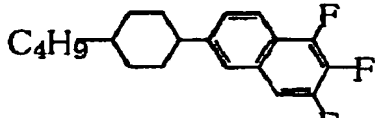
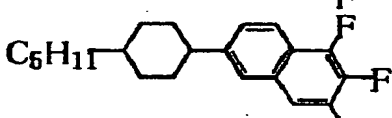
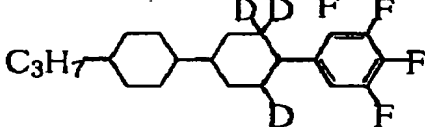
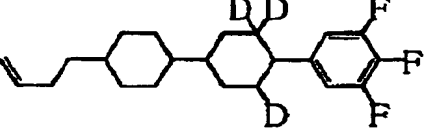
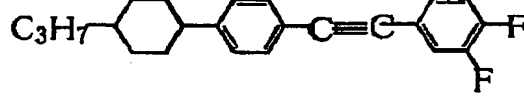
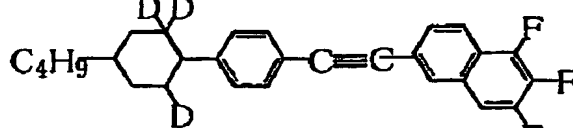
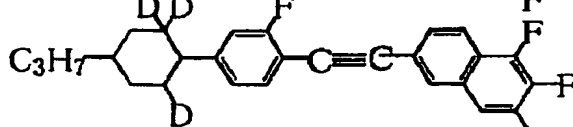
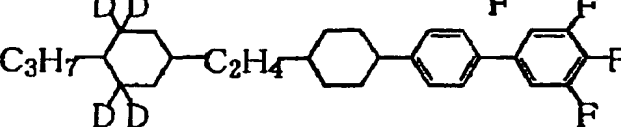
(実施例 18)

【0243】

特平 1 0 - 2 6 6 9 9 3

【化 8 6】

ネマチック液晶組成物 (3-18)

(3-1801)		10重量%
(3-1802)		5重量%
(3-1803)		5重量%
(3-1804)		5重量%
(3-1805)		10重量%
(3-1806)		10重量%
(3-1807)		7重量%
(3-1808)		10重量%
(3-1809)		10重量%
(3-1810)		8重量%
(3-1811)		10重量%
(3-1812)		10重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-18) を調製し、この組成物の諸特性を測定し

た。結果は以下の通りであった。

$T_{N-I} : 85.6 \text{ } ^\circ\text{C}$

$T_{\rightarrow N} : -70. \text{ } ^\circ\text{C}$

$V_{th} : 1.07 \text{ V}$

$\gamma : 1.15$

$\Delta \varepsilon : 17.4$

$\Delta n : 0.143$

(実施例 19)



特平 1 0 - 2 6 6 9 9 3

【化 8 7】

特平 1 0 - 2 6 6 9 9 3

ネマチック液晶組成物 (3-19)

(3-1901)		8重量%
(3-1902)		5重量%
(3-1903)		15重量%
(3-1904)		4重量%
(3-1905)		4重量%
(3-1906)		4重量%
(3-1907)		10重量%
(3-1908)		10重量%
(3-1909)		11重量%
(3-1910)		4重量%
(3-1911)		6重量%
(3-1912)		7重量%
(3-1913)		2重量%
(3-1914)		2重量%
(3-1915)		4重量%
(3-1916)		4重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-19) を調製し、この組成物の諸特性を測定した。結果は以下の通りであった。

$T_{N-I}$ : 90.7 °C

$T_{\rightarrow N}$ : -41. °C

$V_{th} : 0.95 \text{ V}$

$\Delta \varepsilon : 19.0$

$\Delta n : 0.142$

ツイスト角240度のSTN-LCD表示特性

$V_{th} : 0.98 \text{ V}$

$\gamma : 1.021$

$\Delta(V_{th}) / \Delta(T) : 1.2 \text{ mV} / ^\circ\text{C} \text{ (} T = -20 \sim 40^\circ\text{C} \text{ の範囲)}$

(実施例 20)

【0245】

特平 1 0 - 2 6 6 9 9 3

【化 8 8】

ネマチック液晶組成物 (3-20)

(3-2001)		8重量%
(3-2002)		5重量%
(3-2003)		9重量%
(3-2004)		5重量%
(3-2005)		5重量%
(3-2006)		12重量%
(3-2007)		5重量%
(3-2008)		10重量%
(3-2009)		16重量%
(3-2010)		5重量%
(3-2011)		5重量%
(3-2012)		6重量%
(3-2013)		6重量%
(3-2014)		3重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-20) を調製し、この組成物の諸特性を測定し

た。結果は以下の通りであった。

$T_{N-I} : 76.5 \text{ } ^\circ\text{C}$

$T_{\rightarrow N} : -70. \text{ } ^\circ\text{C}$

$V_{th} : 0.82 \text{ V}$

$\Delta \varepsilon : 22.2$

$\Delta n : 0.147$

ツイスト角240度のSTN-LCD表示特性

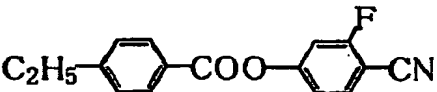


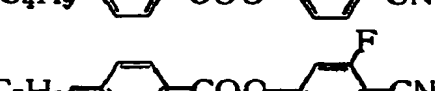
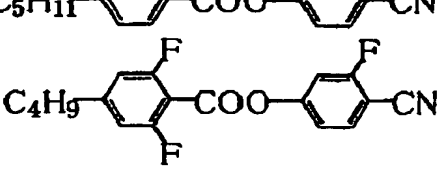
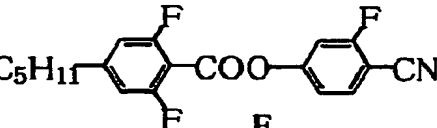
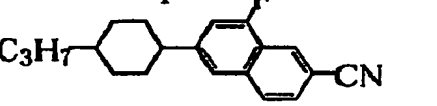

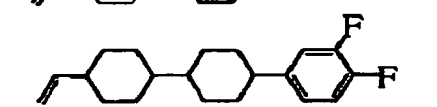
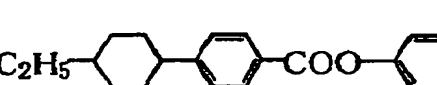
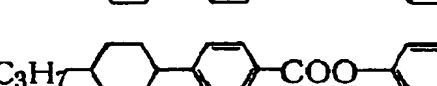
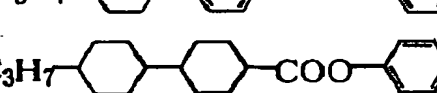
$V_{th} : 0.88 \text{ V}$

$\gamma : 1.020$

(実施例 21)

【化 89】

ネマチック液晶組成物 (3-21)

(3-2101)		8重量%
(3-2102)		5重量%
(3-2103)		16重量%
(3-2104)		7重量%
(3-2105)		5重量%
(3-2106)		5重量%
(3-2107)		10重量%
(3-2108)		11重量%
(3-2109)		17重量%
(3-2110)		6重量%
(3-2111)		7重量%
(3-2112)		3重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-21) を調製し、この組成物の諸特性を測定した。結果は以下の通りであった。

$T_{N-I}$  : 69.6 °C

$T_{\rightarrow N}$  : -64. °C



$V_{th}: 0.89 \text{ V}$

$\Delta \varepsilon: 25.2$

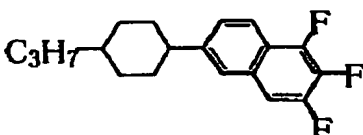
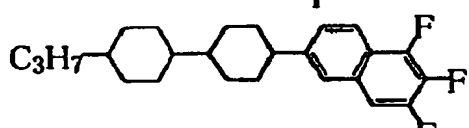
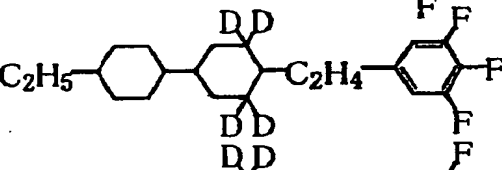
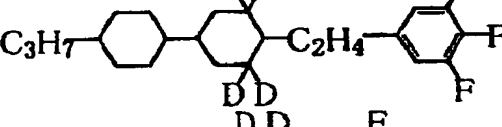
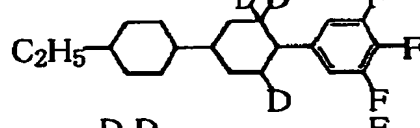
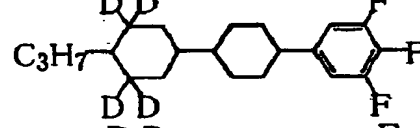
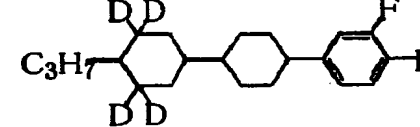
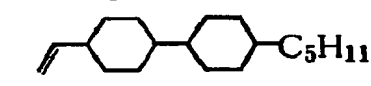
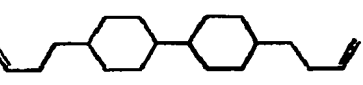
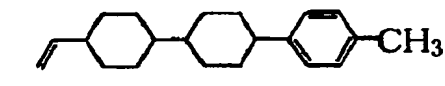
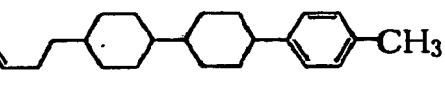
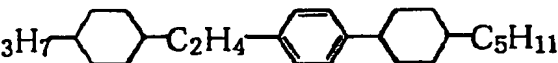
$\Delta n: 0.136$

(実施例 22)

【0247】

【化 90】

ネマチック液晶組成物 (3-22)

(3-2201)		10重量%
(3-2202)		10重量%
(3-2203)		5重量%
(3-2204)		5重量%
(3-2205)		5重量%
(3-2206)		5重量%
(3-2207)		10重量%
(3-2208)		10重量%
(3-2209)		10重量%
(3-2210)		10重量%
(3-2211)		10重量%
(3-2212)		10重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-22) を調製し、この組成物の諸特性を測定した。結果は以下の通りであった。

$T_{N-I} : 100.3 \text{ }^{\circ}\text{C}$

$T_{\rightarrow N} : -40. \text{ }^{\circ}\text{C}$

$V_{th} : 2.16 \text{ V}$

$\gamma : 1.16$

$\Delta \varepsilon : 4.6$

$\Delta n : 0.083$

テスト前の比抵抗 :  $1.0 \times 10^{13} \text{ } \Omega \cdot \text{cm}$

加熱促進テスト後の比抵抗 :  $7.0 \times 10^{12} \text{ } \Omega \cdot \text{cm}$

テスト前の電圧保持率 : 98.9%

加熱促進テスト後電圧保持率 : 98.5%

このネマチック液晶組成物は加熱促進テスト後の比抵抗や電圧保持率が高いことから、熱に安定であることが理解できる。また、この組成物を基本的な構成材料とする新たな本発明のネマチック液晶組成物を作製し、これを用いたアクティブ・マトリクス液晶表示装置を作製したところ、漏れ電流が小さくフリッカの発生しない優れたものであることが確認できた。

(実施例 23)

【化 9 1】

ネマチック液晶組成物 (3-23)

(3-2301)		12重量%
(3-2302)		6重量%
(3-2303)		6重量%
(3-2304)		12重量%
(3-2305)		12重量%
(3-2306)		12重量%
(3-2307)		12重量%
(3-2308)		12重量%
(3-2309)		12重量%
(3-2310)		4重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-23) を調製し、この組成物の諸特性を測定し

た。結果は以下の通りであった。

$T_{N-I} : 84.5^{\circ}\text{C}$

$T_{\rightarrow N} : -70.0^{\circ}\text{C}$

$V_{th} : 1.02\text{ V}$

$\gamma : 1.15$

$\Delta\epsilon : 9.6$

$\Delta n : 0.099$

テスト前の比抵抗 :  $5.0 \times 10^{12} \Omega \cdot \text{cm}$

加熱促進テスト後の比抵抗 :  $2.1 \times 10^{12} \Omega \cdot \text{cm}$

テスト前の電圧保持率 : 98.8%

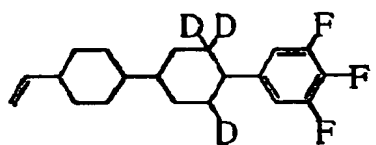
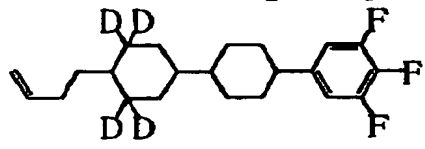
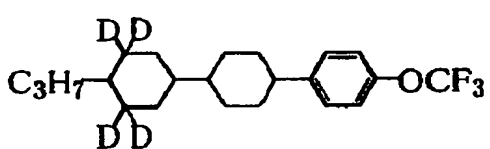
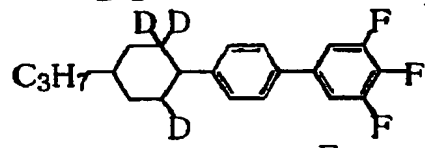
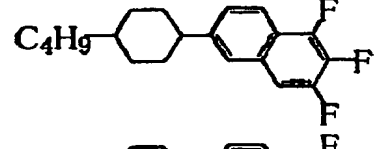
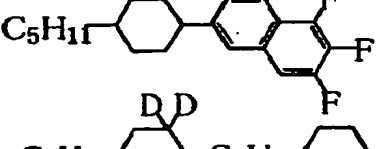
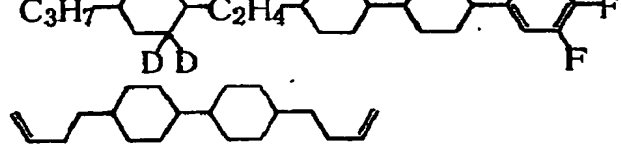
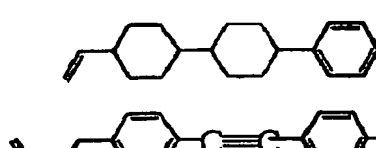

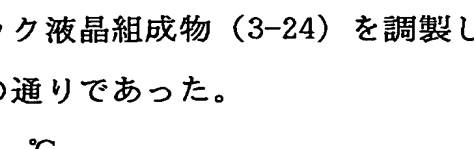
加熱促進テスト後電圧保持率 : 98.5%

このネマチック液晶組成物は加熱促進テスト後の比抵抗や電圧保持率が高いことから、熱に安定であることが理解できる。また、この組成物を基本的な構成材料とする新たな本発明のネマチック液晶組成物を作製し、これを用いたアクティブ・マトリクス液晶表示装置を作製したところ、漏れ電流が小さくフリッカの発生しない優れたものであることが確認できた。

(実施例 24)

【化 9 2】

ネマチック液晶組成物 (3-24)

(3-2401)		15重量%
(3-2402)		10重量%
(3-2403)		10重量%
(3-2404)		5重量%
(3-2405)		10重量%
(3-2406)		15重量%
(3-2407)		5重量%
(3-2408)		10重量%
(3-2409)		10重量%
(3-2410)		10重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-24) を調製し、この組成物の諸特性を測定した。結果は以下の通りであった。

$T_{N-I}$  : 87.5 °C

$T_{\rightarrow N}$  : -70. °C

$V_{th}$ : 1.67 V

$\gamma$ : 1.16

$\Delta \varepsilon$ : 7.1

$\Delta n$ : 0.118

テスト前の比抵抗 :  $3.8 \times 10^{13} \Omega \cdot \text{cm}$

加熱促進テスト後の比抵抗 :  $9.7 \times 10^{12} \Omega \cdot \text{cm}$

テスト前の電圧保持率 : 99.1%

加熱促進テスト後電圧保持率 : 98.8%

このネマチック液晶組成物は加熱促進テスト後の比抵抗や電圧保持率が高いことから、熱に安定であることが理解できる。また、この組成物を基本的な構成材料とする新たな本発明のネマチック液晶組成物を作製し、これを用いたアクティブ・マトリクス液晶表示装置を作製したところ、漏れ電流が小さくフリッカの発生しない優れたものであることが確認できた。

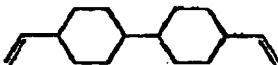
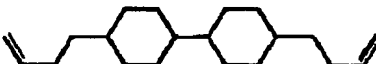
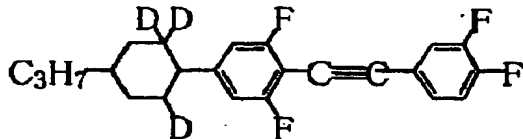
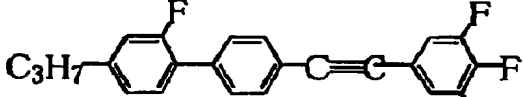
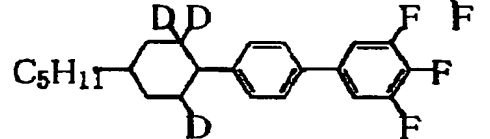
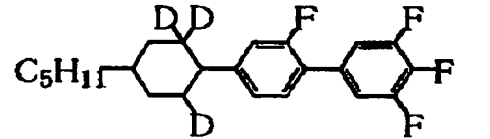
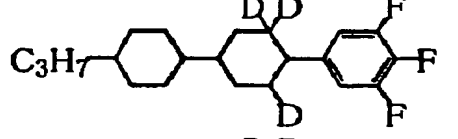
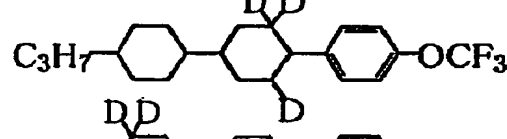
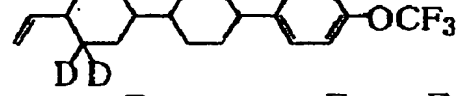
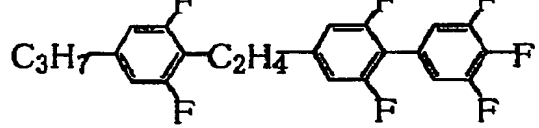
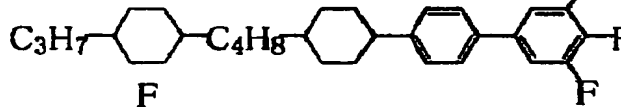
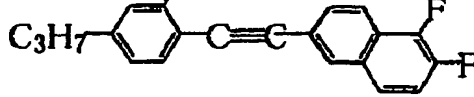
(実施例 25)

特平 1 0 - 2 6 6 9 9 3

【化 9 3】



ネマチック液晶組成物 (3-25)

(3-2501)		10重量%
(3-2502)		10重量%
(3-2503)		15重量%
(3-2504)		10重量%
(3-2505)		10重量%
(3-2506)		5重量%
(3-2507)		5重量%
(3-2508)		10重量%
(3-2509)		10重量%
(3-2510)		3重量%
(3-2511)		5重量%
(3-2512)		7重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-25) を調製し、この組成物の諸特性を測定し

た。結果は以下の通りであった。このネマチック液晶組成物は加熱促進テスト後の比抵抗や電圧保持率が高いことから、熱に安定であることが理解できる。また、この組成物を基本的な構成材料とする新たな本発明のネマチック液晶組成物を作製し、これを用いたアクティブ・マトリクス液晶表示装置を作製したところ、漏れ電流が小さくフリッカの発生しない優れたものであることが確認できた。

$T_{N-I}$ : 80.0 °C

$T_{\rightarrow N}$ : -70. °C

$V_{th}$ : 1.38 V

$\gamma$ : 1.16

$\Delta \epsilon$ : 9.3

$\Delta n$ : 0.131

テスト前の比抵抗 :  $2.2 \times 10^{13} \Omega \cdot \text{cm}$

加熱促進テスト後の比抵抗 :  $8.3 \times 10^{12} \Omega \cdot \text{cm}$

テスト前の電圧保持率 : 99.0%

加熱促進テスト後電圧保持率 : 98.5%

(実施例 26)

【化 9 4】

ネマチック液晶組成物 (3-26)

(3-2601)		15重量%
(3-2602)		15重量%
(3-2603)		15重量%
(3-2604)		13重量%
(3-2605)		7重量%
(3-2606)		13重量%
(3-2607)		15重量%
(3-2608)		5重量%
(3-2609)		2重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-26) を調製し、この組成物の諸特性を測定した。結果は以下の通りであった。

$T_{N-I}$ : 106.4 °C

$T_{\rightarrow N}$ : -20. °C

$V_{th}$ : 2.10 V

$\gamma$ : 1.15

$\Delta \varepsilon : 8.1$

$\Delta n : 0.276$

テスト前の比抵抗 :  $6.5 \times 10^{12} \Omega \cdot \text{cm}$

加熱促進テスト後の比抵抗 :  $1.2 \times 10^{12} \Omega \cdot \text{cm}$

テスト前の電圧保持率 : 98.8%

加熱促進テスト後電圧保持率 : 98.0%

このネマチック液晶組成物は加熱促進テスト後の比抵抗や電圧保持率が高いことから、熱に安定であることが理解できる。また、この組成物を基本的な構成材料とする新たな本発明のネマチック液晶組成物を作製し、これを用いたアクティブ・マトリクス液晶表示装置に利用できる。

#### 【0252】

実施例26のネマチック液晶組成物の化合物(3-2605)を、化合物：側鎖基(I-4b)基本構造(I-1h)極性基(I-5j)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-026-01)を調整した。

#### 【0253】

実施例26のネマチック液晶組成物の化合物(3-2605)を、化合物：側鎖基(I-4b)基本構造(I-1i)極性基(I-5j)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-026-02)を調整した。

#### 【0254】

実施例26のネマチック液晶組成物の化合物(3-2605)を、化合物：側鎖基(I-4b)基本構造(I-1g)極性基(I-5k)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-026-03)を調整した。

#### 【0255】

実施例26のネマチック液晶組成物の化合物(3-2605)を、化合物：側鎖基(I-4b)基本構造(I-1g)極性基(I-5r)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-026-04)を調整した。

#### 【0256】

実施例26のネマチック液晶組成物の化合物(3-2605)を、化合物：側鎖基(I-4b)基本構造(I-1g)極性基(I-5z)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-026-05)を調

整した。

【0257】

実施例 26 のネマチック液晶組成物の化合物(3-2605)を、化合物：側鎖基(I-4b)基本構造(I-1g)極性基(I-5ah)に変えて、ネマチック液晶組成物(3-026-06)を調整した。

【0258】

これらのネマチック液晶組成物(3-26-01)～(3-26-06)を用いて、実施例 26 と同様にして表示特性を測定したところ、実施例 26 同様に良好な結果が得られた。

【0259】

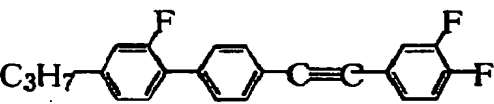
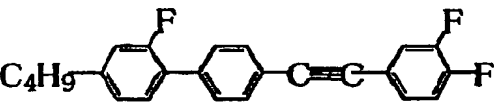
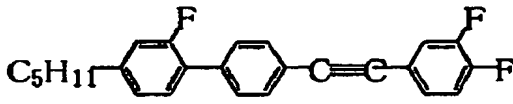
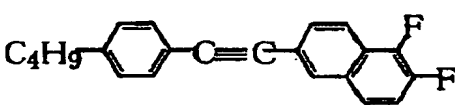
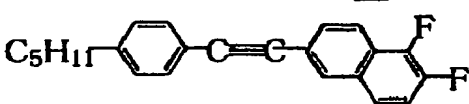
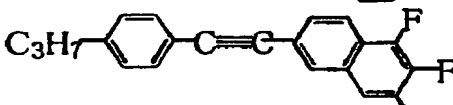
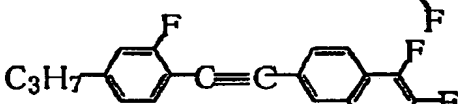
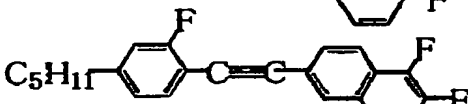
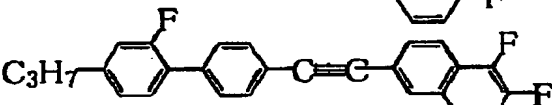
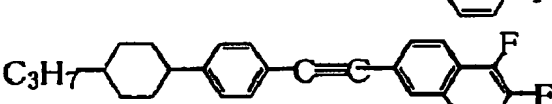
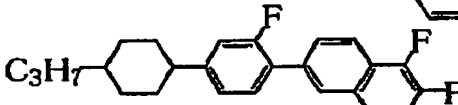
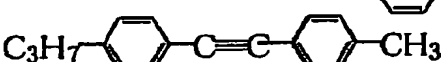

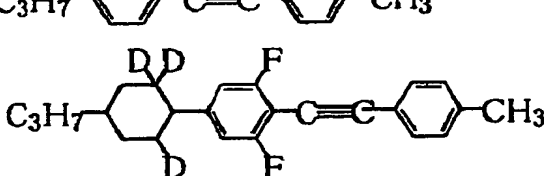
また、このネマチック液晶組成物を用いて、セル厚  $d$  が  $1.8 \mu\text{m}$  の TN-LCD を構成してその表示特性を測定したところ、しきい値電圧が  $1.79 \text{ V}$ 、応答速度が  $2.4 \text{ msec}$  を示す液晶表示装置が得られた。

(実施例 27)

【0260】

【化 95】

ネマチック液晶組成物 (3-27)

(3-2701)		5重量%
(3-2702)		5重量%
(3-2703)		5重量%
(3-2704)		5重量%
(3-2705)		5重量%
(3-2706)		5重量%
(3-2707)		5重量%
(3-2708)		5重量%
(3-2709)		5重量%
(3-2710)		5重量%
(3-2711)		5重量%
(3-2712)		15重量%
(3-2713)		15重量%
(3-2714)		15重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-27) を調製し、この組成物の諸特性を測定し

た。

(実施例 28)

【0261】

特平 1 0 - 2 6 6 9 9 3

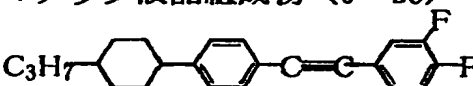
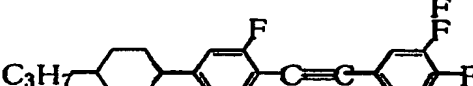
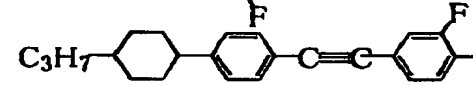
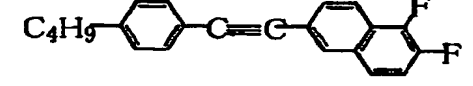
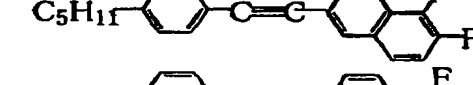

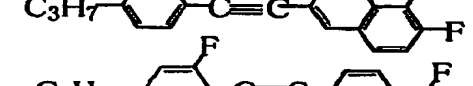
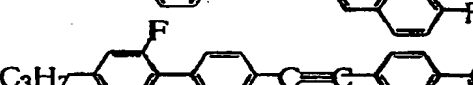
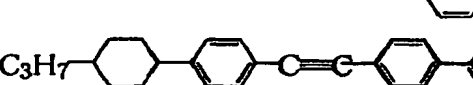
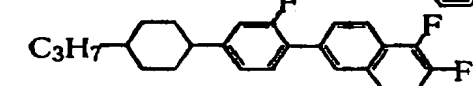
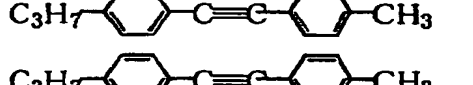
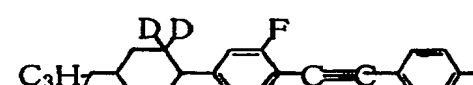
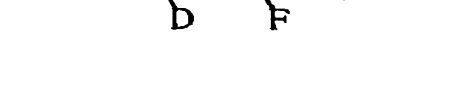
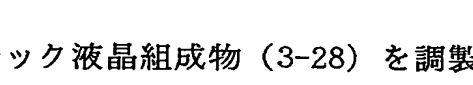
【化 9 6】

2 1 3

出証特平 1 1 - 3 0 7 5 7 5 0



ネマチック液晶組成物 (3-28)

(3-2801)		5重量%
(3-2802)		5重量%
(3-2803)		5重量%
(3-2804)		5重量%
(3-2805)		5重量%
(3-2806)		5重量%
(3-2807)		5重量%
(3-2808)		5重量%
(3-2809)		5重量%
(3-2810)		5重量%
(3-2811)		5重量%
(3-2812)		15重量%
(3-2813)		15重量%
(3-2814)		15重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-28) を調製し、この組成物の諸特性を測定した。

(実施例 29)

特平 1 0 - 2 6 6 9 9 3

【 0 2 6 2 】

特平 1 0 - 2 6 6 9 9 3

【化 9 7】

特平 1 0 - 2 6 6 9 9 3

ネマチック液晶組成物 (3-29)

(3-2901)		5重量%
(3-2902)		5重量%
(3-2903)		5重量%
(3-2904)		5重量%
(3-2905)		5重量%
(3-2906)		5重量%
(3-2907)		5重量%
(3-2908)		5重量%
(3-2909)		5重量%
(3-2910)		5重量%
(3-2911)		5重量%
(3-2912)		15重量%
(3-2913)		15重量%
(3-2914)		15重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-29) を調製し、この組成物の諸特性を測定した。

【0263】































ネマチック液晶組成物 (3-27) ~ (3-29) は、ネマチック液晶組成物 (3-26) と同様の特性を有していることから、実施例 26 と同じ液晶表示装置として利用することができる。

(実施例 3 0)

【0 2 6 4】

【化 9 8】

ネマチック液晶組成物 (3-30)

(3-3001)	$C_3H_7$ -  -C≡C-  -OC <sub>2</sub> H <sub>5</sub>	10重量%
(3-3002)	$C_3H_7$ -  -C≡C-  -OC <sub>5</sub> H <sub>11</sub>	10重量%
(3-3003)	$C_4H_9$ -  -C≡C-  -OC <sub>2</sub> H <sub>5</sub>	8重量%
(3-3004)	$C_5H_{11}$ -  -C≡C-  -OCH <sub>3</sub>	8重量%
(3-3005)	$C_5H_{11}$ -  -C≡C-  -OC <sub>2</sub> H <sub>5</sub>	10重量%
(3-3006)	CH <sub>3</sub> O-  -COO-  -C <sub>5</sub> H <sub>11</sub>	12重量%
(3-3007)	$C_3H_7$ -  -COO-  -CN	6重量%
(3-3008)	$C_4H_9$ -  -COO-  -CN	10重量%
(3-3009)	$C_5H_{11}$ -  -COO-  -CN	6重量%
(3-3010)	$C_2H_5$ -  -  -COO- 	6重量%
(3-3011)	$C_3H_7$ -  -  -COO- 	6重量%
(3-3012)	$C_3H_7$ -  -  -COO- 	4重量%
(3-3013)	$C_3H_7$ -  -  -C≡C-  -C <sub>2</sub> H <sub>5</sub>	4重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-30) を調製し、この組成物の諸特性を測定した。結果は以下の通りであった。

$T_{N-I}$ : 83.1 °C

$T_{\rightarrow N}$ : -3. °C

$V_{th}$ : 1.49 V

$\gamma$ : 1.154

$\Delta\epsilon$ : 15.6

$\Delta n$ : 0.224

このネマチック液晶組成物を用いて、セル厚  $d$  が  $2.2 \mu m$  の TN-LCD を構成し

てその表示特性を測定したところ、しきい値電圧が1.24 V、応答速度が2.1 msecを示す液晶表示装置が得られた。

(実施例 31)

【0265】

【化99】



ネマチック液晶組成物 (3-31)

(3-3101)		10重量%
(3-3102)		10重量%
(3-3103)		10重量%
(3-3104)		5重量%
(3-3105)		10重量%
(3-3106)		5重量%
(3-3107)		10重量%
(3-3108)		10重量%
(3-3109)		10重量%
(3-3110)		10重量%
(3-3111)		10重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-31) を調製し、この組成物の諸特性を測定した。結果は以下の通りであった。

$T_{N-I}$  : 179.3 °C

$T_{\rightarrow N}$  : -20. °C

$V_{th}$  : 1.21 V

$\Delta \epsilon$  : 30.3




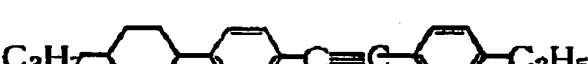
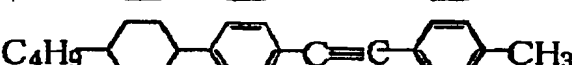
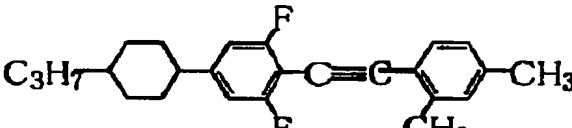
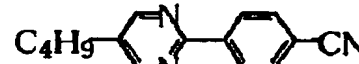
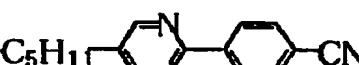
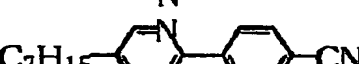

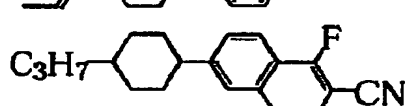
$\Delta n$  : 0.254

(実施例 32)

【0266】

【化100】

ネマチック液晶組成物 (3-32)

(3-3201)		20重量%
(3-3202)		10重量%
(3-3203)		5重量%
(3-3204)		7重量%
(3-3205)		8重量%
(3-3206)		10重量%
(3-3207)		6重量%
(3-3208)		7重量%
(3-3209)		7重量%
(3-3210)		10重量%
(3-3211)		10重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-32) を調製し、この組成物の諸特性を測定した。結果は以下の通りであった。

$T_{N-I}$ : 76.9 °C

$T_{\rightarrow N}$ : -70. °C

$V_{th}$ : 1.57 V

$\gamma$ : 1.16

$\Delta \varepsilon : 10.4$

$\Delta n : 0.228$

このネマチック液晶組成物を用いて、セル厚  $d$  が  $2.2 \mu m$  の TN-LCD を構成してその表示特性を測定したところ、しきい値電圧が  $1.32 V$ 、応答速度が  $2.$

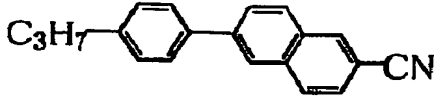
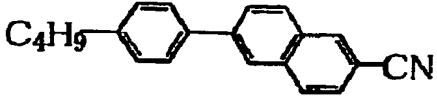
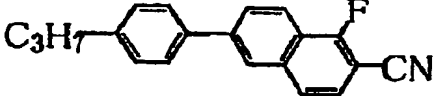
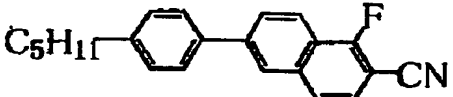
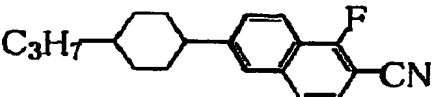
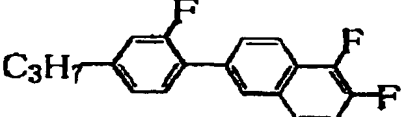
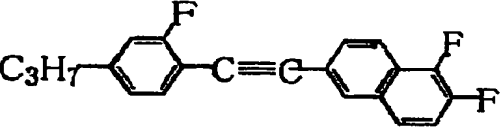
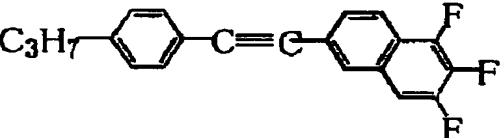
$2 ms$  を示す液晶表示装置が得られた。

(実施例 33)

【0267】

【化101】

ネマチック液晶組成物 (3-33)

(3-3301)		9重量%
(3-3302)		8重量%
(3-3303)		8重量%
(3-3304)		8重量%
(3-3305)		17重量%
(3-3306)		17重量%
(3-3307)		17重量%
(3-3308)		16重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-33) を調製し、この組成物の諸特性を測定した。結果は以下の通りであった。

$T_{N-I}$ : 65.8 °C

$T_{\rightarrow N}$ : -20. °C

$V_{th}$ : 1.00 V

$\gamma$ : 1.15

$\Delta \epsilon$ : 19.4

$\Delta n$  : 0.244

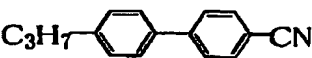
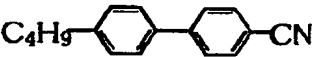
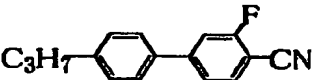
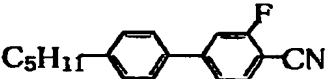
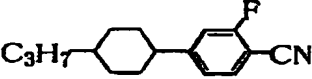
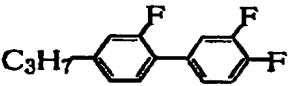
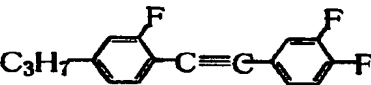
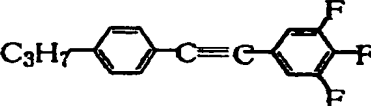
(比較例 2)

本発明の優位性を示すために、上記ネマチック液晶組成物 (3-32) に含有する液晶成分 A を他の化合物に置き換えた混合液晶 (b-02) を作製した。具体的には、ナフタレン-2, 6 ジイルの部分構造を 1, 4-フェニレンの部分構造とした化合物に置き換えたものである。

【0268】

【化 102】

比較液晶 (b-02)

(b-0201)		9重量%
(b-0202)		8重量%
(b-0203)		8重量%
(b-0204)		8重量%
(b-0205)		17重量%
(b-0206)		17重量%
(b-0207)		17重量%
(b-0208)		16重量%

この組成物を用いて測定した特性の結果は以下の通りであった。

$T_{N-I}$  : 室温以下

$V_{th}$  : 測定不能

$\gamma$  : 測定不能

$\Delta \epsilon$  : 測定不能

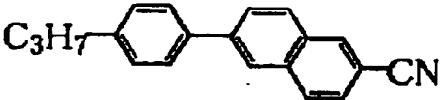
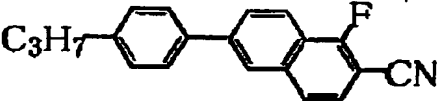
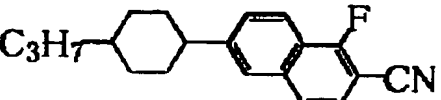
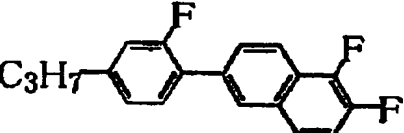
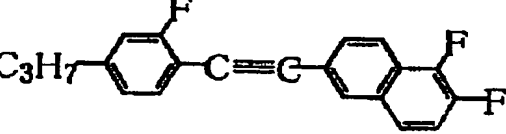
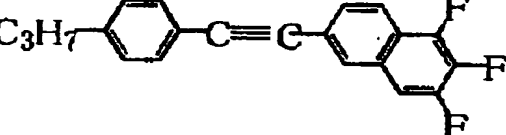
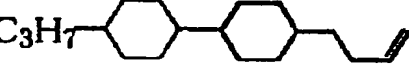

$\Delta n$  : 測定不能

(実施例 34)

【0269】

【化103】

ネマチック液晶組成物 (3-34)

(3-3401)		12重量%
(3-3402)		12重量%
(3-3403)		11重量%
(3-3404)		12重量%
(3-3405)		12重量%
(3-3406)		11重量%
(3-3407)		15重量%
(3-3408)		15重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-34) を調製し、この組成物の諸特性を測定した。結果は以下の通りであった。

$T_{N-I}$ : 66.8 °C

$T_{\rightarrow N}$ : -20. °C

$V_{th}$ : 1.29 V

$\gamma$ : 1.18

$\Delta \epsilon$ : 13.4

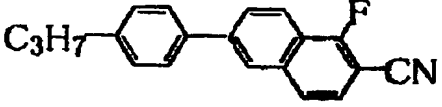
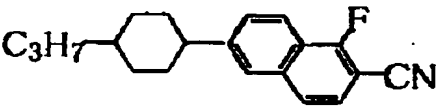
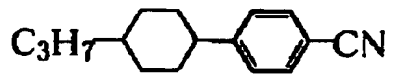
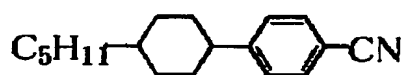
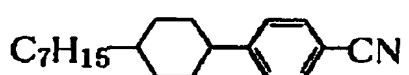
$\Delta n : 0.185$

(実施例 35)

【0270】

【化104】

ネマチック液晶組成物 (3-35)

(3-3501)		15重量%
(3-3502)		15重量%
(3-3503)		28重量%
(3-3504)		21重量%
(3-3505)		21重量%

からなるネマチック液晶組成物 (3-35) を調製し、この組成物の諸特性を測定した。結果は以下の通りであった。

$T_{N-I} : 65.3 \text{ } ^\circ\text{C}$

$T_{\rightarrow N} : -58. \text{ } ^\circ\text{C}$

$V_{th} : 1.45 \text{ V}$

$\gamma : 1.17$

$\Delta \epsilon : 13.7$

$\Delta n : 0.157$

(実施例 36)

本発明のネマチック液晶組成物 (3-17)、(3-26) ~ (3-32) は、光散乱形液晶表示に用いることができる。以下応用例について更に詳細に説明する。しかし



ながら、本発明はこれらの実施例に限定されるものではない。

【0271】

液晶材料として上記液晶組成物を80%、高分子形成性化合物として「HX-220」（日本化薬社製）を13.86%、ラウリルアクリレート（5.94%、重合開始剤として2-ヒドロキシ-2-メチル-1-フェニルプロパン-1-オンを0.2%の比率で混合し、均一溶液の調光層形成材料を作製した。この調光層形成材料を、平均粒径10 $\mu$ mのスペーサーが介在した2枚のITO電極ガラス基板を用いて作製した大きさ50 $\times$ 50mmの空セルに、均一溶液の転移温度より10 $^{\circ}$ C高い温度の下で真空注入した。これを、均一溶液の転移温度より3 $^{\circ}$ C高い温度に保持しながら、メタルハライドランプ（80W/cm<sup>2</sup>）の下を3.5m/分の速度で通過させ、500mJ/cm<sup>2</sup>に相当するエネルギーの紫外線を照射して高分子形成化合物を硬化させて、液晶材料と透明性固体物質から成る調光層を有する液晶デバイスを得た。得られた液晶デバイスについて、基板間に形成された硬化物の断面を走査型電子顕微鏡を用いて観察したところ、ポリマーから成る三次元ネットワーク構造の透明性固体物質が認められた。

【0272】

得られた光散乱形液晶表示の特性は、従来の光散乱形液晶デバイスと比較して、広い動作温度範囲を示し、動画有利な応答性を有し、高コントラストでかつ均一でむらのない表示特性を有しており、広告板等の装飾表示板や時計等の表示装置、又はプロジェクション表示装置等に有用なものであった。特に、ネマチック液晶組成物（3-17）を用いた場合はヘーズを低減した表示特性が得られ、ネマチック液晶組成物（3-26）～（3-29）を用いた場合はアクティブ用に有用であり、ネマチック液晶組成物（3-30）、（3-32）を用いた場合は時分割駆動用に有用であり、ネマチック液晶組成物（3-31）を用いた場合は高温例えば照明器具、レーザー書き込み等の使用に有用であった。

（実施例37）

本発明のネマチック液晶組成物、特に（3-26）～（3-32）は更に以下の特徴を有していた。これらのネマチック液晶組成物の複屈折率の波長分散を測定したところ、光の波長650nmに対する400nmでの比が1.15以上であった。

この液晶材料は、光の波長の違いによってより大きな位相差が現れていることから、カラーフィルター層を用いずにカラー表示を行う、液晶と位相差板の複屈折性を利用した新規反射型カラー液晶表示方式に有用なものである。

## 【0273】

本発明のネマチック液晶組成物、特に (3-13) ~ (3-15)、(3-18) ~ (3-22)、(3-23)、は更に以下の特徴を有していた。

## 【0274】

これらの液晶組成物の液晶構成因子  $S = (\eta \times \langle a \rangle^3)^{-1}$  {式中、 $\eta$  は液晶組成物の粘度 (単位 c.p.) を表し、 $\langle a \rangle$  は液晶組成物の平均分子長 (単位 Å) を表す} を用いて定義する緩和周波数を  $\omega d = 2 \times 10^{12} \times S^{-1.4031}$  とし、該液晶組成物を表示として駆動させることに関わるフレーム周波数及び／又はデューティ数で定められる実際に液晶層に印加される実行周波数を  $F$  とした場合、駆動温度範囲内で  $1.0 \times 10^2 \geq \omega d / F \geq 5.0 \times 10^{-1}$  であった。これにより、種々の時分割に対応した周波数範囲で駆動電圧が変動しない、あるいは時分割数 (デューティ数) の増大により、低温域において駆動電圧が急激に増加することを改善することができるものである。この様な特徴はナフタレン-2, 6ジールの部分構造に由来するものと思われる。従って、本発明の液晶組成物を用いることにより、表示特性の改善された液晶表示装置を得ることができる。特に情報量の多い TN-LCD、STN-LCD 形液晶表示装置において良好な駆動特性及び表示特性が得られた。

## 【0275】

## 【発明の効果】

本発明のネマチック液晶組成物は、一般式 (I-1) ~ (III-3) で表される化合物からなる液晶成分 A を必須成分とし、液晶組成物に混合すると、相溶性の改善、低温保存の向上等により液晶表示特性の動作温度範囲を拡大し、駆動電圧の低減及びその温度変化を改善し、所定の駆動電圧に対し比較的速い応答性を達成させることができる。また、複屈折率、誘電率異方性、弾性定数の設計及びこれらの温度依存性、複屈折率の光波長依存性やデューティ数に対応した誘電率異方性の周波数依存性等も改良できるという特徴を有している。

## 【0276】

従って、本発明のネマチック液晶組成物は、アクティブ・マトリクス形、ツイステッド・ネマチックあるいはスーパー・ツイステッド・ネマチック液晶表示装置に用いることができる。また、液晶層と位相差板の複屈折性でカラー表示をする液晶表示素子を提供することができる。さらに、液晶材料及び透明性固体物質を含有する調光層を有する光散乱形液晶表示にも有用装置を提供できる。

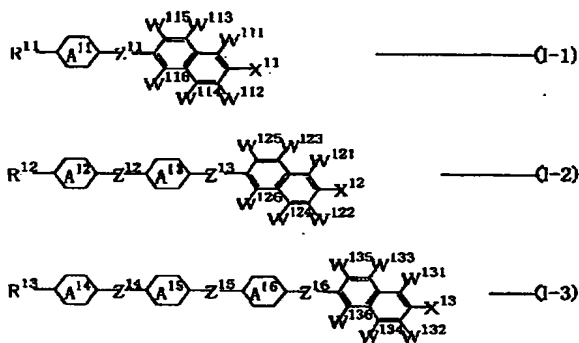
【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 相溶性の改善、低温保存の向上等により液晶表示特性の動作温度範囲を拡大し、駆動電圧の低減及びその温度変化を改善し、所定の駆動電圧に対し比較的速い応答性を達成・改善することにある。

【解決手段】 一般式(I-1)～(I-3)

【化1】



の液晶成分Aを含有、+2以上の $\Delta\epsilon$ を有する化合物からなる液晶成分Bを0～99.9重量%含有、-10～+2の $\Delta\epsilon$ を有する化合物からなる液晶成分Cを0～85重量%含有、該液晶成分Bと該液晶成分Cの総和が0～99.9重量%であることを特徴とするネマチック液晶組成物及びこれを用いた液晶表示装置。

【選択図】 なし

【書類名】 職権訂正データ  
【訂正書類】 特許願

<認定情報・付加情報>

【提出日】 平成10年 9月21日

【特許出願人】

【識別番号】 000002886

【住所又は居所】 東京都板橋区坂下3丁目35番58号

【氏名又は名称】 大日本インキ化学工業株式会社

【代理人】 申請人

【識別番号】 100088764

【住所又は居所】 東京都中央区日本橋3丁目7番20号 大日本イン  
キ化学工業株式会社内

【氏名又は名称】 高橋 勝利

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000002886]

1. 変更年月日 1990年 8月17日  
[変更理由] 新規登録  
住 所 東京都板橋区坂下3丁目35番58号  
氏 名 大日本インキ化学工業株式会社